SHARP

電子辞書 Brain（ブレーン）

形名 PW-SB7



操作ガイド（使い方）

19MSC57J1

はじめに

■ご使用前のおことわり

●この製品は厳重な品質管理と検査を経て出荷しておりますが、万一故障または不具合がありましたら、お買いあげの販売店またはシャープお客様ご相談窓口までご連絡ください。
●お客様または第三者がこの製品および付属品の使用を誤ったことにより生じた故障、不具合、またはそれらに基づく損害については、法令上の責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
●この製品は付属品を含め、改良のため予告なく変更することがあります。
●アフターサービスなどについては、製品に付属の取扱説明書をご確認ください。
●記載されている画面例やアイコンなどは説明用のため、実際の製品での表示と異なる場合があります（例、表示文字サイズ）。また画面例では画面右（縦表示のときは画面下）に表示される操作タッチキーを省略している場合があります。

■記憶内容保存のお願い

この製品は、市販のmicroSDメモリーカードの使用時を含め、使用誤りや静電気・電気的ノイズの影響を受けたとき、また、故障・修理のときは、お客様が記憶させた内容などが変化・消失する場合があります。
重要な内容は必ず紙などに控えておいてください。単語帳・ボイスメモ・ノートなどの重要なデータは市販のmicroSDメモリーカードにバックアップしておいてください。万一、お客様が記憶させた内容などが変化・消失してしまうことがあっても、法令上

の責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

■TFTカラー液晶パネルについて

TFTカラー液晶パネルは非常に精密度の高い技術で作られておりますが、画面の一部に点灯しない画素や常時点灯する画素がある場合があります。また、見る角度によって色むらや明るさむらが見える場合があります。これらは、故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。

■本製品の説明書について

本製品には、この「操作ガイド」と「コンテンツ一覧」の他に、「取扱説明書」が添付されています。

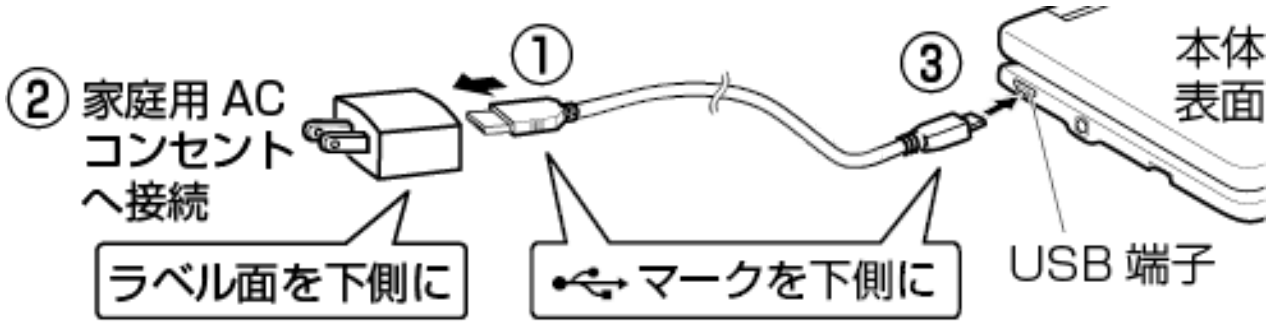
■「使い方」画面のQRコードについて

● 「使い方」画面のQRコードをスマートフォンなどで読み取ると「操作ガイド」(PDFファイル）がダウンロードできます。
なお、シャープサポートページ(https://jp.sharp/support/)の「取扱説明書」からダウンロードすることもできます。
● 誘導されるサイトおよび「操作ガイド」(PDFファイル）のダウンロードは無料ですが、通信料金はお客様のご負担になります。QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
● QRコードを読み取るときは、表示画面の明るさを「明るさ3」以上に設定してください。画面が暗いと読み取れない場合があります。ホーム画面で「設定」－「明るさ調整」を選んで調整してください。

初めてお使いになるときは

■充電をする

①、②、③ の順番でACアダプターを接続し充電してください。
充電が始まると"ピピッ"と鳴ります。



本体を開いて画面右上の電池マークが（満充電）になっていることを確認したら、microUSBケーブルを電子辞書から抜き、ACアダプターをコンセントから抜きます。

二参考二

ホーム画面の「設定」－「充電開始音設定」で、充電の開始音を鳴らないように設定できます。

■ACアダプターで使用する

ACアダプターを接続して本製品を使用することができます。

★注意★

●ACアダプターやmicroUSBケーブルは必ず付属品をご使用ください。付属品以外を使用された場合は、エラーが表示され充電ができないことがあります。

●充電は約5時間（使用温度25℃のとき）かかりますが、使用温度、充電池の残量や使用状況によって変わります。
●長時間使用しなかった充電池の充電には、通常より長く時間がかかります。
●本製品を使用しているときは、充電に長い時間がかかります。電源を切っておいたほうが早く充電できます。
●充電は途中で止めないで、満充電になるまで充電してください。
●充電中にACアダプターや充電池が温かくなりますが、故障ではありません。
●充電は、周囲の温度が0℃～40℃の場所で行ってください。
0℃～40℃以外の環境では温度異常と見なして充電を行わないことがあります。
●温度異常を除き、ACアダプターで正しく充電できないときは異常メッセージが出ますので付属の取扱説明書の『アフターサービスについて』をご覧のうえ、修理を依頼してください。
●ACアダプターを市販の電子変圧器などに接続しないでください。
ACアダプターが故障することがあります。

■日時の設定

はじめて電源を入れると、日付と時刻の設定画面が表示されます。
「年」「月」「日」「時」「分」「AM（午前）／PM（午後）」を設定してください。
＜例＞2020年4月16日 →「20 04 16」を入力
PM(午後）3時45分 →「15 45」を入力
●13～23時の入力の時は、AM/PMの設定を省略できます。

●数字はキーボードで入力します。
●カーソル移動は［▲］［▼］［◀］［▶］で行います。

二参考二

● 日付と時刻の設定のあとに、バックアップ機能についての説明画面が表示されますので確認ください。
● 市販のmicroSDメモリーカードに単語帳などのデータを一括してバックアップすることができます。またバックアップしたデータは一括して電子辞書本体に戻すことができます。詳しくは、『ユーザーデータバックアップ』を参照してください。

■充電池の残量の目安

充電池の残量は、画面右上に表示される電池マークを目安にしてください。

 ：良好です。
 ：すこし少なくなりました。
 ：少なくなりました。充電することをお勧めします。
 ：少なくなりました。速やかに充電してください（このときは、画面が暗くなります)。
 ：残量がなくなりました。すぐに充電してください（このときは、電源が切れます)。
 ：充電中です。
 ：満充電です。

二参考二

充電池の残量が少なくなると、次のような動作ができなくなります。

● 音声の入力、音声の再生（MP3プレーヤーの再生、ピクチャー字幕リスニングなどを含む）
● 全部の単語帳を削除、カードの初期化
● 本製品の初期化など

■市販のストラップを取り付けるときは

市販のストラップをストラップホールに通して取り付けることができます。

★注意★

● ストラップを取り付けてストラップを持って振り回したり、強く引っぱるなど、ストラップに過重がかかる行為は行わないでください。故障や破損の原因となります。
● キーボード部と液晶部の結合部分（ヒンジ）にある細長い穴はデザインですので、ストラップなどを取り付けないでください。本体を閉じたときなどに故障や破損の原因となります。

基本の操作

■キーなどの表記のしかた

● キーボード上のキー、表示部右（縦表示のときは表示部下）の操作タッチキー、電卓画面のキーなどは［　］で囲んで表します。画面中の選択項目、メニュー、タブなどは「　」で表します。

例1



：［削除］と記載。または［シフト］［クリア］と記載。

例2



：［W］または［２］と記載。



：［決定］と記載。

例3



：「一覧から選ぶ」と記載。（ホーム画面のアイコン）

● 2種類の機能が表示されているキーの枠で囲まれた（クリア、文字小、文字大、🔊+、🔊ー）機能は［シフト］を押して離したあと（画面左上にシフトを表示）、それぞれのキーを押します。

例：［シフト］［文字大］と記載。

● 他の見出しや文書の参照は『　』で囲んで表します。

記号（注意・参考）について

★注意★

故障の原因になる注意事項および注意していただきたいことを記載しています。

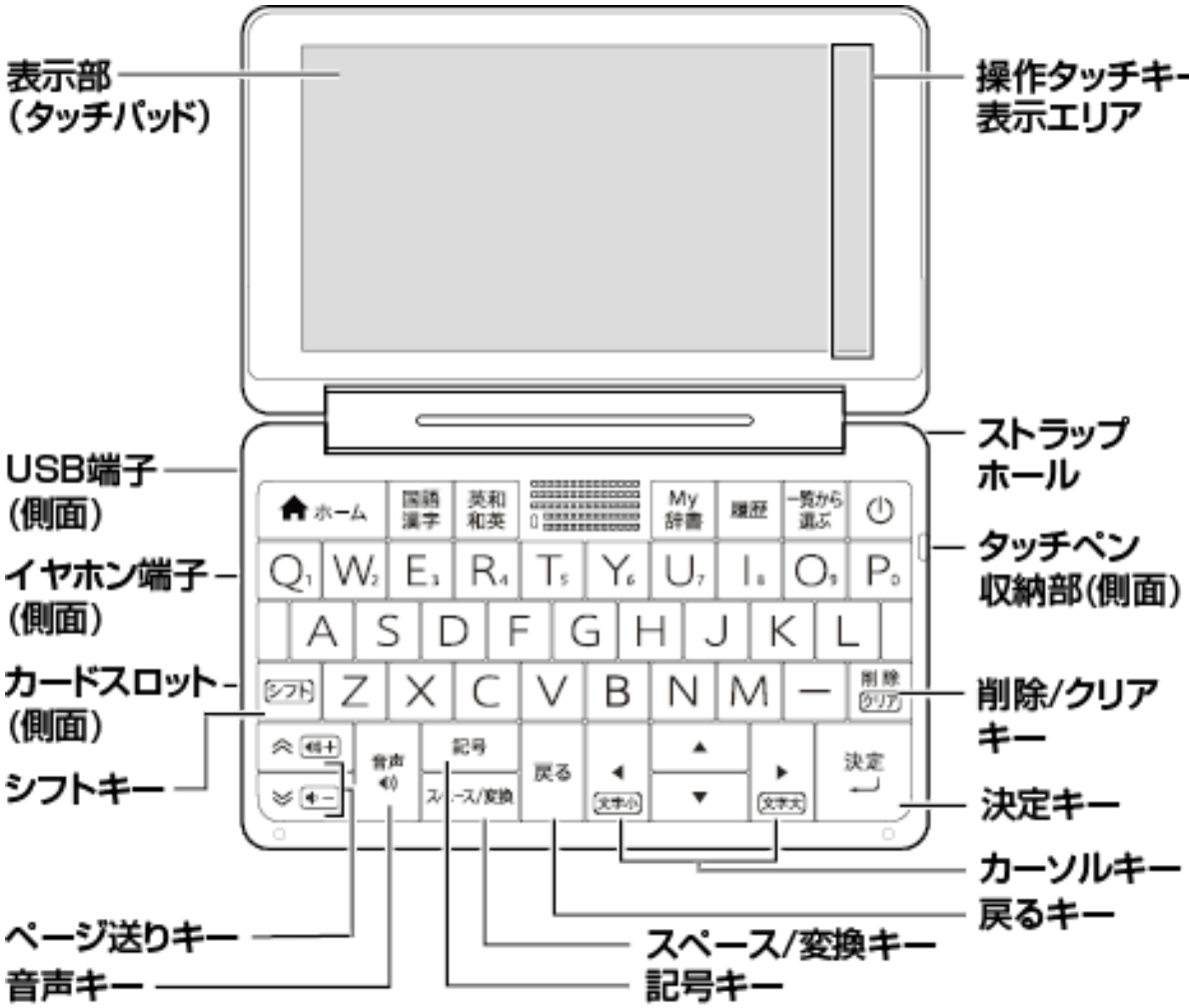
二参考二

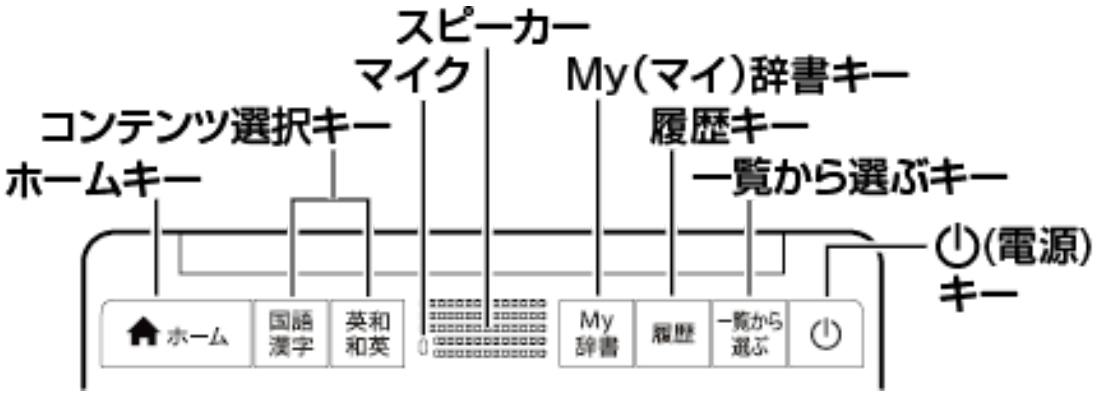
参考情報や関連事項、操作上の制限事項などを記載しています。

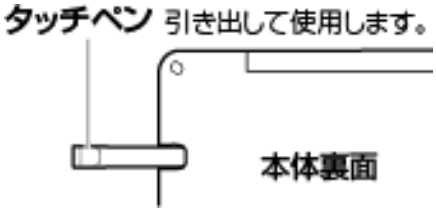
説明方法について

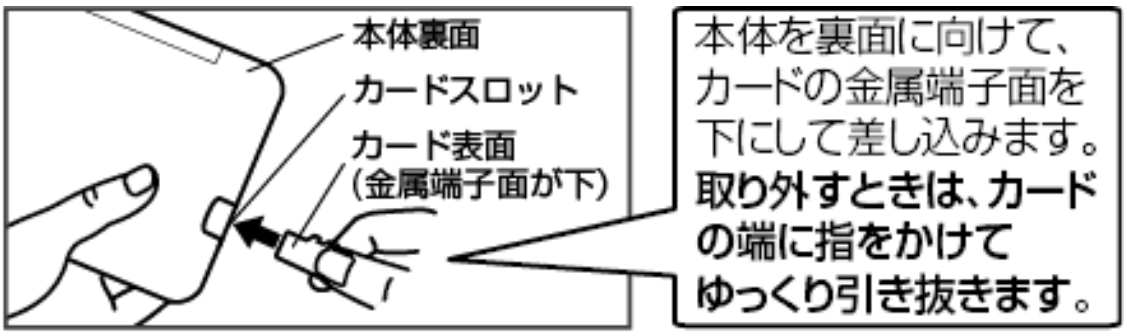
● 本製品の操作は、キーによる操作、画面でのタッチ操作と、複数の方法が使用できます。
ここでは、基本的にキーによる操作で説明し、必要な場合は適宜、他の操作で説明します。
● 本製品では中国語（簡体字）、韓国語コンテンツを使うことができます。ここではそれらコンテンツが使えるものとして説明を行います。

■各部のなまえとはたらき









※本製品ではmicroSDメモリーカードが使用できます。

ホーム(ホーム)キー

ホーム画面を表示します。詳しくは、『ホーム画面について』を参照してください。

コンテンツ選択キー

各コンテンツの初期画面を表示します。押すたびに二つのコンテンツが交互に表示されます。

My（マイ）辞書キー

よく使うコンテンツを自分で指定して、直接開くことができます。ホーム画面の「設定」－「ダイレクトキー設定」から設定できます。

履歴キー

検索（詳細画面表示）履歴または電子書籍のしおりを表示します。

一覧から選ぶキー

辞書一覧画面（コンテンツ等選択画面）を表示します。

⏻(電源)キー

電源を入れたり、切ったりするときに押します。

シフトキー

2種類の機能が書かれているキーの、枠で囲まれた機能を使うときに押します。

ページ送りキー

1画面ずつ送るときになどに使います。

音声キー

音声マーク（  ）などの音声を再生するときに押します。

記号キー

「？」や「～」などの記号を入力するときに押します。

スペース/変換キー

スペースを入力するときや、入力した文字を漢字変換するときに押します。使いかたは『かな漢字変換をして入力する』をご覧ください。

戻るキー

前の画面などに戻ります。

決定キー

メニュー選択や文字入力などを確定します。

カーソルキー

１行ずつ画面を送るときや、カーソルを動かすときなどに使います。

文字小（[シフト][◀]）/ 文字大（[シフト][▶]）キー

文字サイズを変えるときに押します。

🔊+（[シフト][≪]）/ 🔉ー（[シフト][≫]）キー
　音量を調整するときに押します。
　（🔊+ ：音量大、🔉ー：音量小）
削除キー
　入力した文字を1文字ずつ削除するときに押します。
クリア（[シフト][削除]）キー
　各コンテンツの入力画面や最初の画面などに戻ります。
操作タッチキー表示エリア
　画面に応じた機能（手書き入力画面表示、単語帳など）や、カーソル、決定や戻るなどの操作タッチキーが表示されます。[📄]にタッチすると操作タッチキー表示エリアのページが切り替わります。

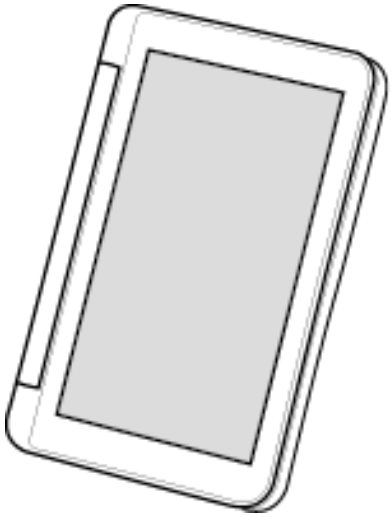
★注意★
キーなどの動作は、コンテンツにより異なる場合があります。

■調べるスタイル／学習スタイル
本製品は、“調べるスタイル”（キーボード操作方式）と“学習スタイル”（タッチ操作方式）の2通りの使用方法が可能です。

調べるスタイル（キーボード操作方式）



学習スタイル（タッチ操作方式）



★注意★

学習スタイル（タッチ操作方式）で使用しているときは、キー（⏻キーによる電源ONを除く）による操作はできません。

■電源の入れかた／切りかた

電源を入れる

本体を閉じた状態から開いたときに電源が自動的に入るようになっています。

また電源が切れているときに[⏻]を押すと電源が入り、電源が切れる前の画面が表示されます（レジューム機能）。
なお、オープニング設定によっては、オープニング画面が表示されます。オープニング設定については、『設定』をご覧ください。

電源を切る

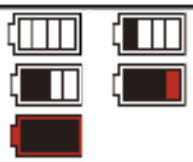
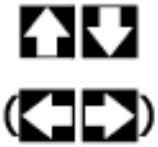
電源が入っているときに[⏻]を押すと電源が切れます。ただし、画面が暗くなっているときは、[⏻]を押すと画面が明るくなります。
操作タッチキーの[電源]でも電源を切ることができます。

自動的に電源が切れる場合

追加音声（MP3）再生中、ボイスメモ再生／録音中などを除いて、本体を閉じると電源が切れ、動作している機能がすべて終了します。
また、一定時間（初期値は約5分間）キー操作などがないと自動的に電源が切れます（オートパワーオフ機能）。
ただし、次のような場合は電源が切れませんので、電源の切り忘れなどに注意してください。
●追加音声（MP3）再生中　●連続読み上げ中　●ピクチャー字幕リスニング再生中
●ACアダプター接続時に、フォトスライドのスライドショーを行っているときや、オープニング画面でオートデモ（商品紹介）を行っているとき
●ボイスメモ（再生・録音）　●タイマー（カウント中）
オートパワーオフ時間は、ホーム画面の「設定」－「オートパワーオフ時間設定」を選んで変更できます。

■画面表示について

画面に表示される表示シンボルやマークは、製品の状態などを示します。

シンボル	意　味
	電池充電中を示します。
	電池が満充電であることを示します。
	電池の残量（目安）を示します。
	画面の右上に表示され、矢印の方向に表示されていないデータがあることを示します。 [▼]、[▲]：１行ずつ画面を送ります。 [≫]、[≪]：１画面ずつ画面を送ります。 このシンボルにタッチすると１画面ずつ画面を送ります。 縦書きのコンテンツでは横向きの矢印が表示される場合があり、その場合は[◀]、[▶]でも１行ずつ画面を送ります。
	このシンボルは画面の左上に表示されます。 [シフト]が押されたことを示し、キーボード上の枠で囲まれた機能を選択できます。 （状況により選択できない機能があります。）

マーク	意　味
	関連する例文や解説、図、コラム(NOTE)、表が収録されていることを示します。 マークにタッチすると、収録内容を表示または再生します。 ※本製品に収録されているコンテンツでは表示されないマークがあります。
	音声データが収録されていることを示します。 マークにタッチすると、音声を再生します。
	ジャンプして参照することを示します。 マークまたはマークが示す用語にタッチするとジャンプ機能が働きます。

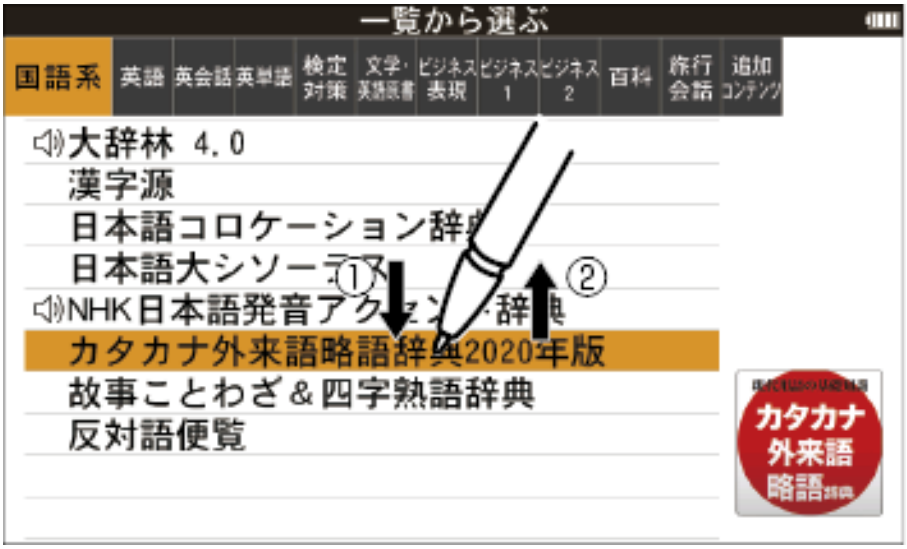
■画面タッチ操作のしかた

画面をタッチペンでタッチして操作できます。

タッチ操作の種類

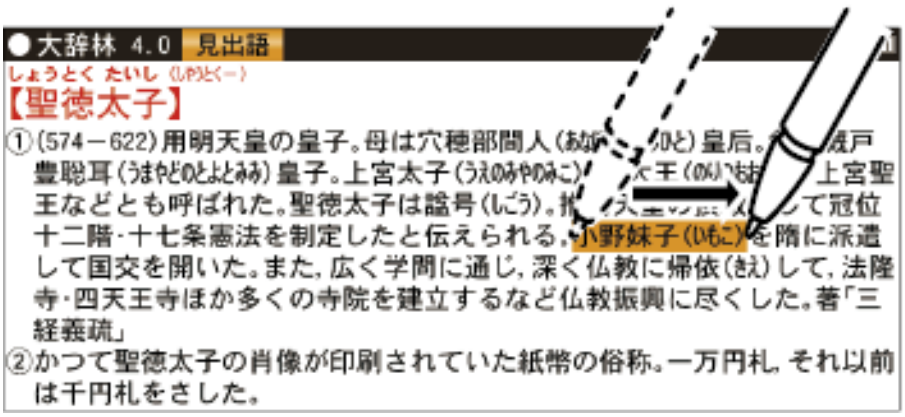
タッチ：

画面に①軽く触れ（軽く押し）、②離す操作です。メニューの項目を選んだり、画面のボタン、⬭型マーク、⬆・⬇の操作など、多くの操作に使用します。



ドラッグ：

タッチペンで画面にタッチしたままペンを別の点まで移動させます。文字の範囲指定などに使います。



★注意★

画面を強く押さえたり、たたいたりしないで軽く操作してください。
強い力やショックを加えると傷がつき、破損の原因になります。

ドラッグによる画面送り

タッチペンで画面を上下にドラッグすると、画面を送ることができます。
詳しくは、『ドラッグによるスクロール』を参照してください。

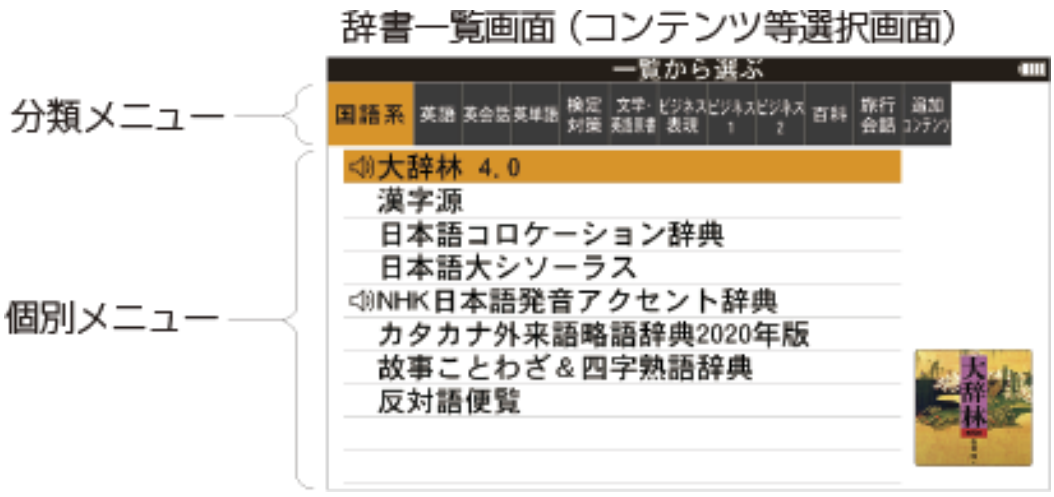
■使いたいコンテンツ（辞書）の選びかた

ホーム画面で選ぶ

[ホーム]を押すとホーム画面が表示されます。ホーム画面からアイコンをタッチしていきます。詳しくは、『ホーム画面について』を参照してください。

辞書一覧画面で選ぶ

[一覧から選ぶ]を押して、またはホーム画面の「一覧から選ぶ」にタッチして表示される辞書一覧画面で、まず分類メニューを選び、次に個別メニューから使いたいコンテンツを選びます。



分類メニューの選択

［▶］や［◀］で選びます。それぞれ、画面にタッチして選ぶこともできます。

個別メニューの選択

［▼］や［▲］で選んで［決定］を押します。それぞれ、画面にタッチして選ぶこともできます。

その他の方法で選ぶ

●コンテンツ選択キーを押して選びます。押すたびに二つのコンテンツが交互に表示されます。
[国語/漢字]：大辞林4.0/漢字源
[英和/和英]：ジーニアス英和大辞典※/新和英大辞典
※ホーム画面の「設定」－「ダイレクトキー設定」からコンテンツ登録を変更できます。

●［My辞書］を押します。
ホーム画面の「設定」－「ダイレクトキー設定」から［My辞書］の設定を変更できます。またホーム画面のお気に入り表示エリア左端に登録したコンテンツが、[My辞書]を押したときに開くコンテンツになります。詳しくは『お気に入り登録について』を参照してください。

■ホーム画面について

［ホーム］を押すとホーム画面が表示されます。
ホーム画面から、入力欄に文字を入力して検索を始めることができます。

また、コンテンツ（辞書）や、本製品の機能を選択することができます。
表示されているアイコン（絵記号）にタッチして選択します。あるいはカーソルキーでアイコンを選択し[決定]を押します。選択されているアイコンは色が変わったりマークがついたりします。



「調べる機能」
　調べたい語句を入力し検索することができます。詳しくは『ホーム画面から検索する』を参照してください。
「分類アイコン」
　「英語系」、「ビジネス」、「旅行・出張」、「国語系・百科」の各分類(大分類)からコンテンツを利用するためのアイコンです。次の画面でも分類(中分類)別に表示されます。コンテンツが複数のページに分かれているときは、▼や▲をタッチするとページが切り替わります。
「アクセサリー」

追加コンテンツ、ツール、フォトスライド、パソコン接続、手書き暗記メモ、カラー図鑑、会話アシスト、すべての単語帳を見る、すべてのマーカーテストを見る、コンテンツの説明を見るを利用するためのアイコンです。

「一覧から選ぶ」

辞書一覧画面を表示します。

「設定」

設定メニュー画面を表示します。

「使い方」

使い方の画面を表示します。

「お気に入りエリア」

ホーム画面では、お気に入りのコンテンツを8個まで登録し、ここから利用することができます。詳しくは『お気に入り登録について』を参照してください。

「切り替えボタン」

ここをタッチして「ホーム画面」「Brain Learning画面」「お気に入り画面」を切り替えることができます。詳しくは『ホーム／Brain Learning／お気に入り画面切り替え』を参照してください。

「操作タッチキー」

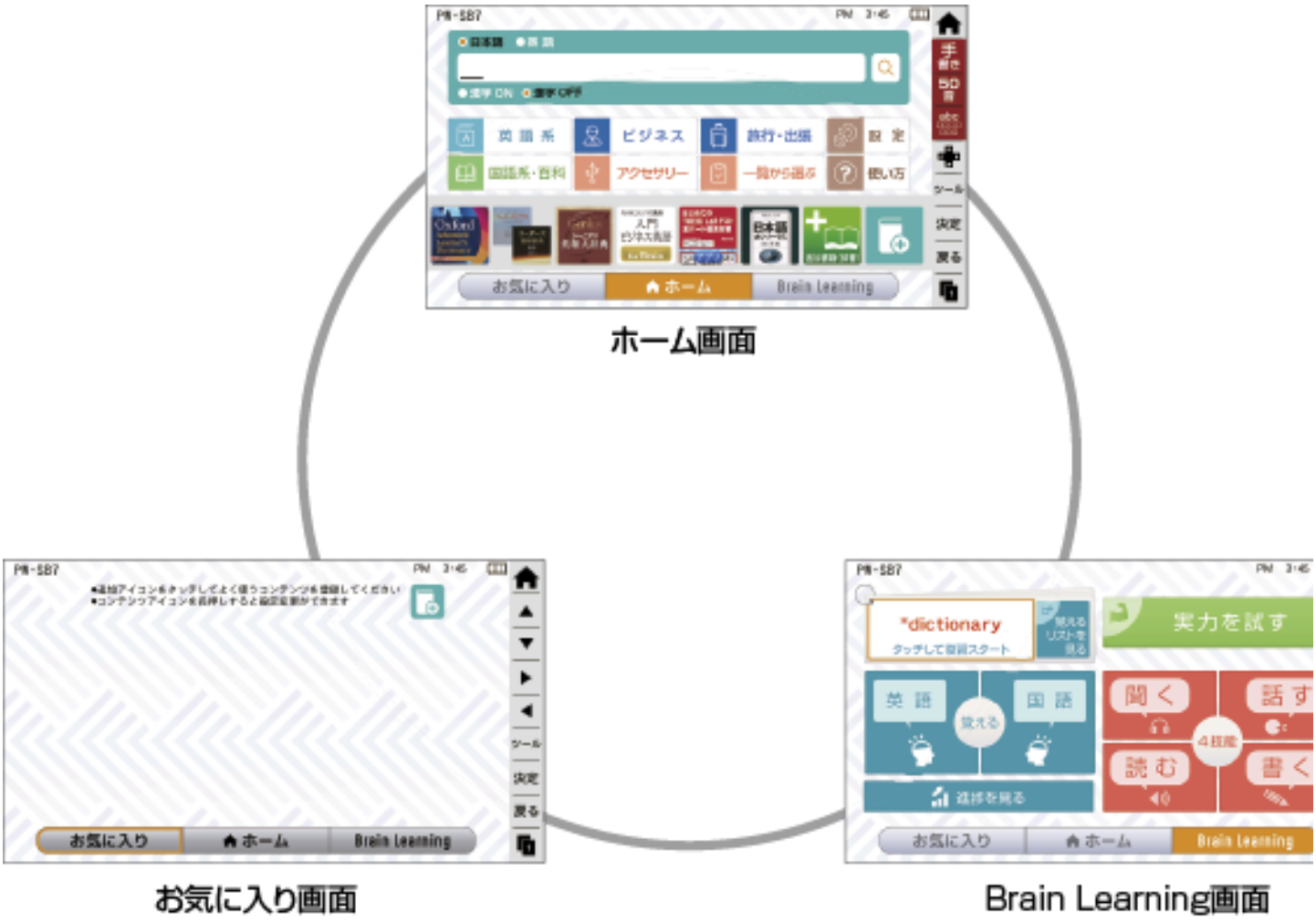
ここに表示される操作タッチキーから様々な操作ができます。詳しくは『操作タッチキーの使いかた』を参照してください。

「背景写真」

ホーム画面の背景に写真や名前を表示することができます。詳しくは『ホーム背景設定』を参照してください。

ホーム／Brain Learning／お気に入り画面切り替え

ホーム画面から、Brain Learning画面やお気に入り画面に切り替えることができます。
次の操作で切り替えます。
・画面下部の切り替えボタンにタッチする。
・タッチペンで左右にドラッグする。
・操作タッチキーの[ ]にタッチする。



Brain Learnign画面については『Brain Learningを使う』を参照してください。
お気に入り画面については『お気に入り登録について』を参照してください。

「分類アイコン」について

各分類からコンテンツを利用することができます。
【例】「英語原書」のコンテンツを利用する。
1. ホーム画面から「英語系」アイコンをタッチします。
「英語系」の画面が表示されます。



2. 画面右の分類(中分類)で「英語原書」にタッチし、コンテンツを選びます。

■お気に入り登録について

よく使うコンテンツなどを、ホーム画面またはお気に入り画面に、アイコンとして登録できます。
アイコンをタッチするだけの簡単な操作でコンテンツなどが利用できるので便利です。

二参考二

● 同じコンテンツをホーム画面とお気に入り画面の両方に登録できます。

● ホーム画面お気に入りエリアの左端に登録したコンテンツは、[My辞書]を押したときに開くコンテンツになります。

ホーム画面に登録する

1. ホーム画面お気に入りエリアで、入れ替えたいアイコンを約2秒タッチして離します。



2. お気に入り設定画面が表示されますので、変更したいアイコンにタッチします。

・ アイコンをタッチしたまま別のアイコンへ移動（ドラッグ）すると、お気に入りエリア内でアイコンの位置を変更できます。

・ アイコンをタッチしたまま（ゴミ箱）まで移動（ドラッグ）すると削除できます。（未登録状態）に変わります。

3. コンテンツを選択する画面が表示されます。
分類を選択し、登録するコンテンツにタッチします。

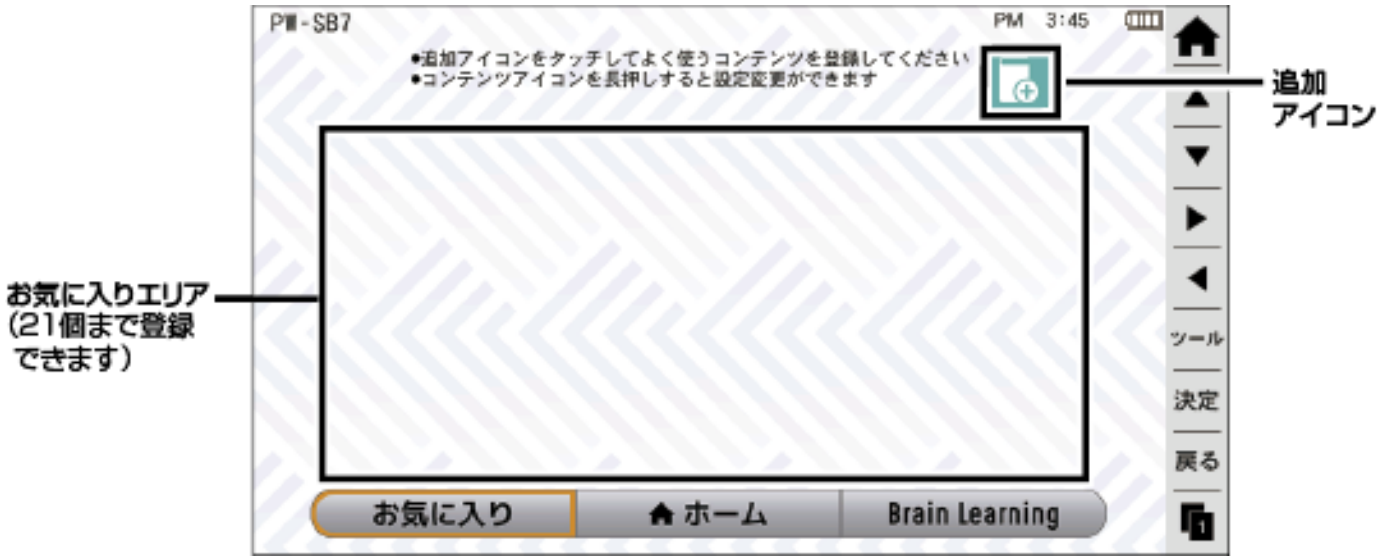
4. 選択したコンテンツのアイコンが表示されます。
登録を終了するときは、[ホーム]を押してホーム画面に戻ってください。

二参考二

（未登録状態）にタッチすると、コンテンツを選択する画面が表示されますので、分類を選択し、登録するコンテンツを選んで登録してください。

お気に入り画面に登録する

[ホーム]を押してホーム画面を表示し、画面下部のお気に入りボタンにタッチして、お気に入り画面を表示します。



この画面から次の方法でアイコンを登録します。

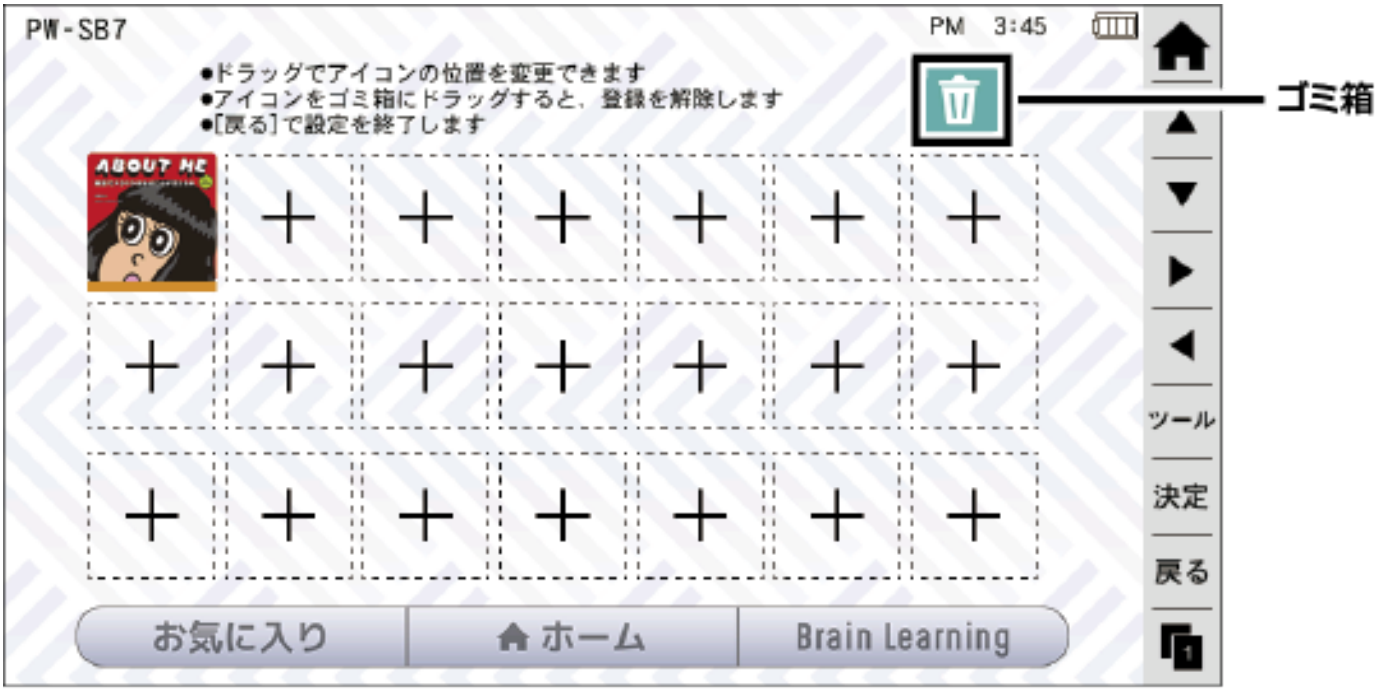
追加アイコンにタッチする

1. 画面右上の（追加アイコン）にタッチします。
2. コンテンツを選択する画面が表示されます。
分類を選択し、登録するコンテンツにタッチします。
3. 選択したコンテンツのアイコンが新規登録されます。お気に入りエリアの空きスペース左上から表示されます。

コンテンツアイコンを約2秒タッチする

コンテンツアイコンからお気に入り設定画面を表示して、変更や削除ができます。

1. 入れ替えたいアイコンを約2秒タッチします。
   お気に入り画面の設定画面が表示されます。



2. この画面から次の変更ができます。
   ・変更したいアイコンにタッチすると、コンテンツを選択する画面が表示されますので、分類を選択し、登録するコンテンツにタッチします。アイコンが変更されます。
   ・ アイコンをタッチしたまま移動（ドラッグ）すると、お気に入りエリア内でアイコンの位置を変更できます。
   ・ アイコンをタッチしたまま（ゴミ箱）まで移動（ドラッグ）すると削除できます。
3. ［戻る］を押して終了します。

■操作タッチキーの使いかた

画面右（縦表示のときは画面下）に表示される操作タッチキーから様々な操作ができます。以下に操作タッチキーの一例を説明します。操作タッチキーの内容は各機能やコンテンツにより異なります。また画面により色などが変わることがあります。

［▲］、［▼］、[▶]、[◀]、[≪]、[≫]、[決定]、[戻る]、[履歴]など

操作タッチキーから、本体キーボードのキーと同じ操作ができます。

[]

ホーム画面、Brain Learning画面やお気に入り画面を表示します。タッチすると画面が切り替わります。

[ （カーソル）]

カーソルやページ送りなどの操作ができるメニューに切り替わります。操作タッチキーを元に戻すときは[]にタッチします。

[]

手書き入力画面を表示します。

[]

50音かな入力のソフトキーボードを表示します。

[]

QWERTY配列のソフトキーボードを表示します。

[ツール]

ツールジャンプメニューを表示します。

[文字サイズ]（[文字大]、[文字小]）

文字サイズを大きく、小さく切り替えることができます。コンテンツや画面によっては切り替えられない場合や、切り替えるサイズの範囲が異なる場合があります。

[英作ボード]
　英語の文章を入力できる「英作ボード スピーキングプラス」を呼び出すことができます。詳しくは『英作ボード スピーキングプラスを使う』を参照してください。
[連続読上]
　コンテンツの詳細画面にて、TTS音声（Text To Speech：合成音声）で文章を連続して読み上げることができます。詳しくは、『英語、日本語、中国語（簡体字）の読み上げ（TTSでの音声読み上げ）』を参照してください。
[単語帳]
　単語帳に登録されている単語を表示します。
[単語帳登録]
　単語帳に登録します。
[２画面検索]
　詳細画面に別のウィンドウを開いて、別の語を調べることができます。
[暗記メモ作成]
　手書きでコメントなどを書き込んだ画面のコピーを保存することができます。
[設定]
　設定メニュー画面を表示します。
[音量]
　音量を調整します。
[再生速度]
　音声の再生速度を設定します。
[プレビュー]
　プレビューの表示/非表示および表示する位置を選択します。
[早見]

コンテンツの詳細画面の例文や補足説明などを省略し、意味などを箇条書きで表示します。

[縦⇔横切替]

画面の縦表示と横表示を切り替えます。

※一部の画面では縦横切替が機能しません。

[電源]

電源を切ります。

[🅵1]、[🅵2]など

操作タッチキーのページを切り替えます。

文字入力と修正

■キーによる文字の入力と修正のしかた

日本語の入力方法

キーによる日本語の入力方式は、“ローマ字かな入力”です。

キーで文字を入力する練習をしましょう。

＊ 入れ間違えたときは［削除］で消して入れ直してください。

＊ 漢字は手書きまたは漢字変換で入力します。漢字変換の操作方法については、『かな漢字変換をして入力する』を参照してください。

●日本語入力欄に「じゅんぷう」と入れます。

ローマ字かな入力の場合の操作：

［J］［U］［N］（［N］）［P］［U］［U］

ローマ字かな入力方式での入力

ローマ字のつづりでひらがなを入力する方法は、『ローマ字→かな変換表』を参照してください。

＊“ゐ”は［W］［Y］［I］、“ゑ”は［W］［Y］［E］とキーを押して入れます。

数字やアルファベットの入力

数字やアルファベット、Σ（シグマ）などは、読みを入力してください。

スペースやアポストロフィ（’）、ハイフン(ー)の入力

スペースやアポストロフィ（’）、ハイフン（ー）、中点（・）などは入れることができません。探したい語にこれらの文字・記号がある場合は、省いて入力してください。

ひらがな、カタカナを切り替えての入力

キーで入力する場合、コンテンツによってひらがなが入力されるかカタカナが入力されるか決まっていて、切り替えることはできません。

手書き入力では、ひらがな、カタカナの両方を入れることができます。

ただし、検索はひらがな、カタカナを区別せずに行いますので、どちらを入れて検索しても同じ言葉が探し出されます。

二参考二

● 日本語入力時に長音符（ー）を入力するときは[ー]を押します。

● [スペース/変換]は、全文検索で文字列の区切りとしてスペースを入力するときや、かな漢字変換のときに使用します。

英語の入力方法

英字などの入力のしかたを練習しましょう。入れ間違えたときは［削除］で消して入れ直してください。

●英語入力欄に「clean」と入れます。

［C］［L］［E］［A］［N］と押します。

英語入力時の注意

1. 見出し語にスペース、「ー」、「’」、「／」、「.」などがある場合、これらは省いて入力し、検索します。

（例）

fast food → fastfood

weak-kneed → weakkneed

let's → lets

2. キー入力では大文字と小文字は切り替えられません。検索は大文字と小文字を区別せずに行われます。

3. 数字は英語のスペリングで検索できる場合があります。

4. 「＆」は「and」と入力します。

二参考二

● [スペース/変換]は、例文検索や成句検索で文字列の区切りとしてスペースを入力するときに使用します。

● 「英作ボード スピーキングプラス」での英語入力については、『英作ボード スピーキングプラスを使う』を参照してください。

記号の入力方法（～／？）

入力欄で［記号］を押すと、ブランクワード（～）またはワイルドカード（？）を入力できます。
ブランクワード（～）／ワイルドカード（？）については、『読みやスペリングの一部を省略して検索する』を参照してください。

ピンイン（中国語発音表記）の入力方法

ピンイン(pinyin）は中国語の発音をローマ字表記する方法です。ローマ字はアルファベットで表しますが、母音に四声を表すマークが付く場合は下記の方法で指定します（四声の指定をしなくても検索することはできます）。

【例】「zǎofàn」(早饭)と入れてみましょう。
カーソルをピンインの入力欄に移し「zǎofàn」と入れます。
［Z］［A］［A］［A］［A］［O］［F］［A］［A］
［A］［A］［A］［N］

二参考二

ピンインの入力欄があるコンテンツにてピンイン入力が可能です。機種によってはピンイン入力ができるコンテンツが無い場合があります。

ピンインの入力について

ピンインで使用する、通常のアルファベット以外の文字の入力および四声の指定のしかたを説明します。

四声の指定

中国語の声調は、軽声、1 声、2 声、3 声、4 声があり、母音(a､o､e､i､u､ü)に声調記号（ˉ ˊ ˇ ˋ）を付けて表します。
なお、1 声～ 4 声をまとめて四声と呼びます。
四声の指定（入力）は次の操作で行います。
例えば［A］を1回押すと“a”が表示されます。続けて［A］を押していくと次の順で表示が変わります。
a→ā→á→ǎ→à→a
入力したい文字を表示させて、次の文字を入れるか、［▶］を押すと入力文字が確定されます。
同じ種類の文字が続くときは、前の文字を入れ［▶］で確定させてから次の文字を入れます。
dá'àn→[D][A][A][A][▶][A][A][A][A][A][N]
（'などの記号は省略して入れます。）
＊声調記号（ˉ ˊ ˇ ˋ）は、母音の上に付きます。
üの入力： üは[Ｖ]を押すと入力されます。

中国語や日本語の漢字、韓国語の入力

中国語の漢字（簡体字）は手書き入力します。韓国語（ハングル）は手書き入力とソフトキーボードで入力します。日本語の漢字は手書き入力と、キーなどで入力した仮名からの漢字変換で入力します。『手書き入力画面で文字を手書き入力する』をお読みのうえ、手書き入力をしてください。

入力した文字の修正のしかた

余分な文字を削除する

1. ［◀］、［▶］で削除したい文字の上に ◀カーソルを移します。



2. ［削除］を押します。◀カーソルのあるところの文字が削除されます。



カーソルが“_”のときに［削除］を押すと直前の文字が削除されます。

入力した文字をすべて削除する

［シフト］［クリア］と押すと入力した文字がすべて削除されます。

文字を追加する

［◀］、［▶］で文字を追加したい位置に◀カーソルを移し、文字を入力します。

■手書き入力画面で文字を手書き入力する

ホーム画面や各コンテンツの入力画面では、手書き入力画面を使って文字などを手書き入力することができます。(ピンインは除く)

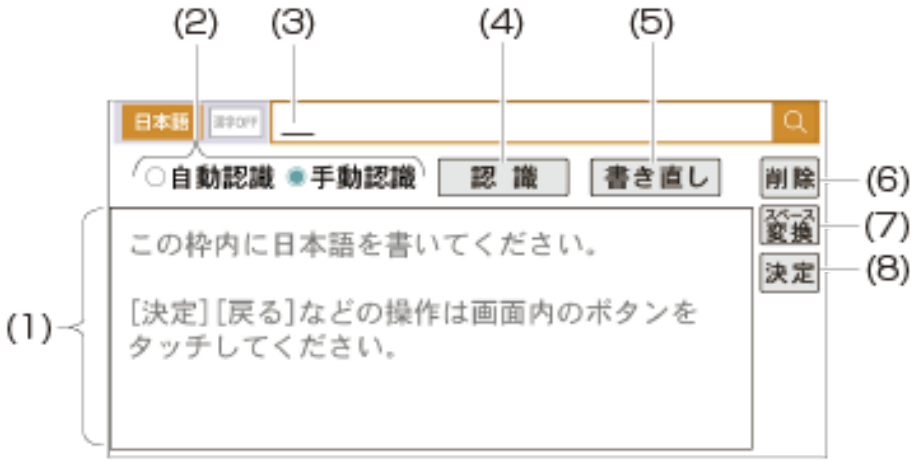
★注意★

● 手書き入力画面で文字を入力したときは、画面右の[決定]をタッチして検索を始めてください。

● 文字を書くときは、強く押さえないで軽く書いてください。画面の表面やペン先にゴミが付着している状態で強く押さえると、タッチパネルに傷がついたり、破損の原因になります。

手書き入力画面の各部のはたらき

ホーム画面や各コンテンツの入力画面などで操作タッチキーの[手書き]をタッチすると、手書き入力画面が表示されます。



(1)手書きエリア：タッチペンで文字を手書きします。
(2)［自動認識］／［手動認識］（認識方法切替）：手書きした文字の認識方法を示します。ラジオボタン（○）にタッチすると認識方法が切り替わります。

◉自動認識 ○手動認識：自動認識に設定されています。（初期設定）

○自動認識 ◉手動認識：手動認識に設定されています。

(3)入力欄：手書きした文字が認識されると、ここに入力されます。
(4)［認識］：手書きした文字を認識させたいときにタッチします。

（手動認識のときに表示されます。）

(5)［書き直し］：手書きの軌跡を消します。
(6)［削除］：入力欄に入力した文字を１字削除します。
(7)［スペース/変換］：入力欄にスペースを挿入します。全文検索などで表示されます。
(8)［決定］：入力欄に入力した文字を確定し検索を開始します。なお、手書き文字が手書きエリアにあるときにタッチすると

[認識]操作になります。

手書き入力のご注意

＊ 自動認識の場合、手書きエリアで文字を書いてペンを離すと、約2秒後に認識が行われます。文字は途中で止めないで速やかに書いてください。ただし、英字や漢字など、文字によって認識が行われる時間は異なります。

＊ 印刷している文字などを確認しながら書く場合は［手動］にタッチして手動認識にし、文字を書き終えてから［認識］をタッチして認識させてください。

＊ 漢字や仮名は楷書で1字ずつ、はねのある字は最後のはねまで丁寧に書いてください。行書など続け字は認識されない場合があります。

＊ 文字は手書きエリア（枠）内からはみ出さない範囲で、大きく書いてください。

ただし、仮名の小さい文字は、小さく書いてください。

＊ なるべく正しい筆順で書いてください。

＊ 文字の1画（線）が途切れないように書いてください。

＊ 文字が傾きすぎないように書いてください。

＊ はねやかざりをつけすぎないように書いてください。

＊ 英字はブロック体で書き、線の端に飾りなどを付けないでください。

＊ 英字は1字ずつ離して書いてください。続けて書くと正しく認識されません。また、前の文字に戻って線や点を追加することはできません。

＊ 1行で書いてください。2行で書くことはできません。

＊ 一部のコンテンツで表示される入力パッド（  ）の1枠入力のときは、数字や文字などは１字ずつ書いて認識させてく

ださい。
１つの枠に数字を2桁以上書いたり、アルファベットを筆記体で続けて書いたりすると違う文字と認識されます。

二参考二

手書き入力で認識する文字について

＊ 日本語はJIS X 0213-2004に基づくJIS第1水準～第4水準、およびJIS X 0212-1990に基づく補助漢字を認識します。JIS X0213の改定前の漢字と改定後の漢字の字形が異なる場合、どちらで書いても改定後の漢字と認識します（例：“祇”と書いても“祇”と認識します）。
ただし、コンテンツによってはJIS第3・第4水準に対応していないため、検索できない場合があります。

＊ 中国語は簡体字GB2312に準拠の漢字を認識します。ピンインを手書きで入力することはできません。

＊ ハングル（韓国語）はKSC5601に準拠の字を認識します。“○”（ieung）が認識されにくい場合は、○の部分を左回りで書いてください。

手書き認識について

手書き入力の際には、次のような点に気をつけていただくと認識されやすくなります。

●続け字にならないように（画数がはっきりとわかるように）書きます。



良い例　　悪い例

●崩さず、ていねいに書きます。



良い例　　悪い例

●あまり傾かないように書きます。



良い例　　悪い例

●“C”と“c”など大文字と小文字が同じような文字は、区別がつきやすいように、小文字を小さく書きます。



小文字　　大文字

●“っ”などの小さい文字も小さく書きます。



小さい「っ」　　大きい「つ」

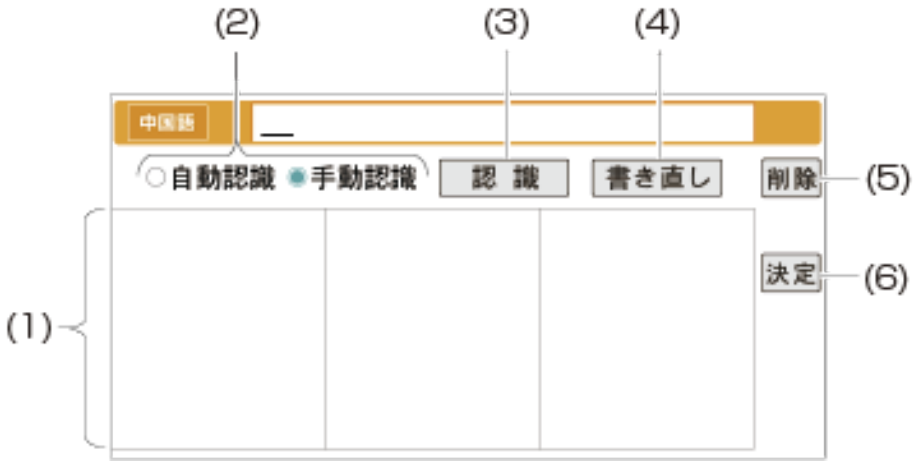
二参考二

● 手書きした仮名を漢字に変換する機能はありません。キーボード入力した仮名文字は漢字に変換することができます。

● 次の場合はタッチパッドの位置調整をしてみてください。（［ホーム］を押し「設定」から「タッチパッド調整」と選んで、調整してください。）

- 手書きしている文字とペンの位置がずれている。
- 候補の文字にタッチしても、ずれた位置で選択される。
- ボタンが、タッチした位置とずれた位置で働く。

● 中国語または韓国語コンテンツの入力画面で操作タッチキーの[手書き]をタッチすると、簡体字またはハングルの3枠入力パッド(縦表示のときは2枠入力パッド)が表示され文字を手書き入力することができます。



(1) 手書きエリア（3枠）：タッチペンで文字を手書きします。
(2)［自動認識］／［手動認識］（認識方法切替）：手書きした文字の認識方法を示します。ラジオボタン（○）にタッチすると認識方法が切り替わります。

◉自動認識 ○手動認識：自動認識に設定されています。（初期設定）

○自動認識 ◉手動認識：手動認識に設定されています。

(3)［認識］：手書きした文字を認識させたいときにタッチします。

（手動認識のときに表示されます。）

(4)［書き直し］：手書きの軌跡を消します。
(5)［削除］：入力欄に入力した文字を１字削除します。
(6)［決定］：入力欄に入力した文字を確定し検索を開始します。

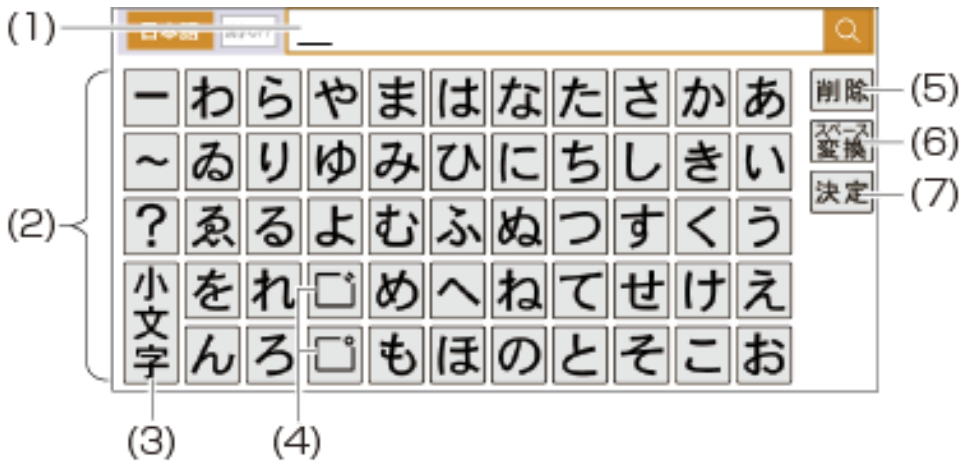
■ソフトキーボードで文字を入力する

★注意★

ソフトキーボードを使って入力欄に文字を入力したときは、画面右の[決定]をタッチして検索を始めてください。

50音かな入力をする

文字の入力画面で操作タッチキーの[50音]をタッチします。
50音かな入力は、日本語入力時のみ使用できます。



(1) 入力欄：
　調べたい文字・言葉をここへ入力した後、［決定］にタッチして検索します。
(2) 50音入力パッド：
　入力したいかなキーをタッチします。
(3) ［小文字］：
　かなの小さい文字を入れるとき、［や］、［ゆ］、［よ］など、対応する大きい文字を入れた直後にタッチします。
(4) ［◌゛］、［◌゜］：

“だ”、“ぱ”など濁音、半濁音を入れるとき、［た］、［は］などの清音を入れた直後に［゛］、［゜］をタッチします。

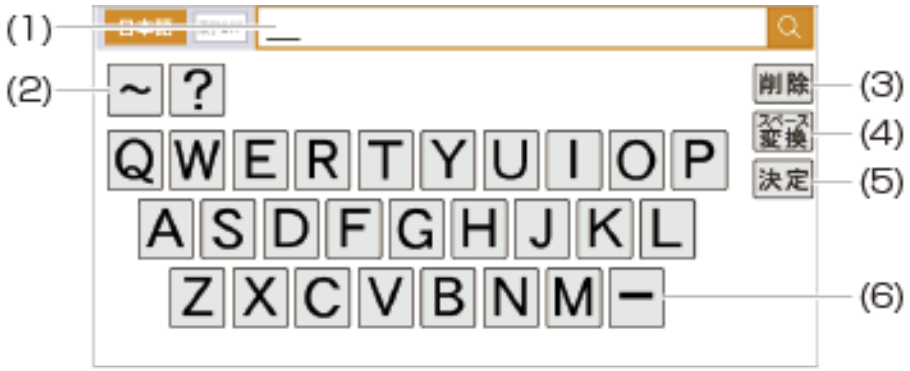
(5) ［削除］：
入力欄に入力した文字を削除するときに使用します。

(6) ［スペース/変換］：
スペースを挿入します。かな漢字変換モードのときは、かなを漢字に変換します。

(7) ［決定］：
入力欄に入力された文字・言葉を確定し、検索を行います。

QWERTY配列のソフトキーボードで入力する

文字の入力画面で操作タッチキーの[abc]をタッチします。
ローマ字かな入力(日本語）や英語を入力するときに使います。



(1) 入力欄：
調べたい文字・言葉をここへ入力した後、［決定］にタッチして検索します。

(2) ［~］、［？］：
ブランクワード、ワイルドカード検索するときに使用します。

(3) ［削除］：
入力欄に入力した文字を削除するときに使用します。

(4) ［スペース/変換］：
スペースを挿入します。かな漢字変換モードのときは、かなを漢字に変換します。
(5) ［決定］：
入力欄に入力された文字・言葉を確定し、検索を行います。
(6) ［ー］：
日本語入力時に長音符（ー）を入力します。

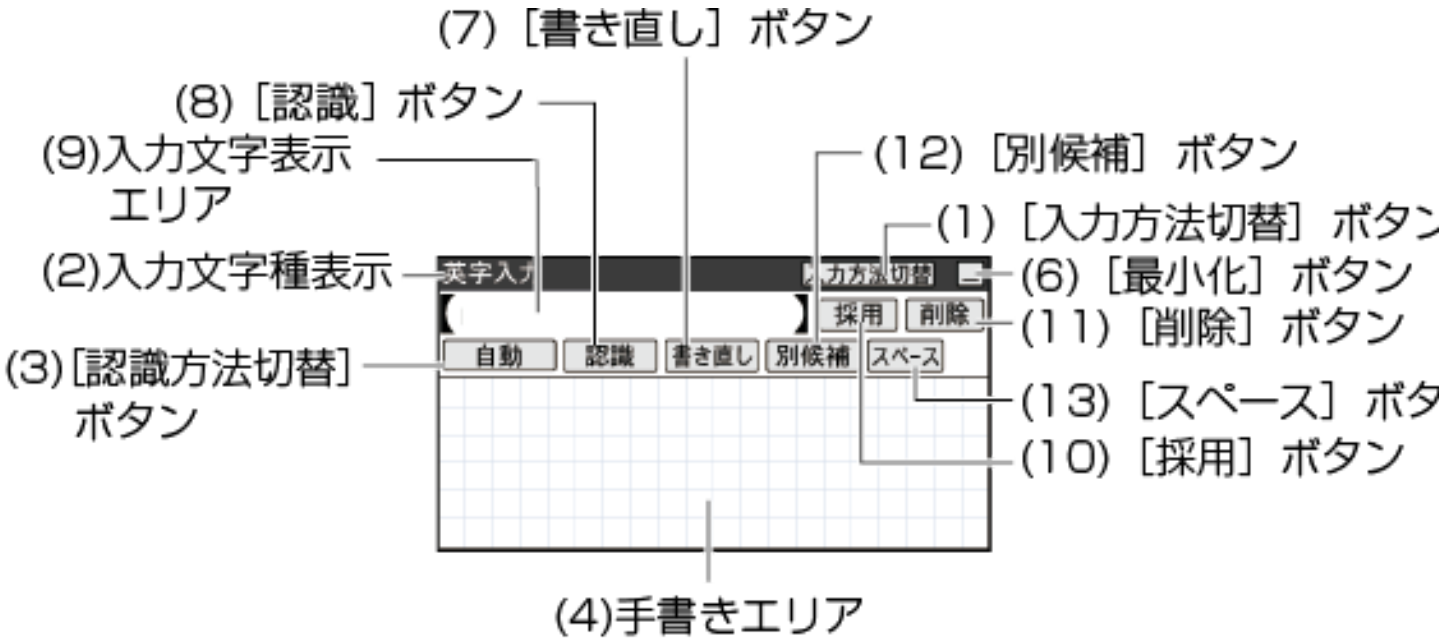
二参考二

中国語または韓国語コンテンツの入力画面で操作タッチキーの[]が使用できるときは、ピンインまたはハングル入力のソフトキーボードが表示され文字を入力することができます。

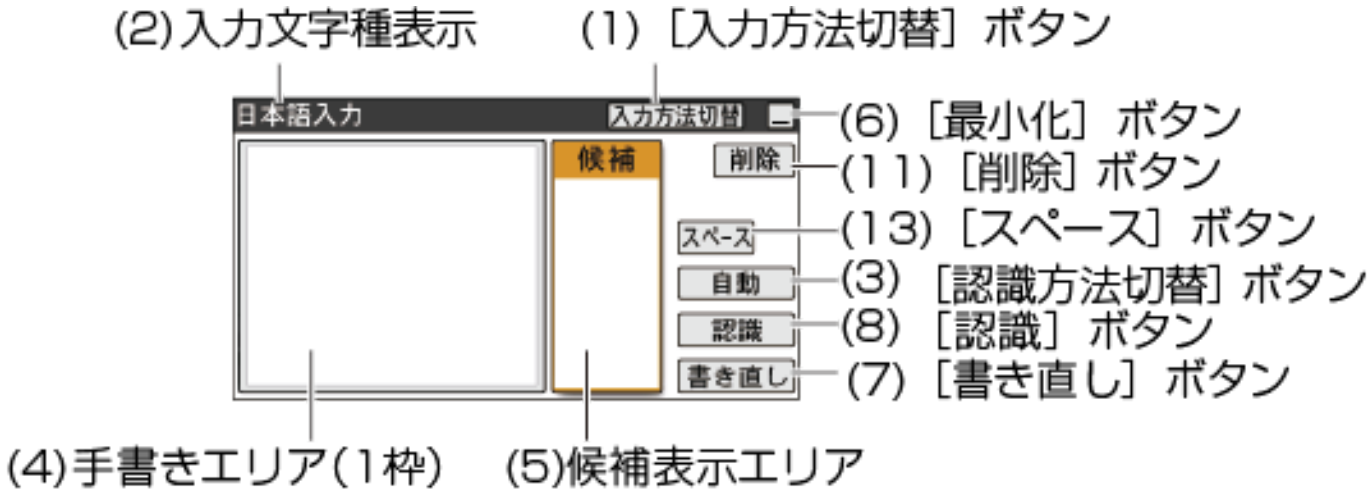
入力パッドから文字を入力する

一部のコンテンツでは画面中の  をタッチし、下記の入力パッドを表示して入力します。また、入力方法を切り替えることにより複雑な漢字は大きな1枠入力パッドで、文字を連続して入力するときは枠無し入力パッドで、というように目的に応じて使い分けられます。

【枠無し入力パッド】



【１枠入力パッド】



(1)［入力方法切替］：入力方法を切り替えるときにタッチします。

コンテンツや、検索方法によって表示される入力パッドは異なります。

※ローマ字かな入力は『QWERTY配列のソフトキーボードで入力する』を参照してください。

※50音かな入力は『50音かな入力をする』を参照してください。

(2) 入力文字種表示：入力できる文字種を示します。
(3) ［認識方法切替］：タッチすると認識方法が切り替わります。
　手書きした文字の認識方法を示します。
　［自動］：自動認識に設定されています。
　［手動］：手動認識に設定されています。
(4) 手書きエリア：タッチペンで文字を手書きします。
(5) 候補表示エリア：1枠入力パッドでは手書きした文字の候補文字が表示されます。
　なお、枠無し入力パッドでは、第1候補の文字または語が入力文字表示エリアに入ります。その文字にタッチすると、手書きエリアに候補が表示されます。［別候補］にタッチすると、手書きエリアに別の候補が表示されます。
(6) ［最小化］： 入力パッドを閉じ画面に  を表示します。
(7) ［書き直し］：候補や、書きかけの文字を消去します。
(8) ［認識］ ：手書きした文字を認識させたいときにタッチします。
(9) 入力文字表示エリア：枠無し入力パッドで表示されます。
　調べたい文字・言葉をいったんここへ入力した後、［採用］をタッチしてコンテンツの入力欄へ移して検索します。
(10) ［採用］ ：枠無し入力パッドで表示されます。
　入力文字表示エリアに入力された文字・言葉をコンテンツの入力欄へ移します。
(11) ［削除］： 入力欄や入力文字表示エリアに入力した文字を削除するときに使用します。
(12) ［別候補］：認識した語の別の候補を表示します。
(13) ［スペース］：スペースを挿入します。

二参考二

一部の中国語または韓国語コンテンツの画面で  をタッチすると、簡体字またはハングルの1枠入力パッドが表示され文字を手書き入力することができます。ピンインまたはハングル入力のときはソフトキーボードから文字を入力することもできます。

枠無し入力パッドで手書き入力をする

枠を気にせずに手書きして認識させることができます。

【例】英語の入力欄に「clump」を入れます。

1. 入力欄か  をタッチし、文字入力画面を表示させ［入力方法切替］をタッチして枠無し入力パッドに切り替えます。
2. 手書きエリアにタッチペンで「clump」と書きます。
   自動認識の場合、ペンを離して約2秒で文字が認識され、候補の文字が入力文字表示エリアに入ります。
   手動認識の場合は、最後の文字を書いた後［認識］にタッチして認識させます。
   一度に認識できる文字数は12文字までです。
3. 正しく認識されたら、［採用］にタッチしてコンテンツの入力欄に移します。
4. もし、正しく認識されなかった場合は、次の方法で対応してください。

   〈文字を入れ替える〉

   認識した文字数が同じで、文字が違っているときは、違っている文字にタッチします。下段に候補の文字が表示されますので、正しい文字にタッチすると入れ替わります。

   〈候補から選択する〉

   認識した文字数が違っている（文字も違う）ようなときは、文字の区切りが正しく認識されていません。

このときは［別候補］にタッチし、下段に表示される候補から、正しいスペリングの語を選択します。

二参考二

● 日本語の場合は、一度に12文字まで書かずに6文字程度までの単語または文節に区切って入力してください。
● 候補にないときは［書き直し］で消して、もう一度、手書きしてください。

■かな漢字変換をして入力する

入力欄付近の●漢字 ON/漢字OFF/漢をタッチして、●漢字 ON/漢字ON/漢に変えると、かな漢字変換を使用できます。
かな漢字変換を使用しないときは、●漢字 OFF/漢字ON/漢をタッチして、●漢字 OFF/漢字OFF/漢に変えてください。

ホーム画面で使う

1. ホーム画面で、日本語入力欄の下に表示されている●漢字 ONをタッチします。

●漢字 ONが●漢字 ONに変わり、かな漢字変換が使用できるようになります。



2. キーボードで調べたい文字や言葉を入力します。
3. 反転表示している状態で、［スペース/変換］を押すたびに漢字の候補が表示されます。
　　［▲］を押すと、一つ前の候補に戻ります。
4. 漢字が決まったら、［決定］を押します。一括検索が始まります。

二参考二

● 手順4で、[決定]を押す代わりに、画面の  をタッチしても一括検索が始まります。
● ホーム画面から[決定]を押したり文字を入力したりしたときに表示される調べる画面（検索リスト画面）でも、漢字OFFにタッチして、漢字ONに変えるとかな漢字変換を使用できます。かな漢字変換を使用しないときは、漢字ONにタッチして漢字OFFに変えてください。

国語系コンテンツ画面で使う

1. 国語系コンテンツなどで、日本語入力欄の左に表示されている漢をタッチします。
漢が漢に変わり、かな漢字変換が使用できるようになります。



2. キーボードで調べたい文字や言葉を入力します。
3. 反転表示している状態で、［スペース/変換］を押すたびに漢字の候補が表示されます。
　　［▲］を押すと、一つ前の候補に戻ります。
4. 漢字が決まったら、［決定］を押します。
・かな漢字変換を使用しないときは、漢をタッチして漢にしてください。

二参考二

● かな漢字変換は、キーボードやソフトキーボード(50音やabc)で入力するときに使用できます。手書き入力（手書き）のときは使用できませんので、漢字を手書きで入力してください。
● ソフトキーボード入力の際に文字を間違って入力した場合は、［削除］にタッチしてください。一回のタッチで一文字ずつ削除されます。
● 漢を漢に変えると、●漢字 ON/漢字OFFも●漢字 ON/漢字ONに変わります（連動しています）。

辞書を引く

辞書の引きかたは、大きく分けると２種類になります。

文字を入力して調べる

・ 見出し語や、その読み、スペリングなど、文字を入力して言葉を調べます。
多くの辞書では、文字を入力していくと、その文字が先頭に含まれる見出し語を検索してリスト（一覧）表示します。リストから目的の語を選んで、説明内容などを見ます。

・ 大辞林の逆引きや“？”“～”を用いた検索、複数の検索語を入力して行う検索などでは文字を入力した後［決定］を押して検索を行います。

リストの項目を選んで調べる

リストから項目を選んでいって目的の言葉などを調べます。

二参考二

テスト機能のあるコンテンツなどの場合は操作が異なりますので、それぞれのコンテンツを参照してください。

■文字を入力して調べる

【例1】大辞林で「ひまわり」を調べる

1. 辞書一覧画面から「大辞林4.0」を選びます。
日本語入力欄にカーソルが表示されます。
2. 日本語入力欄に「ひまわり」とキーを押して入力します。
入力した文字を先頭に持つ語が候補としてリスト表示されます（1字入力ごとに候補が絞りこまれます）。

・キーからの入力は『キーによる文字の入力と修正のしかた』を参照してください。

・ 漢字は手書き入力で直接入力したり、キーなどで入力した仮名からの漢字変換でも入力できます。

3. ［▼］、［▲］で目的の語を選び［決定］を押します。
詳細画面が表示され、意味などが表示されます。
・ 画面右上に“⬇”や“⬆”が表示されているときは、そこにタッチするか、または［≫］［≪］や［▼］［▲］で画面を送って隠れている内容を確認します。
・ ［戻る］を押すと前の画面に戻ります。

【例2】大辞林の逆引きで後ろに「ブルー」が付く語を調べる

1. 辞書一覧画面から「大辞林4.0」を選びます。
2. ［▼］で逆引き入力欄を選び、「ぶるー」とキーを押して入力します。
（逆引き入力欄はタッチして選ぶこともできます。）
3. ［決定］を押します。「ブルー」を後ろに持つ語が候補としてリスト表示されます。
4. ［▼］、［▲］で目的の語を選び［決定］を押します。
または目的の語にタッチします。
詳細画面が表示され、意味などが表示されます。

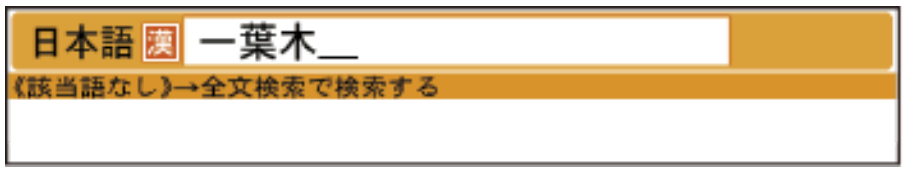
新しい言葉を引くときは

［シフト］［クリア］を押すと入力画面に戻りますので、新しい言葉を入力します。
また、詳細画面で、キーを操作し新しい言葉を入れて入力画面に戻る方法もあります。

文字を入力中に候補がなくなると

文字を入れていくと候補が絞り込まれていく検索では、該当する候補がなくなると次のような画面を表示します。

例(1)日本語の漢字入力時



例(2)仮名入力時



例(3)英語入力時



例(4)一括検索での日本語入力時



二参考二

● ［戻る］を押したときは、入力画面に戻ります。

● (2)、(3)の例で、［決定］を押すと、50音順またはアルファベット順で、入力した仮名（読み）またはスペルよりも後の語がリスト表示されます。

● (1)、(2)の例で、「《該当語なし》→全文検索で検索する」にタッチすると全文検索の画面が表示されます。

● (3)の例で、「《該当語なし》→スペルチェックへ」にタッチするとスペルチェックが実行されます。

● (4)の例で、「《該当語なし》➡あいまいチェック」にタッチするとあいまいチェック画面が表示されます。

検索の種類

検索には次の種類があり、コンテンツによって使い分けられています。

絞り込み検索：

文字を1文字入れるごとに候補が絞り込まれていきます。

頭出し検索：

入れた文字が先頭に含まれる語を探し、その語から始まる収録順リストを表示します。該当する語がないときは、並び順で次の語から始まるリストを表示します。

キーワード検索：

入れた文字（単語）が含まれる文を探します。

成句検索などで用いられます。

全文検索：

キーワード検索と同様、入れた文字列（単語など）やなぞった文字列が含まれる文、項目を探します。

キーワード検索は、見出し語などを探しますが、全文検索は、入力した文字列やなぞった文字列をコンテンツの文章の中から探します。したがって、入力した文字列が文章の中に含まれていれば、その項目が候補として表示されます。

あいまいチェック：

入れた文字列に似ている別の文字列で探します。

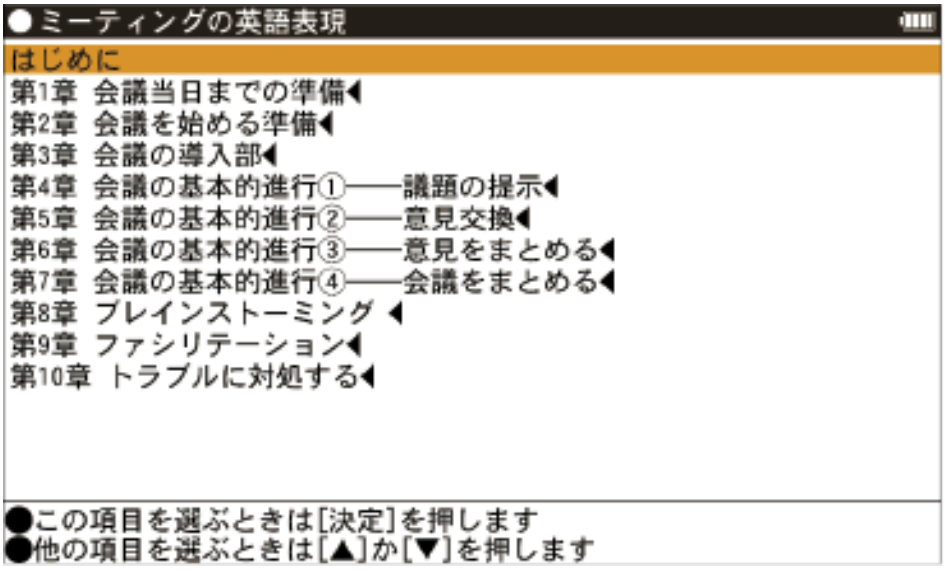
二参考二

検索する語によっては検索に時間がかかることがあります。

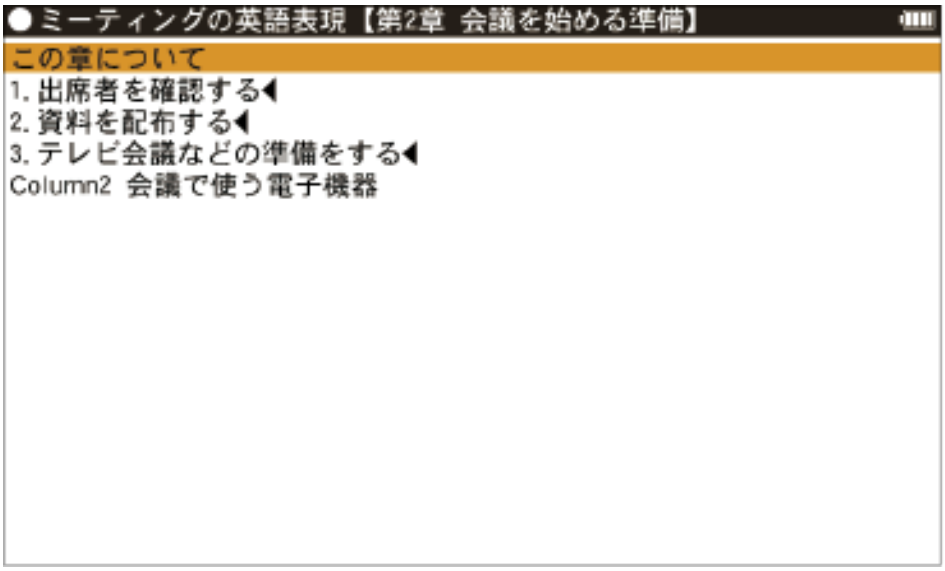
■リストの項目を選んで調べる

【例】「ミーティングの英語表現」で調べる

1. ホーム画面の「一覧から選ぶ」にタッチして、辞書一覧の分類メニュー「ビジネス表現」から「ミーティングの英語表現」を表示します。

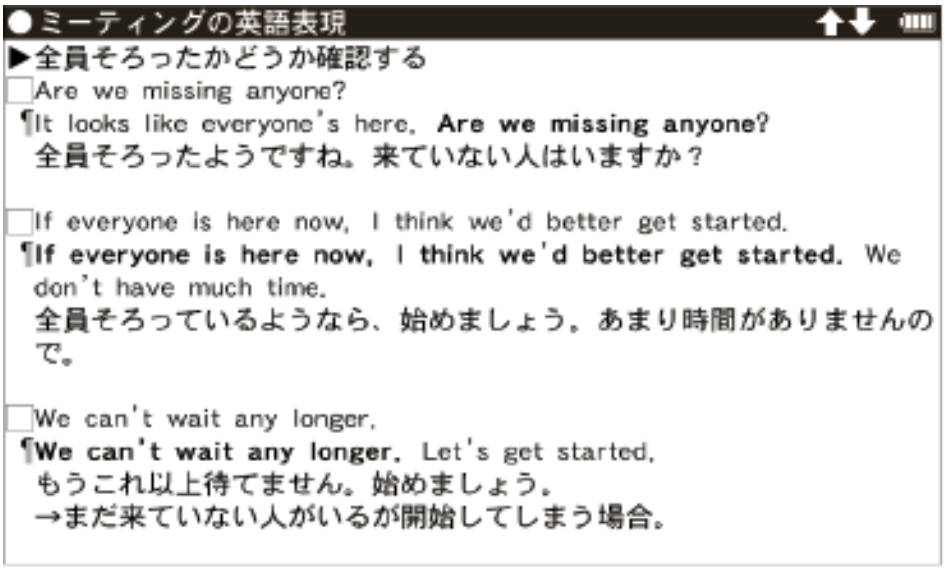


2. ［▼］、［▲］で項目（例えば「第２章 会議を始める準備」）を選び［決定］を押します。
または選びたい項目にタッチします。リストが表示されます。



・ 後ろに◀がある項目を選ぶと、その項目に含まれるリストが表示されます。

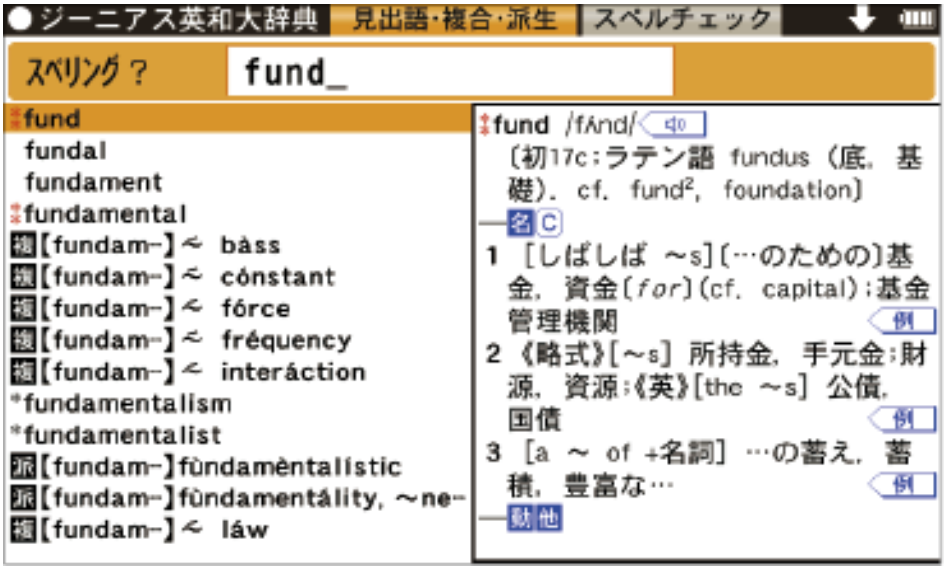
3. 手順2と同様にリストの項目を選んでいき目的の言葉(ここでは「1.出席者を確認する」から「全員そろったかどうか確認する」）を表示させます。



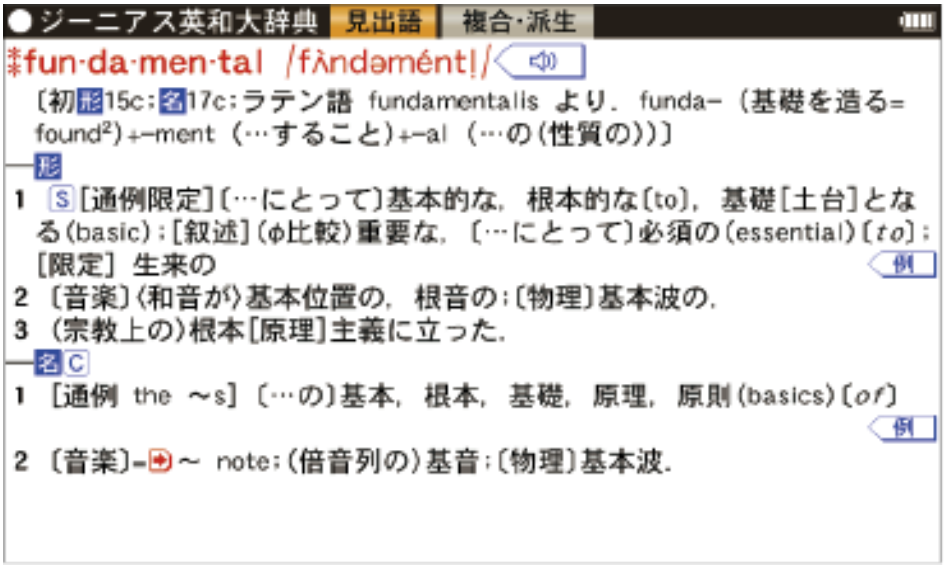
■タッチ操作で辞書を引く

画面のタッチ操作で辞書を引く場合の基本的な流れを示します。
【例】ジーニアス英和大辞典で調べる

1. ホーム画面の「一覧から選ぶ」をタッチし、分類メニューの「英語」をタッチして選びます。
2. 個別メニューの「ジーニアス英和大辞典」をタッチして選びます。
3. スペリング入力欄に検索する文字を入力します。候補がリスト表示されます。



4. 表示させたい候補の語にタッチします。詳細画面に説明などが表示されます。



項目の選択と画面送り

■リスト画面などでの項目の選択と画面送り

ジーニアス英和大辞典や大辞林などの辞書の最初の画面で何も入力せずに［決定］を押すと、リスト（一覧表示）画面が表示されます。

各項目（各語）を選択する方法

［▼］、［▲］でカーソルを目的の項目へ移動させて［決定］を押します。または目的の項目にタッチします。

画面を送って別の内容を見る方法

画面右上に“⬇”や“⬆”が表示されたときは画面外に隠れている内容があります。

1. ［▼］、［▲］でカーソルを１行ずつ移動させていくと、最下（上）行以降は画面が１行分ずつ送られます。
2. ［≫］、［≪］で１画面ずつ送られます。

二参考二

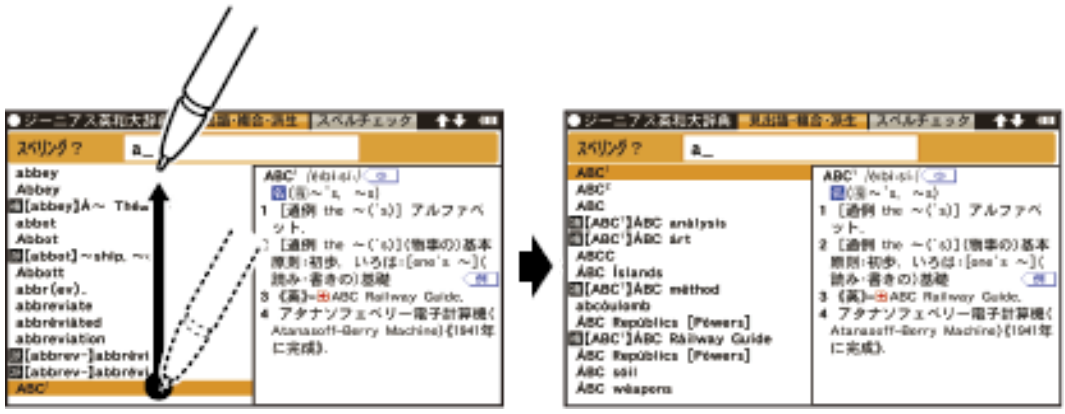
“⬇”や“⬆”にタッチして画面を送ることもできます。

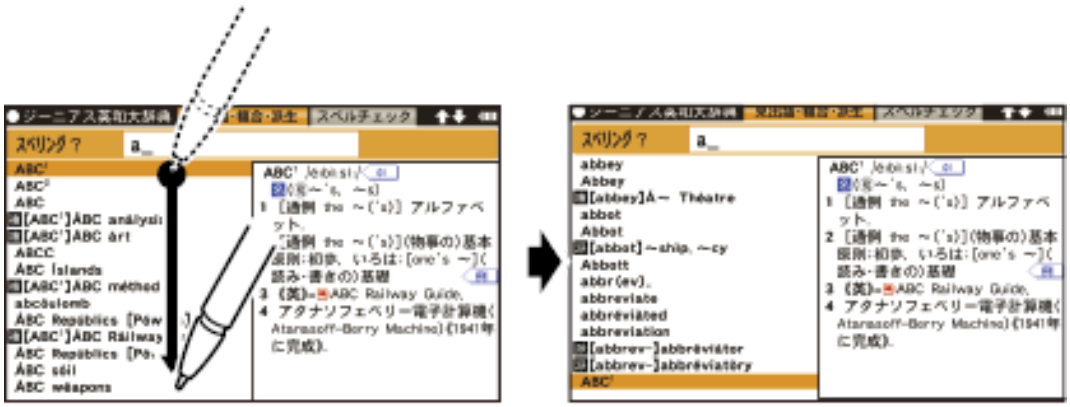
■ドラッグによるスクロール

右上に“⬇”や“⬆”が表示されている画面ではペンのドラッグによって、画面をスクロールすることができます。

リスト画面では、ペンを画面の見出し語がある行に置いて、そのまま上にドラッグすると、画面が上へスクロールします。

その逆に下にドラッグすると、画面は下へスクロールします。





詳細画面でのドラッグによる画面送り

画面右上に“⬇”や“⬆”が表示されているときには、ペンのドラッグによって、画面を送り、隠れた内容を表示させることができます（縦書きのコンテンツでは“➡”や“⬅”が表示され、左右にドラッグします。下記の上、下を右、左に読み替えてください）。画面の送りかたは、コンテンツによって異なります。

画面スクロール：

ペンを画面に置き、上や下に移動させると、それに従って画面がスクロール（1行単位で画面送り）します。

1画面送り：

ペンを画面に置き、上や下に移動させてペンを離すと1画面送り（1画面単位で画面送り）します。

※1画面送りされるコンテンツの例

●反対語便覧　●OXFORD BOOKWORMS　など

●文学作品（青空文庫）の各作品

●その他、電子書籍のサンプル、「コンテンツの説明を見る」や「使い方」の画面

●コンテンツ購入サイトで購入した一部の書籍/辞書

ペンを斜めに移動させたときは、角度によって「画面送り」と判断される場合と「範囲指定」と判断される場合がありますので、できるだけ上下方向にペンを移動させてください。一度動作が判断されると、その後、ペンを離すまでは、その動作が継続されます。

二参考二

- 右上に“🡻”や“🡹”（縦書きのコンテンツでは“🡺”や“🡸”）が表示されていない画面では、ペンを上下（縦書きのコンテンツでは左右）に移動させても範囲指定の動作を行います。
- 最も大きい文字サイズ（360ドット文字相当）で表示している画面ではドラッグによる画面送りはできません。
- Sジャンプやプレビューの画面内ではドラッグによる画面送りはできません。Sジャンプについては、『画面内の語を調べる（S ジャンプを使う）』を参照してください。
- 次の機能、画面ではドラッグによる画面送りはできません。
  会話アシスト機能、マーカーテスト画面

画面表示を変える

■文字サイズを変える

リスト画面や詳細画面で、操作タッチキーの[文字サイズ]([文字大]、[文字小])にタッチすると表示される文字の大きさが、次のように切り替わります。

詳細画面：

16←→24←→32←→48←→72←→128←→360ドット文字相当

リスト画面：
　16←→24←→32←→48←→72ドット文字相当

二参考二

● [シフト]を押した後に[◀]、[▶]を押して切り替えることもできます。
● アウトラインフォントであるため、ドット数では表せませんが、大きさの目安として“相当”を付けて表します。
● コンテンツや画面によっては、文字サイズを切り替えられない場合や、切り替えられるサイズ、範囲が異なる場合があります。

■詳細画面を箇条書きで見る（早見機能を使う）

早見機能は、コンテンツの詳細画面の例文や補足説明などを省略し、意味などを箇条書きで表示させることができます。
詳細画面で操作タッチキーの[早見]にタッチします。

二参考二

● 早見機能を解除するときは、[戻る]を押します。
● コンテンツや画面によっては早見機能が使えない場合があります。

■候補の言葉の意味を一部見る（プレビュー表示）

用語（候補）のリスト画面で、説明などの一部を見る機能です。
例えば辞書一覧画面から「大辞林4.0」の入力画面を表示して［決定］を押すと辞書順リストが表示され、先頭の言葉の説明の

一部が右または下の窓（プレビューウィンドウ）に表示されます。

プレビュー表示なしに設定する

1. プレビュー表示の画面で操作タッチキーの[]にタッチしてページを切り替えて[プレビュー]にタッチします。
2. [切]をタッチします。
3. プレビュー表示のない画面になります。

プレビュー表示ありに設定する

1. 用語（候補）のリスト画面で操作タッチキーの[]にタッチしてページを切り替えて[プレビュー]にタッチします。
2. [入（右）]または[入（下）]をタッチします。
3. プレビュー表示のある画面になります。

二参考二

タイトルなどの項目を選んでいく形式のリスト画面などではプレビュー表示は行われません。

■詳細画面に複数のタブが表示されたとき

詳細画面の上部に マーク（タブ）が表示され、現在の表示の種類（見出語など）を示します。（例、 見出語 ）
タブが複数表示されているときは、関連する内容があることを示し、 タブにタッチして切り替え、内容を見ることができます。
詳細画面で「見出語」、「複合・派生」、「成句」などのタブをタッチして切り替えます(［▶］や［◀］で切り替えができる場

合があります)。

■画面に〈舟形〉マークが表示されたとき

〈舟形〉マークは下記の種類があり、関連する例文や解説、図、音声、コラム（NOTE）、表が収録されていることを示します。
このマークにタッチすると、それぞれの内容が表示されます。

・ 例や解説を表示させた後、［▶］や［◀］で違う例や解説を順番に表示させることができます（例や解説マークが複数あるとき）。

・ 図を表示させた後、違う図を表示させるときは［戻る］で図などを閉じて、マークを選び直します（図マークが複数あるとき）。

終了するときは［戻る］を2回押します。

マークの種類（本製品収録のコンテンツでは、表示されないマークがあります。）

〈例〉、〈解説〉：例や解説を表示します。
〈図〉：図を表示します。
〈音声〉：音声を再生します。
〈NOTE〉：NOTE（コラム）を表示します。
〈表〉：表を表示します。

【例】 例や解説を見る

1. 見たいマークをタッチして選びます。
   マークが反転表示され、例や解説などが表示されます。
   画面右上に“⬇”や“⬆”が表示されたときはウィンドウ内に表示されていない部分があります。［≫］、［≪］などで送って確認します。

2. 別の例や解説があるときは［▶］や［◀］で表示させます。
3. 終了するときは［戻る］を2回押します。
   1回目でウィンドウが閉じ、2回目でマークの反転表示が解除されます。

■縦横表示切替について

本製品では、縦表示と横表示を切り替えることができます。表示を切り替えるには、操作タッチキーの[縦⇔横切替]をタッチしてください。

★注意★

● 本体を学習スタイル（タッチ操作方式）にすると、画面表示は横表示から縦表示に自動で切り替わります。調べるスタイル（キーボード操作方式）に戻すと、縦表示から横表示に自動で戻ります。
(ホーム画面の「設定」－「表示方向切替設定」にて、縦表示や横表示に自動で切り替わらないように設定することもできます。)

● 一部の画面では縦横切替が機能しません。
例えば、ピクチャー字幕リスニングの画面は縦横切替ができません。

● 縦表示のときに、一部の画面表示が横表示と違うことがあります。

音声を聞く

はじめに適正な音量に調整してください（ホーム画面の「設定」－「音量設定」などで調整）。

■音声マークの音声を聞く

辞書一覧画面([一覧から選ぶ]を押す、またはホーム画面の「一覧から選ぶ」にタッチする）で🔊マーク付きのコンテンツはMP3形式の音声データが収録されています。音声データは  マーク（音声マーク）で示されます(ピクチャー字幕リスニングコンテンツを除く)。

 マークの表示のある音声データは各国のネイティブスピーカー（native speaker）の音声を収録しています。「大辞林4.0」はクラシック音楽（一部）や鳥の鳴き声、虫の鳴き声などを収録しています。

音声再生方法

1. 詳細画面にて  マークが、再生対象の語や文の後ろなどに表示されます。
2. マークにタッチする、または[音声]を押します。
   マークが反転表示（  ）になり、音声が再生されます。
   ・ 反転表示時（  ）は［決定］または[音声]を押すたびに音声が再生されます。
   ・ 音声マークが複数あるときに、[音声]を押したときは、画面表示の一番上のマークが反転表示になり音声が再生されます。
   ・ 再生を中止するときや、マークの反転を戻すときは［戻る］を押します。
   ・音量を上げすぎるとスピーカーや市販のイヤホンからの音が割れたり、歪んだりすることがありますので、聞きやすい

音になるように調整してください。

二参考二

● 🔈や英単語などが反転（『マーク反転表示時の調整』参照）しているときは一度音声を再生した後、操作タッチキーの[再生速度]をタッチしてください。
音声の再生速度を切り替えることができます。
● 市販のイヤホンを使用するときは『市販のイヤホンで音声を聞くときは』を参照してください。

■音量を調整する

［シフト］［🔉ー］、［シフト］［🔊+］で調整します。また以下の方法でも調整できます。

設定で調整

1. ホーム画面の「設定」－「音量設定」を選びます。
音量調整画面が表示されます。
2. [◀]、[▶]で音量を選び[決定]を押します（または画面のバーにタッチします）。
音量が設定され、設定メニュー画面に戻ります。

マーク反転表示時の調整

マーク反転表示（🔈）時は、操作タッチキーの[音量]をタッチして調整することもできます。

★注意★

● 音量を上げすぎるとスピーカーや市販のイヤホンからの音が割れたり、歪んだりすることがありますので、聞きやすい音になるように調整してください。
● コンテンツによって音声データの音の大きさは異なります。

■英単語をネイティブの発音で聞く

各コンテンツの詳細画面に表示されている英単語などを、音声データを利用して発音させることができます。

1. 新和英大辞典などで詳細画面を表示させます。
   （例えば、たのしい【楽しい】の詳細画面にします。）
2. 発音させたい単語にタッチします。
   （例えば、“happy”にタッチします。）
   単語が選ばれ、機能の選択ウィンドウが表示されます。
3. 実行する機能「音声」にタッチするか、[音声]を押すと、音声が再生されます。
   ・ 音声データが収録された英単語などが1つだけ見つかったときは上の例のように、自動的に音声を再生します。英単語などが複数見つかったときは音声の選択ウィンドウに表示される候補を選び［決定］を押すと音声が再生されます。
   ・ 音声再生を途中で止めるときや、前の画面に戻るときは［戻る］を押します。
   ・ 選択ウィンドウの「TTS（英語）音声:」を選んで［決定］を押すとTTS音声で読み上げられます。

二参考二

● TTS音声により、単語などが読み上げられているときは、画面右上にTTSシンボルが表示されます。
● TTSについては、『英語、日本語、中国語（簡体字）の読み上げ（TTSでの音声読み上げ）』を参照してください。

■英語、日本語、中国語（簡体字）の読み上げ（TTSでの音声読み上げ）

多くの収録コンテンツで、表示される英単語や英語例文などの英語、日本語、中国語（簡体字）、数字をTTS（Text To Speech：合成音声）で読み上げさせることができます。

★注意★

音声読み上げ機能は、英語、日本語や中国語（簡体字）などを一切の誤りなく読み上げることを保証するものではありません。

連続読み上げ

コンテンツの詳細画面にて、TTS音声で文章を連続して読み上げることができます。また「英作ボード スピーキングプラス」でも入力した文章をTTSで連続して読み上げることができます。
1. 詳細画面で操作タッチキーの[連続読上]にタッチします。
下段に再生速度を選択するウィンドウが表示されます。



2. 再生速度を選んで、読み上げを開始したい文章をタッチします。
3. 連続読み上げが始まります。読み上げ中の文章は範囲指定表示されます。
    ・ タッチした位置の文章の先頭から、連続読み上げが始まります。
    ・ 連続読み上げを中止するときは[戻る]を押してください。

二参考二

● 連続読み上げ中は、自動でページが切り替わります。
● ページの最終行が文の途中となっているときなど、正しく読み上げられない場合があります。
● 詳細画面の最終行まで読み上げると、連続読み上げは終了します。

指定範囲や例文の読み上げ

1. 詳細画面で読み上げさせたい範囲の先頭から最後の単語までドラッグして、画面からペンを離します。英語例文などの例文を

読み上げるときは、例文マークにタッチして指定します。（例文マークは『例文での読み上げが可能な主な例文マーク』を参照してください。）
下段に機能選択ウィンドウが表示されます。



2. 機能選択ウィンドウ内の「読み上げ」にタッチします。
3. 指定範囲の文が読み上げられます。

二参考二

● 読み上げ可能な文字は、半角のアルファベット、数字、日本語、中国語（簡体字）です。範囲指定後に読み上げ可能な文字のみ発音します。また、文末の改行を超えて範囲を広げることはできません。
なお、文の途中にカッコで囲まれた部分がある場合、カッコで囲まれた部分を含んだ範囲を指定できる場合がありますが、カッコ内は発音しません。
● 指定範囲の先頭に読み上げができない文字がある場合、「読み上げ」は選択できません。範囲指定の先頭は読み上げ可能な文字を指定ください。

● 選択できる範囲は画面に表示されている内容のみです。必要な文全体を画面に表示させてから範囲を指定してください。
● 音声の再生速度は一度再生した後、操作タッチキーの[再生速度]で切り替えることができます。

例文での読み上げが可能な主な例文マーク

◆ 英語例文の読み上げ可能な主なコンテンツと、『 』内に例文マークを示します。

- 故事ことわざ辞典『英語』
- リーダーズ英和辞典＆リーダーズプラス『¶』
- ジーニアス英和大辞典『¶』
- 新和英大辞典『¶』
- OXFORD現代英英辞典『◇』
- ロングマン現代英英辞典『◇』
- ロングマン英語アクティベータ『◇』
- ロングマン連語類語辞典『◇』
- 使ってトクする英語 損する英語『○』、『×』、『△』、『◎』、『例：』
- TOEIC®テストボキャブラリー『¶』
- TOEIC®テストイディオム『¶』
- プレゼンテーションの英語表現『¶』
- ミーティングの英語表現『¶』
- ネゴシエーションの英語表現『¶』
- 経済ビジネス英語表現辞典『¶』
- わがまま歩き旅行会話『英』

◆ 中国語例文の読み上げ可能な主なコンテンツと、『 』内に例文マークを示します。

- わがまま歩き旅行会話 中国語『中』

TTSによる音声読み上げ機能について

TTSによる音声読み上げ機能は音声合成技術により英語、日本語、中国語（簡体字）を読み上げます。

TTSによる音声読み上げ機能において、以下の点にご注意ください。
・ TTSによる音声読み上げ機能が働かないコンテンツがあります(接客の英会話など)。
・ 音声読み上げ機能は、英語、日本語や中国語（簡体字）などを一切の誤りなく読み上げることを保証するものではありません。
・ 英語以外（ドイツ語など）を読み上げた場合、英語と見なして読み上げるため発音は正しいものではありません。
・ 同じつづりで意味合いにより発音が異なる語などは正しく発音されないことがあります。
・ 読み上げ可能な文字は、半角のアルファベット、数字、日本語、中国語（簡体字）です。中国語（簡体字）のピンインは読み上げできません。
・ この読み上げ機能では、英語、日本語と中国語（簡体字）の3種類の言語を読み上げることができますが、複数言語を含む文章の読み上げはできません。一度に複数の言語を含む文字列を選択された場合には、先頭の文字の言語を優先して読み上げます。

なお、お客様または第三者が本機能の使用により生じた損害、逸失利益につきましては、法令上賠償責任が認められる場合を除

き、当社および使用許諾権者は一切責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

オープンソースソフトウェアについて

・本製品には、ライセンスに基づく以下のソフトウェアが含まれています。

【License】

```
/* ----------------------------------------------------------------- */
/*           The HMM-Based Speech Synthesis System (HTS)             */
/*           hts_engine API developed by HTS Working Group           */
/*           http://hts-engine.sourceforge.net/                      */
/* ----------------------------------------------------------------- */
/*                                                                   */
/*  Copyright (c) 2001-2010  Nagoya Institute of Technology          */
/*                           Department of Computer Science          */
/*                                                                   */
/*                2001-2008  Tokyo Institute of Technology           */
/*                           Interdisciplinary Graduate School of    */
/*                           Science and Engineering                 */
/*                                                                   */
/* All rights reserved.                                              */
/*                                                                   */
/* Redistribution and use in source and binary forms, with or        */
/* without modification, are permitted provided that the following   */
/* conditions are met:                                               */
/*                                                                   */
/* - Redistributions of source code must retain the above copyright  */
/*   notice, this list of conditions and the following disclaimer.   */
/* - Redistributions in binary form must reproduce the above         */
/*   copyright notice, this list of conditions and the following     */
/*   disclaimer in the documentation and/or other materials provided */
/*   with the distribution.                                          */
/* - Neither the name of the HTS working group nor the names of its  */
/*   contributors may be used to endorse or promote products derived */
/*   from this software without specific prior written permission.   */
/*                                                                   */
/* THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND            */
/* CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES,       */
/* INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF          */
/* MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE          */
/* DISCLAIMED.  IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT OWNER OR CONTRIBUTORS */
/* BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL,          */
/* EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED   */
/* TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE,     */
/* DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON */
/* ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY,   */
/* OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY    */
/* OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE           */
/* POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.                                       */
/* ----------------------------------------------------------------- */
```

■市販のイヤホンで音声を聞くときは

市販のイヤホンで音声を聞くときは、イヤホンのプラグを本体左側面のイヤホン端子に接続します。

1. ［⏻］を押して電子辞書の電源を切り、イヤホンのプラグをイヤホン端子に接続します。
   ・ プラグは奥まで完全に差し込んでください。
   ・ プラグの抜き差しは必ずプラグを持って行ってください。コードを引っ張ると故障の原因になります。
2. 電子辞書の電源を入れ、音声を再生させます。
   ［シフト］［🔉ー］、［シフト］［🔊+］で、適正な音量に調整してください。

二参考二

内蔵スピーカーで音声などを聞くときはイヤホンのプラグをイヤホン端子から抜いておいてください。

■鳥の声やクラシック音楽を聞く

大辞林では、クラシック音楽・鳥の鳴き声などを聞くことができます。

【例】大辞林でクラシック音楽などを聞く
1. 辞書一覧画面から「大辞林4.0」を選んで入力画面を表示させます。
2. 「音を聞く」を選択し［決定］を押します。
3. 聞きたい分類を選択し［決定］を押します。クラシック音楽、鳥の鳴き声では更に分類を選択し［決定］を押します。
4. 聞きたい音を選択し［決定］を押すと再生されます。再生中に［決定］を押すと詳細画面が表示されます。

二参考二

● 音声再生速度は「標準」に設定して再生してください。音声再生速度の設定は『音声再生速度設定』を参照してください。
● 途中で再生を止めたい場合は［戻る］を押します。

■ピクチャー字幕リスニング機能を使う

ピクチャー字幕リスニング機能（以降、字幕リスニングと記載）は会話文を音声で読み上げながら、その文章を表示させていく機能です。本機能対応コンテンツとして「NHK基礎英語」、「キクタン」、「接客の英会話」などを収録しています。

ピクチャー字幕リスニング再生をする

1. [ホーム]を押し「一覧から選ぶ」にタッチして、「英会話」から「接客の英会話」を選んで［決定］を押します。再生方法の選択画面が表示されます。



前回のファイルを再生：前回再生していると濃く表示され、選択すると前回再生していた項目（ファイル）を再生します。
目次を表示：分類（フォルダ）、項目（ファイル）を選んでいって再生させます。

2. ここでは「目次を表示」を選び、［決定］を押します。
3. 再生したい項目（ファイル）を選んで［決定］を押します。選んだ項目（ファイル）が再生されます。

・コンテンツによっては、分類（フォルダ）の選択画面が表示されますので、分類を選んで[決定]を押してから項目を選びます。

二参考二

● 音声再生される（された）英単語の色が変わり、移動していきます。
字幕リスニングコンテンツによっては、音声再生されるのが単語単位ではなく、1 ブロック単位のものがあります。その場合、1ブロックがカラーの線で示され、1ブロック単位で移動していきます。なお、英語以外の言語は1ブロック単位で示されます。
● 再生中に再生速度を切り替えるときは、右下にある速度 をタッチして、順番に切り替えます。

再生の操作

次のキーで再生時の操作をします。
[∧]（⏮）：再生中のデータ（ファイル）の先頭へ戻って再生します。先頭から3秒以内に押すと同じフォルダ内で並びが前のデータ※1を再生します。
[∨]（⏭）：同じフォルダ内で並びが次のデータ※2を再生します。
[▲]（⏪）：再生中のデータ（ファイル）内で、一文前に戻ります。ただし、文の再生開始から3 秒を超えているときは、再度その文の先頭から再生します。
[▼]（⏩）：再生中のデータ（ファイル）内で、一文次へ進みます。
[戻る]（⏹）：再生を中止して、前の画面に戻ります。
[決定]（⏸/▶）：再生の一時停止、解除を交互に行います。

・ 画面の文にタッチすると、その単語または文の先頭から再生します。

※1 繰り返し再生設定を「全ファイル（選択フォルダ内）」に設定している場合で、フォルダ内の先頭のデータ再生時は、並び順で最後のデータを再生します。
※2 繰り返し再生設定を「全ファイル（選択フォルダ内）」に設定している場合で、フォルダ内の最後のデータ再生時は、並び順で先頭のデータを再生します。

★注意★

再生中に本体を閉じても、「繰り返し再生設定」の設定内容に従って再生されますので、本体を閉じた状態で音声を聞くことができます。
ただし、再生中はオートパワーオフ機能が働かないため、放置すると、充電池の残量が少なくなりますのでご注意ください。

二参考二

再生中の画面の右上に 

が表示されます。このボタンにタッチすると使い方の説明が表示されます。

画像とテキストの表示を切り替える

コンテンツ再生中に、左下の  、 

、 

をタッチします。
タッチした表示画面に切り替わります。

 ：画像のみ表示


：画像とテキストを表示


：テキストのみ表示

二参考二

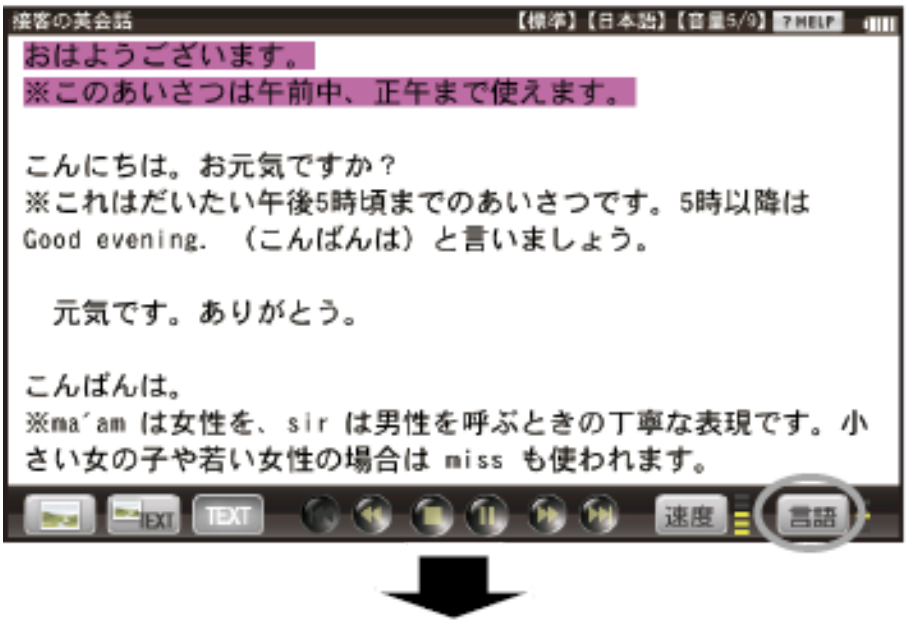
● 画像とテキストの表示が切り替えられるのは、ピクチャー字幕リスニングコンテンツのみです。画像のない字幕リスニングコ

ンテンツは、常にテキストのみで表示されます。
● ［◀］、［▶］で画像とテキストの表示を切り替えることもできます。

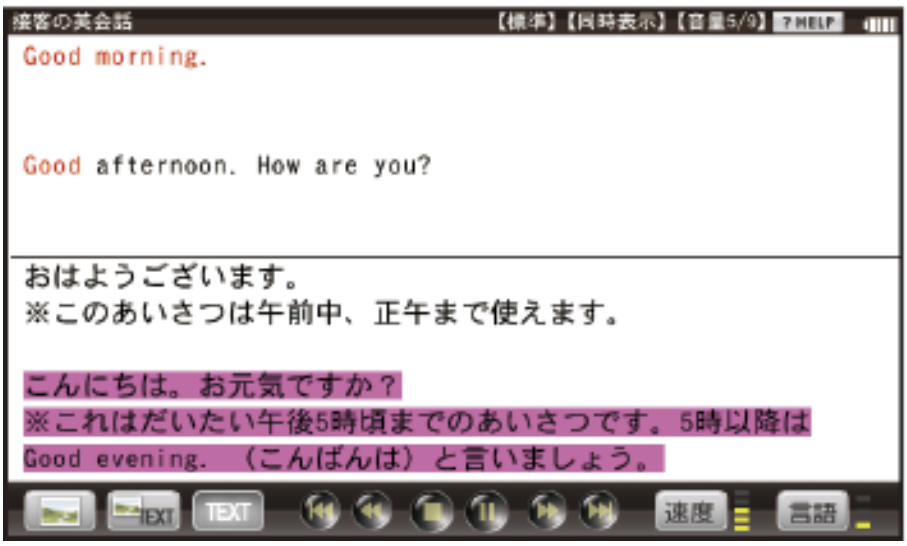
表示する言語を切り替える

コンテンツ再生中に右下の言語 をタッチします。
画面表示が切り替わります。

日本語表示画面



英語・日本語 同時表示画面



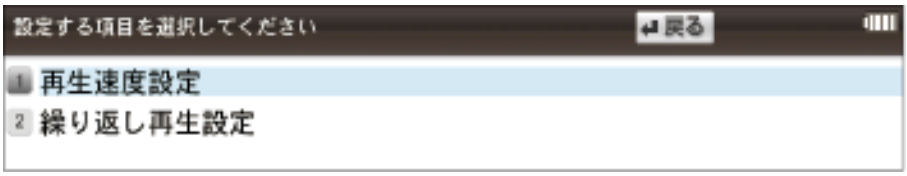
二参考二

● 画像のみ表示のときは言語の切り替えはできません。
● 英語・日本語同時表示はテキストのみ表示のときに実行できます。

再生速度を設定する

字幕リスニングの再生速度を設定することができます。

1. 字幕リスニングの各選択画面（リスト画面）で画面右上の 設定 にタッチします。
   字幕リスニング設定画面が表示されます。



2. 「再生速度設定」を選び［決定］を押します。
   再生速度設定画面が表示されます。
3. “▶”を設定したい項目へ移し［決定］を押します（または画面の項目にタッチします）。
   再生速度が設定され、字幕リスニング設定画面に戻ります。
4. ［戻る］を押して（［戻る］にタッチして）もとの選択画面（リスト画面）に戻ります。

繰り返し再生を設定する

次の繰り返し再生を設定することができます。

オフ：繰り返し再生を行いません。
再生を開始したフォルダ内のデータをリストで表示された順番に、最後まで再生して終了します。
1ファイル：再生を開始したデータ（ファイル）を繰り返し再生します。

全ファイル（選択フォルダ内）：再生を開始したフォルダ内のデータをリストで表示された順番に繰り返し再生します。

1. 先の字幕リスニング設定画面で「繰り返し再生設定」を選び、［決定］を押します。繰り返し設定画面が表示されます。
2. “▶”を設定したい項目へ移し［決定］を押します（または画面の項目にタッチします）。
   繰り返し再生が設定され、字幕リスニング設定画面に戻ります。
3. ［戻る］を押して、もとの選択画面（リスト画面）に戻ります。

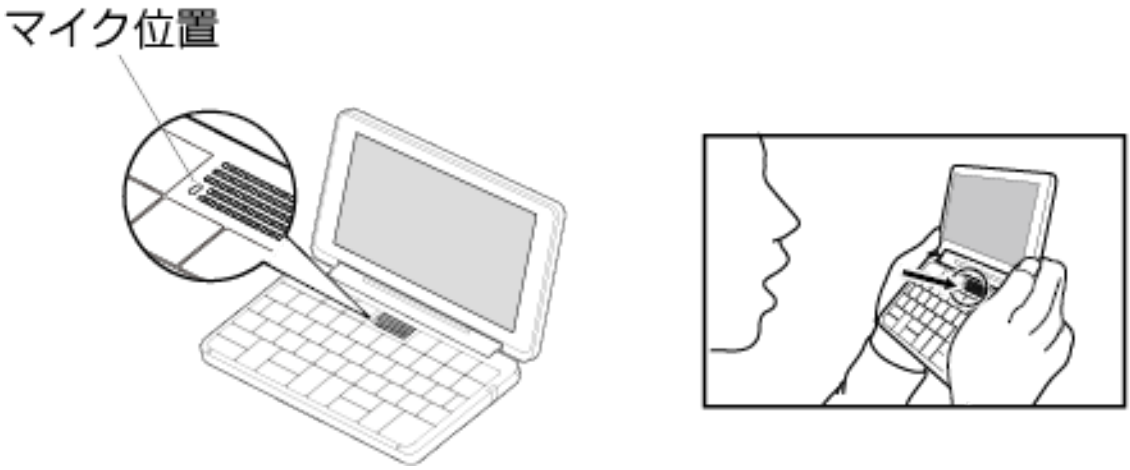
二参考二

字幕リスニングコンテンツは弊社電子辞書専用販売サイト「ブレーンライブラリー」からダウンロードしてご購入いただき、本体またはカードに入れてご利用いただくことができます（『字幕リスニング追加コンテンツを使う』を参照）。

マイクを使う

内蔵のマイクは「聞き比べ機能（英作ボードのスピーキング含む）」、「ボイスメモ」、「ATR CALL」で使います。

- ご使用前にマイクの音量を調整してください。



■マイクの音量を調整する

ホーム画面で「設定」－「マイク調整」と選んで[決定]を押しマイク調整画面を表示させます。
画面に表示される説明に従って操作してください。

※ 「聞き比べ機能（英作ボードのスピーキング含む）」、「ボイスメモ」、「ATR CALL」を正しく動作させるために次の注意をお読みいただき、正しくご使用ください。

★注意★

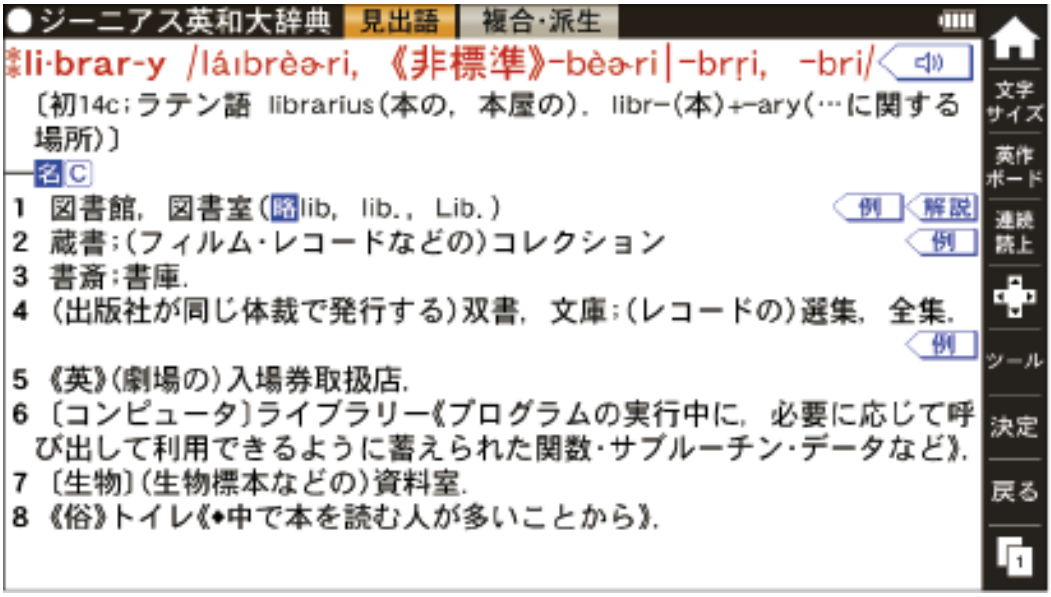
●マイクに向かって発音してください。
●マイクを手などでふさがないでください。
雑音が入るなど音量が変化し、正しく認識、採点されないことがあります。

■聞き比べ機能を使う

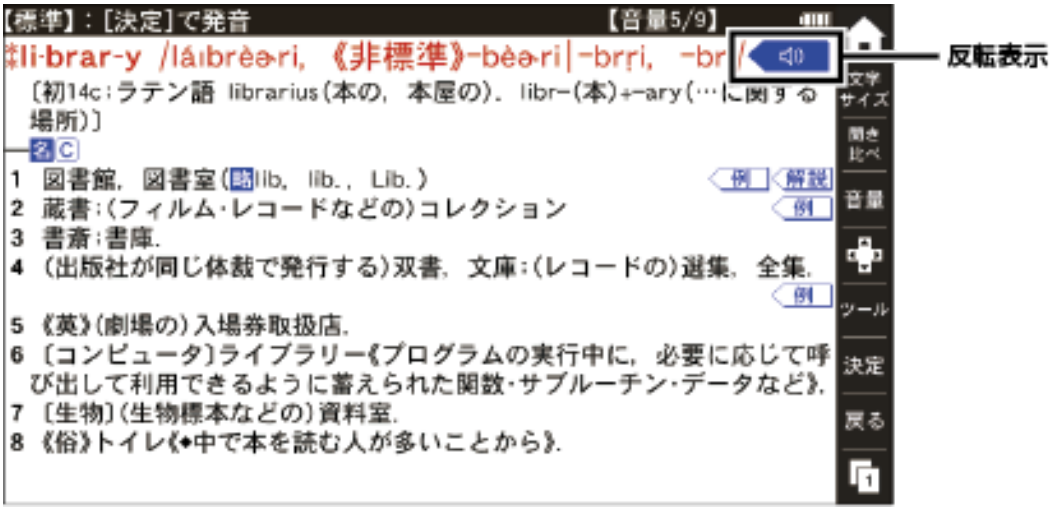
ネイティブスピーカーの音声データ（マークなど表示）が収録されている対象コンテンツで、自分の発音（声）を録音し、音声データの発音（お手本）と聞き比べることができます。
また、「英作ボード スピーキングプラス」で作成した文章について、TTS（合成音声）の読み上げと自分の発音を聞き比べるこ

ともできます。「英作ボード スピーキングプラス」での聞き比べについては、『英作ボード スピーキングプラスを使う』の『スピーキング（聞き比べ）』を参照してください。

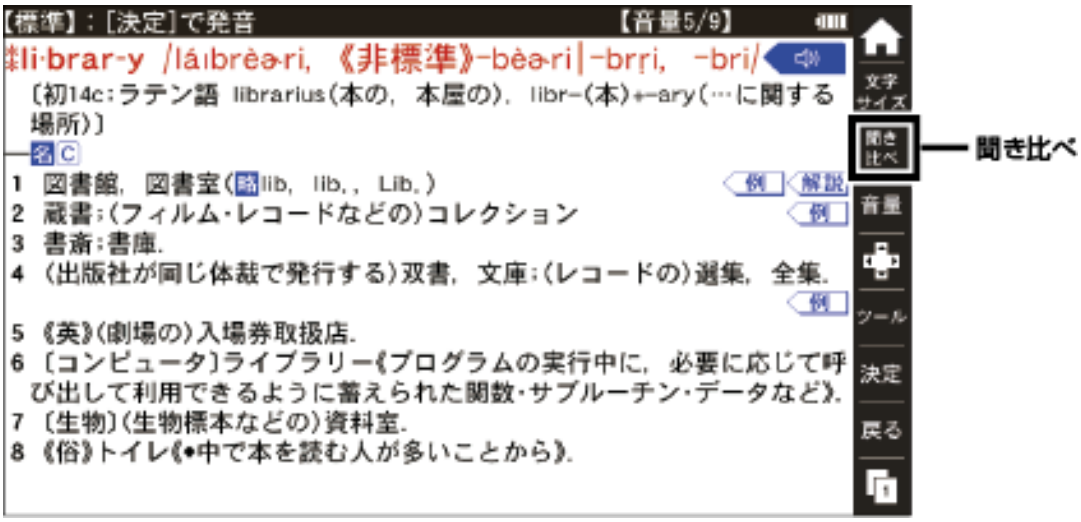
【例】「library」の発音を聞き比べる。
1. ジーニアス英和大辞典で「library」の詳細画面を表示します。



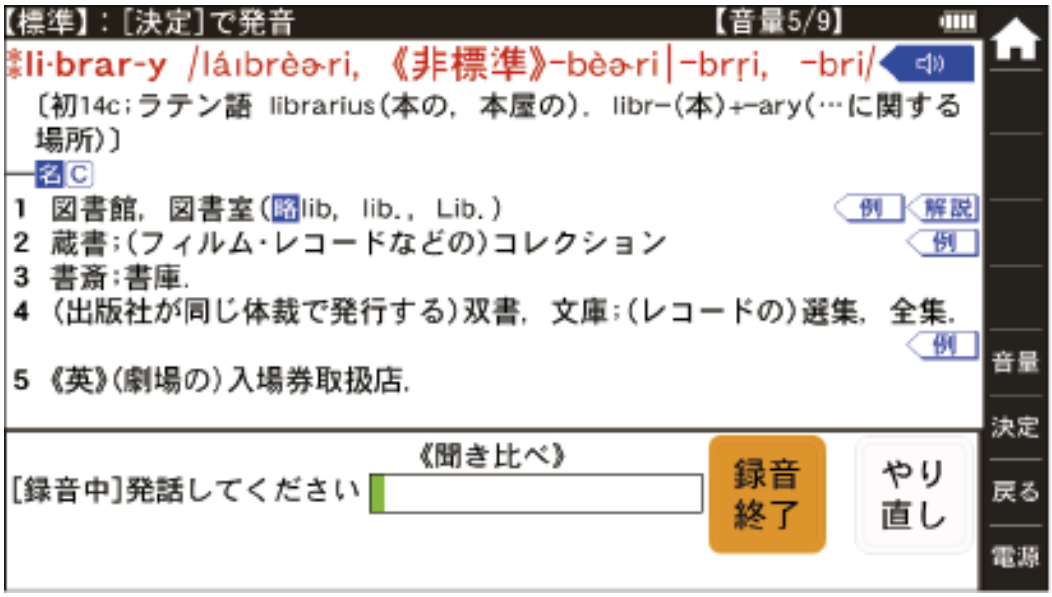
2. [音声]を押す、または  マークにタッチします。
音声マークが反転表示（  ）になり、音声が１回再生されます。



3. 操作タッチキーの[聞き比べ]をタッチします。
・ネイティブ音声が再生されます。



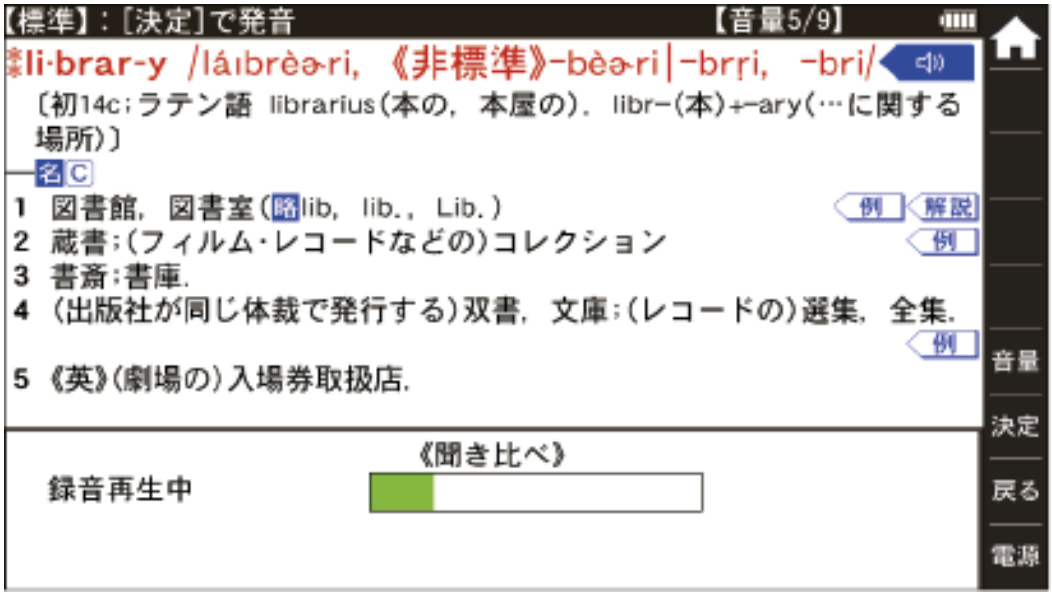
4. 再生が終了すると、自動で録音が開始されます。
・マイクに向かって発話（発音）してください。



5. 発話が完了したら、「録音終了」にタッチ、または[決定]を押します。
・録音をやり直すときは「やり直し」にタッチしてください。

6. ネイティブ音声（お手本）に続いて、録音された音声が再生されます。

・聞き比べてください。



7. 再生が終了すると選択メニューが表示されます。

・もう一度聞き比べるときは「もう一度聞く」にタッチしてください。

・録音をやり直すときは「やり直し」にタッチしてください。ネイティブ音声の再生が始まり手順4からやり直しになります。

・聞き比べを終了するときは「終了」にタッチまたは[戻る]を押してください。

二参考二

● 次の場合も聞き比べることができます。

・詳細画面で単語をタッチして選択し、機能選択ウィンドウの「音声」にタッチしたとき。

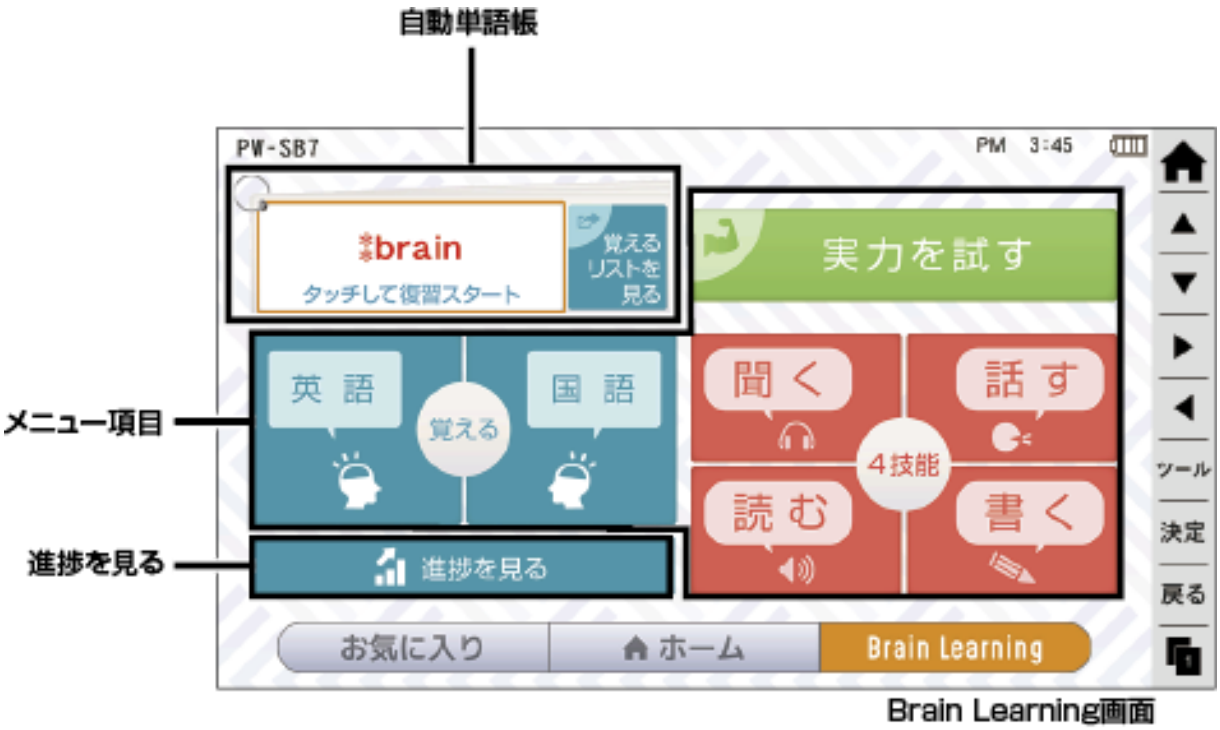
・操作タッチキーに[聞き比べ]が表示されたとき。

● 録音時間は最大約1分間です。約1分経過すると録音が終了します。
● 聞き比べ機能はマイクを正面で使うため、キーボード操作方式（本体を開いた状態）で利用してください。

Brain Learningを使う

■Brain Learning画面について

ホーム画面で切り替えボタンの「Brain Learning」にタッチすると、Brain Learning画面（学習のためのメニュー画面）が表示されます。



Brain Learning画面

「自動単語帳」
　自動単語帳の単語をランダムに1つ表示します。単語表示をタッチすると、自動単語帳の復習テストを開始できます。また「覚えるリストを見る」をタッチすると自動単語帳のリスト

画面が表示されます。詳しくは、『自動単語帳を使う』を参照してください。

「メニュー項目」

「覚える」（各教科）、「聞く」、「話す」、「読む」、「書く」、「実力を試す」：

各分類から学習コンテンツを利用するためのアイコンです。

「進捗を見る」

自動単語帳などの進捗状況がグラフに表示され確認できます。詳しくは『進捗を見る』を参照してください。

二参考二

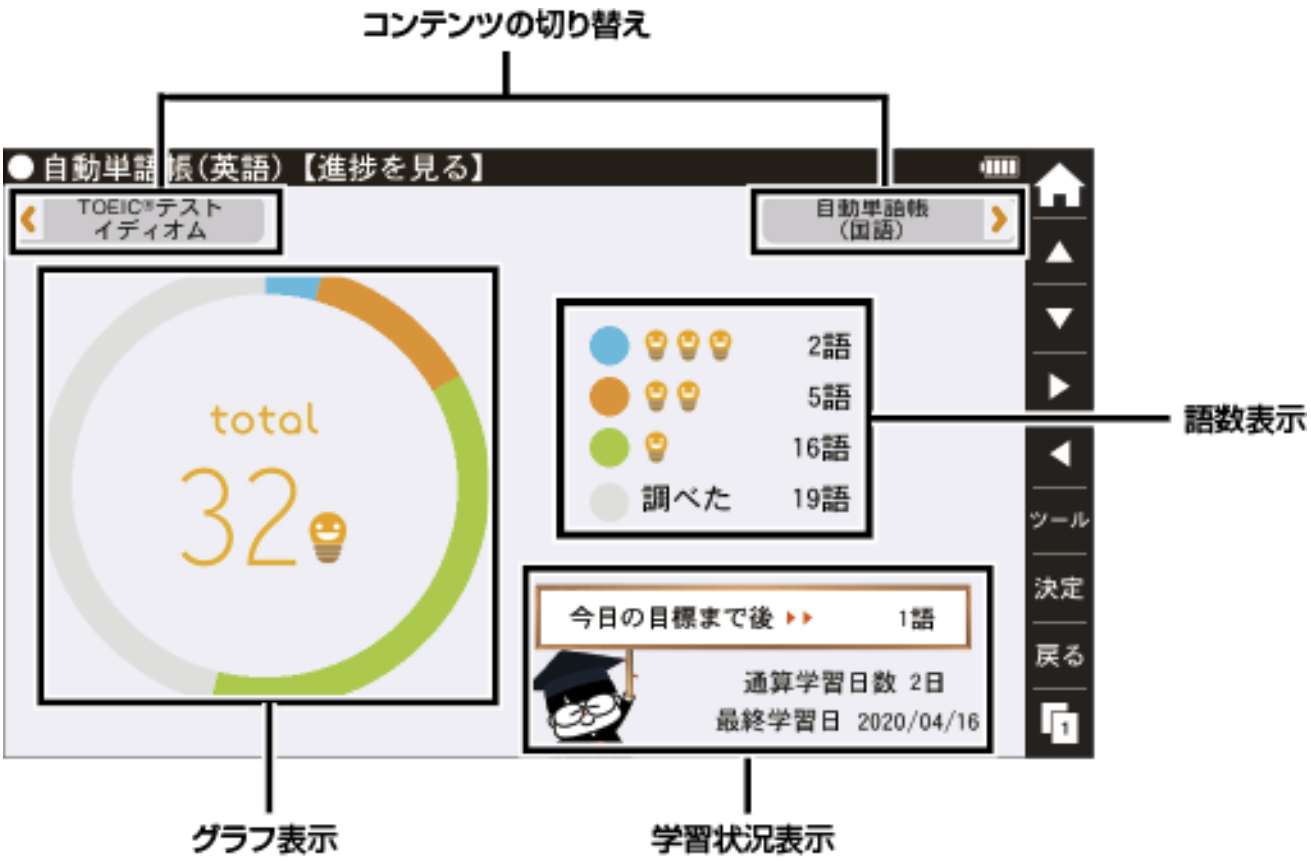
次の操作でもBrain Learning画面が表示されます。

・操作タッチキーの[ ]に1回または2回タッチする。

・ホーム画面やお気に入り画面からタッチペンで左右にドラッグし画面を送る。

■進捗を見る

自動単語帳などの進捗状況をグラフ表示で確認することができます。



二参考二

● コンテンツの切り替えは［◀］、［▶］または画面にタッチして操作してください。なお、コンテンツによって画面表示（学習状況表示の有無など）が異なります。

● １日の学習目標は、「設定」－「１日の学習目標設定」で変更できます。

● 自動単語帳の進捗確認は、『自動単語帳を使う』を参照してください。

ホーム画面から検索する

[ホーム]を押して、ホーム画面を表示します。
この画面から複数のコンテンツを対象に検索ができます。



検索言語の選択：画面タッチ、または入力欄にカーソル表示（_）があるときに［◀］/［▶］を押して選択することができます。

「日本語」選択時の表示：●日本語　○英語

「英語」選択時の表示：○日本語　●英語

かな漢字変換の選択：検索言語が日本語のときに、画面タッチで選択することができます。

入力方法の選択：キーボード以外で入力するときは、操作タッチキーから切り替えます。入力方法については『手書き入力画面で文字を手書き入力する』、『ソフトキーボードで文字を入力する』などを参照してください。

二参考二

● ホーム画面を表示したときは、前回の検索言語やかな漢字変換の選択内容で表示されます。

● 次の操作でも、ホーム画面が表示されます。

・操作タッチキーの[ ]に1回または2回タッチする。

・Brain Learning画面やお気に入り画面からタッチペンで左右にドラッグし画面を送る、または切り替えボタンの ホーム

にタッチする。
● かな漢字変換については『かな漢字変換をして入力する』を参照してください。

■検索モードの種類

この画面から、複数のコンテンツを対象に、次の検索ができます。
ただし、一括検索以外は、検索モードの選択（切り替え）が必要になります。詳しくは次の『検索モードの選択（切り替え）』をご覧ください。

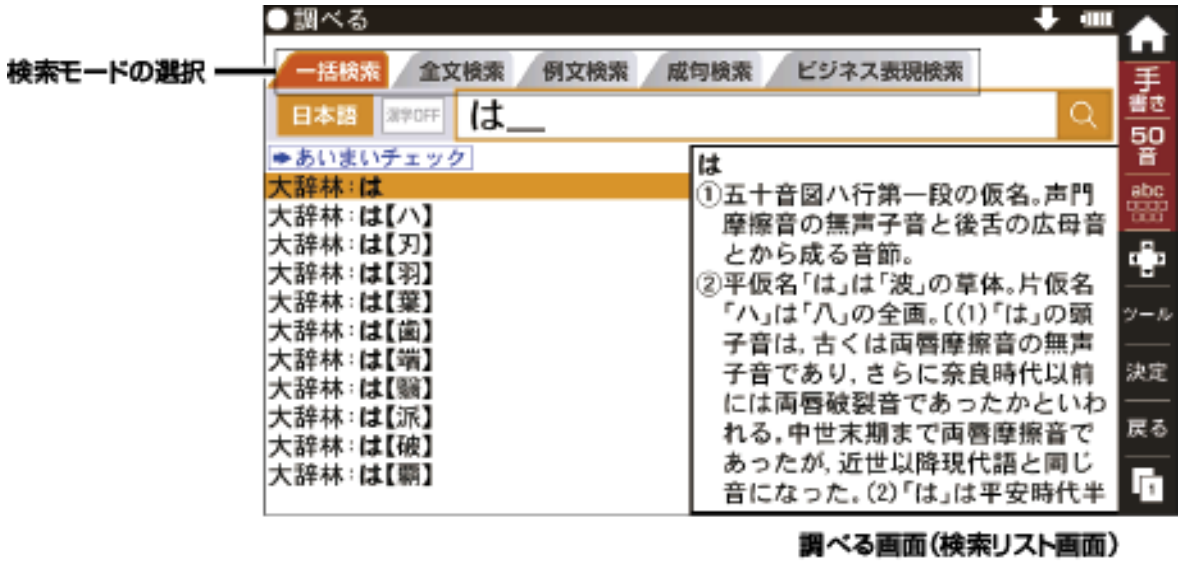
一括検索
　複数のコンテンツの見出し語から検索します。
全文検索
　入力した文字列が含まれる文章（項目）を、国語系などの複数コンテンツから検索します。
例文検索
　入力した文字列が含まれる例文を、英語系の複数コンテンツから検索します。
成句検索
　入力した文字列が含まれる成句（イディオム）を、英語系の複数コンテンツから検索します。
ビジネス表現検索
　ビジネスに役立つ例文を、ビジネスに関する複数コンテンツから検索します。

二参考二

個々のコンテンツで調べるときは、コンテンツを選択してから入力してください。コンテンツの選択は『使いたいコンテンツ（辞書）の選びかた』を参照してください。

■検索モードの選択（切り替え）

ホーム画面の入力欄に文字を入力すると調べる画面（検索リスト画面）に切り替わります。
たとえば、「は」を入力したときは次の画面に切り替わります。



調べる画面（検索リスト画面）

この画面から、「一括検索」をするときは、このまま続けて文字を入力してください。
新たに文字を入力するときは[削除]や[シフト][クリア]を押して、入力した文字を削除してから入力してください。

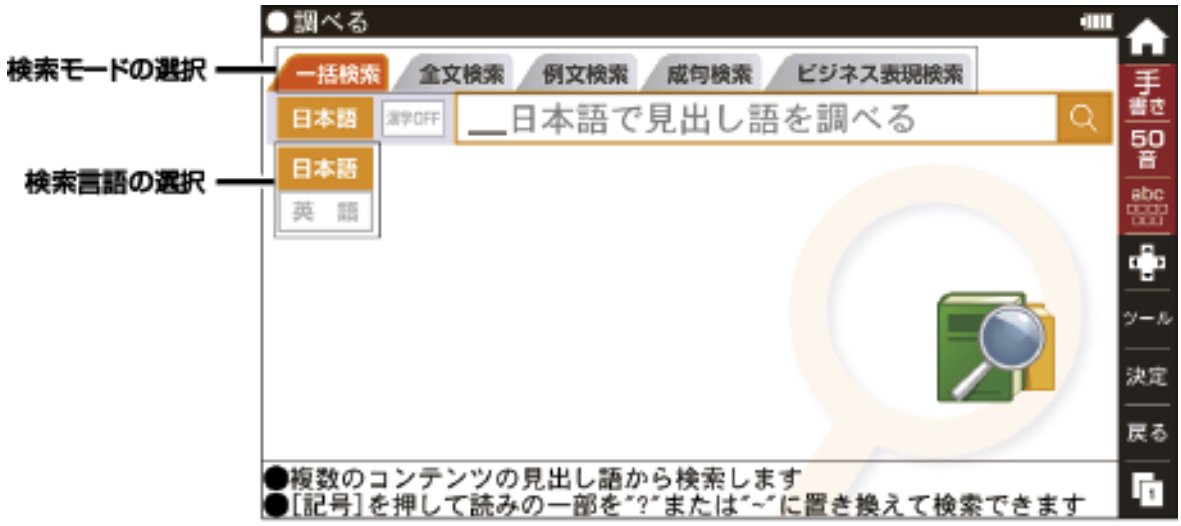
この画面から、「全文検索」「例文検索」「成句検索」「ビジネス表現検索」をするときは、検索したい文字列をすべて入力した後に、検索モードをタッチして選択してください。

新たに文字を入力するときは[削除]や[シフト][クリア]を押して、入力した文字を削除し、検索モードをタッチして選択してから入力してください。

詳しくは各検索の説明を参照してください。

二参考二

● [ホーム]を押してホーム画面を表示し、文字を入力しないで、[決定]を押すと、文字を入力する前の調べる画面が表示されます。
この画面で、検索モードや検索言語を選択し、文字を入力して検索を始めることもできます。



文字を入力する前の調べる画面（検索リスト画面）

検索モード：画面タッチか、入力前に［◀］/［▶］を押して選択することができます。
検索言語：画面タッチか、[▲]/[▼]を押して選択することができます。

● 文字を入力後[決定]を押す代わりに、画面の🔍をタッチしても検索が始まります（一括検索では、かな漢字変換入力のときの

み）。

■一括検索をする

複数のコンテンツ（辞書など）の見出し語から言葉を調べることができます。ピンイン以外は、入力中は1字ごとに候補を絞り込む絞り込み検索で探します。

・ 日本語の読み（仮名）やスペリングで検索するときは、“～”や“？”を使用することもできます。

【例】「かいけい」を一括検索します。

1. [ホーム]を押します。ホーム画面が表示されます。
   ・ 検索言語が「日本語」、かな漢字変換が「漢字OFF」であることを確認します。もし違うときはタッチして変更してください。
2. 日本語入力欄に「かいけい」を入れます。
   ・ キーで「か」を入力すると検索リスト画面（調べる画面）に切り替わり、絞り込み検索が始まります。続けて「いけい」を入力してください。
3. ［▼］、［▲］で目的の語を選び［決定］を押します。
   辞書などの詳細画面が表示され、意味などが表示されます。

二参考二

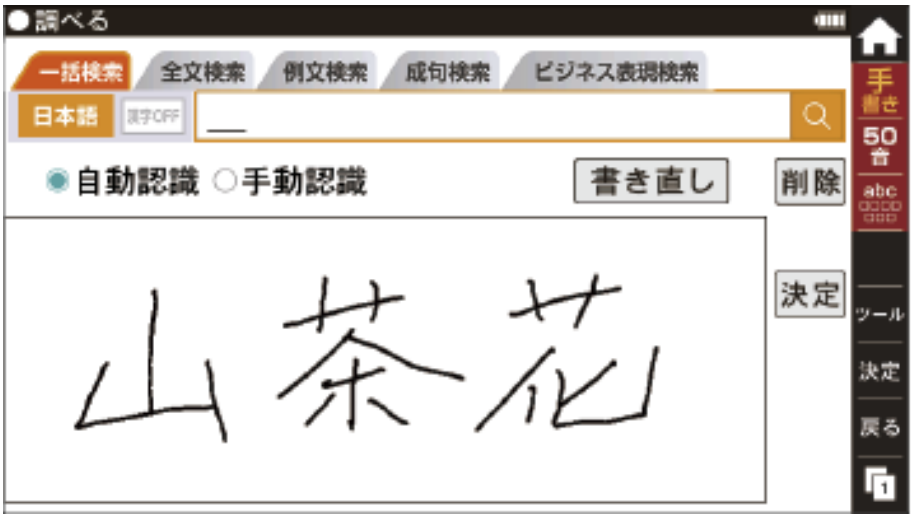
一括検索の対象コンテンツを変更できます。『設定』の『一括検索対象コンテンツ設定』を参照してください。

漢字を調べる

一括検索で漢字を調べてみましょう。

【例】「山茶花」を一括検索で調べます。

1. [ホーム]を押してホーム画面を表示します。
   ・ 検索言語が「日本語」であることを確認します。もし違うときはタッチして変更してください。
2. 操作タッチキーの[手書き]にタッチして手書き入力画面を表示します。
   手書き入力画面が表示されます。
3. 付属のタッチペンで、枠の中に「山茶花」と手書きします。
   ・ 書き直したいときは「書き直し」にタッチします。



4. 自動で文字認識されて入力欄に「山茶花」と表示されます。
   ・ 手動認識のときは「認識」にタッチします。
   ・ 入力欄に違う文字が表示されたときは「削除」にタッチして削除し、再度手書きしてください。

5. 画面右の[決定]をタッチします。

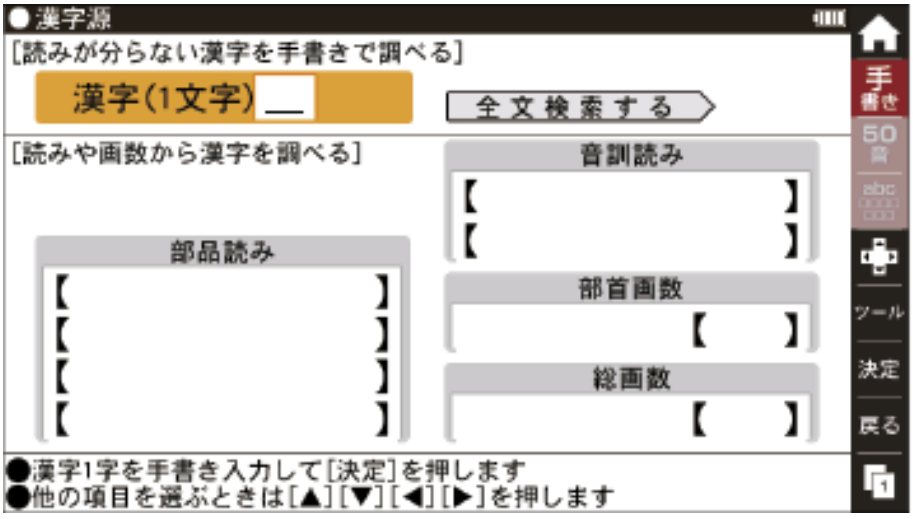


6. 見出し語の候補が表示されるので、［▼］、［▲］で目的の語を選び［決定］を押します。

　詳細画面が表示され、意味などが表示されます。

二参考二

● 漢字1文字のときは「漢字源」から調べることもできます。[国語/漢字]を2回押して「漢字源」を選びます（または辞書一覧画面から「漢字源」を選びます）。操作タッチキーの[手書き]にタッチして、漢字を手書き入力します。

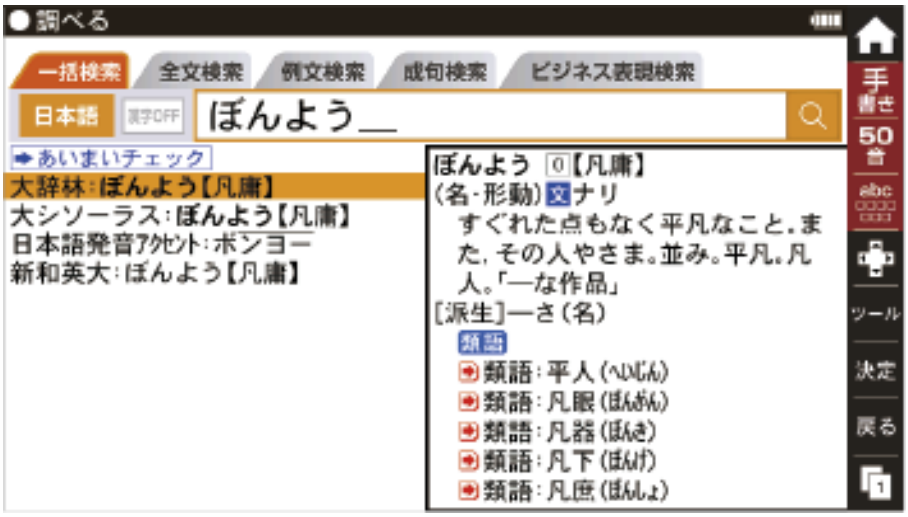


● 手書き入力については、『手書き入力画面で文字を手書き入力する』を参照してください。

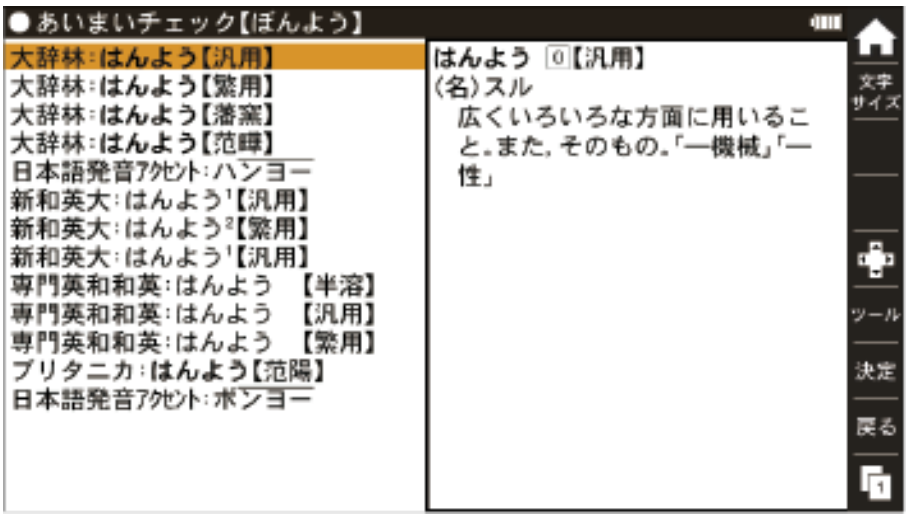
■あいまいチェックやスペルチェックを使う（一括検索）

正しい読みかたや英語のスペルがはっきりわからないときなど、うろ覚えの言葉を調べたいときに使います。

1. [ホーム]を押してホーム画面を表示します。
2. 入力欄にうろ覚えの言葉（例えば、「ぼんよう」）を入力します。
    - 日本語入力になっていないときは、「日本語」にタッチして「日本語」に切り替えてください。
    - 英語のスペルを入力するときは「英語」にタッチして切り替えてから入力します。



3. 検索結果リストを確認し、目的の語がない場合は➡あいまいチェックをタッチします。
    - 英語のときは➡スペルチェックをタッチします。



4. ［▼］、［▲］で目的の語を選び［決定］を押します。

二参考二

スペルチェック機能のあるコンテンツでスペルチェックをすることもできます。詳しくは『便利な使いかた』の『スペルチェックをする』を参照してください。

■複数の辞書で全文検索をする

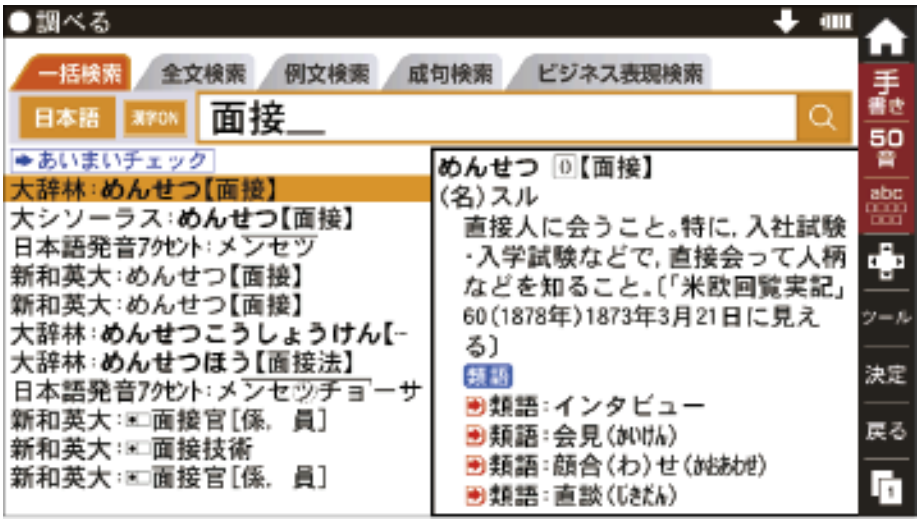
入力した文字列が含まれる項目（文章）を国語系などの対象コンテンツから検索することができます。

・ 入力欄に最大64文字入力できます。その範囲で最大５つの文字列をスペースでつないで入力し、それらの文字列がすべて含まれる項目を検索することもできます（１つの文字列は32文字以下）。

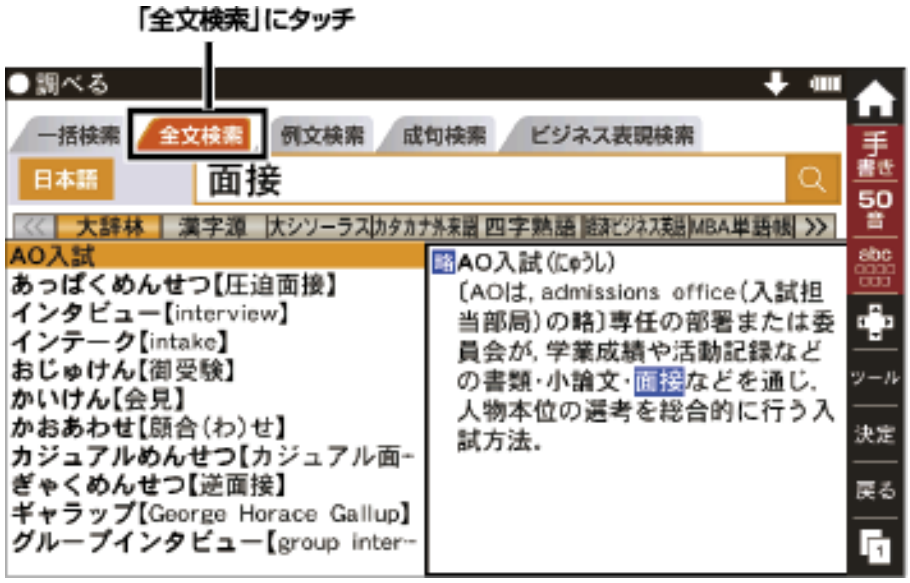
1. ［ホーム］を押して、ホーム画面を表示します。
2. 入力欄に調べたい文字列（たとえば、かな漢字変換で「面接」）を入れます。



3. [決定]を押すと、調べる画面（検索リスト画面）に切り替わり、一括検索の結果が表示されます。



4. 「全文検索」（縦表示のときは「全文」）にタッチして、全文検索を開始します。



・ 入力した文字列すべてを含む項目がリスト表示されます。

・ リスト表示上部のコンテンツ名のタブを切り替えて各コンテンツの検索結果を確認してください。

・ タブは、タッチまたは［◀］、［▶］で切り替えます。

・ タブの左右の［«］、［»］が濃く表示されているときは、そのボタンにタッチすると隠れているタブ（コンテンツ）が表示されます。

5. ［▼］、［▲］で表示させたい語を選び［決定］を押すと詳細画面が表示されます。

検索対象とした文字列が反転表示されます。

二参考二

● 本製品は、全文検索を実現するためのデータ管理基盤として（株）日立ソリューションズの組み込みデータベースEntier（エンティア）を利用しています。

● 全文検索では、基本的に入力した文字列やなぞった文字列と一致した文字列を探しますが、外来語などの一部や大文字・小文字などの表記の違いを許容して検索する場合があります。

【例】（外来語） バイオリン ⇔ ヴァイオリン
ヒュージョン ⇔ フュージョン
ライブ ⇔ ライヴ
（英字）
A ⇔ a　B ⇔ b　C ⇔ c
（仮名）
あ ⇔ ぁ　や ⇔ ゃ　つ ⇔ っ　わ ⇔ ゎ
ア ⇔ ァ　ヤ ⇔ ャ　ツ ⇔ ッ　ワ ⇔ ヮ

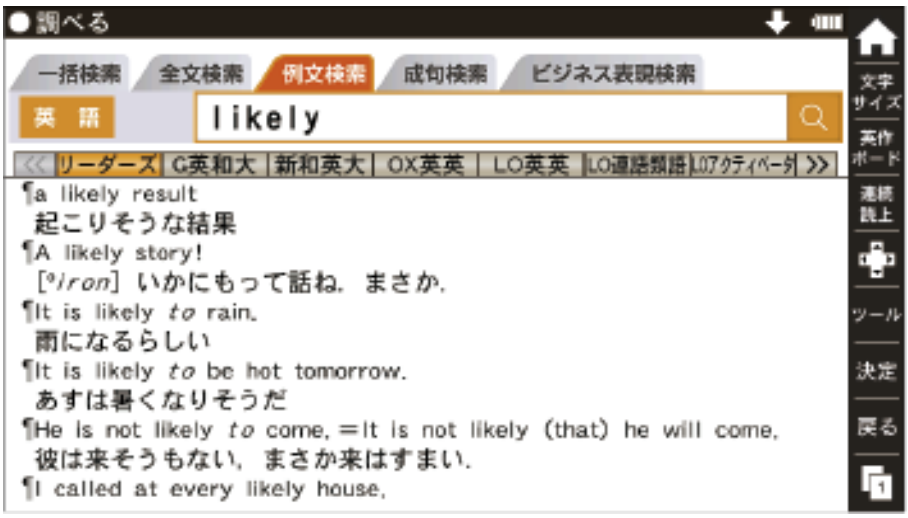
■英語の例文を検索する

最大３つの英語のスペリングをスペースでつないで入力し、それらのスペリングがすべて含まれる例文を、複数の英和辞典などから検索することができます。
または日本語を１語入力し、その日本語が含まれる例文を和英辞典などから検索することができます。

・ 入力欄は最大64文字入力できます。

1. [ホーム]を押して、ホーム画面を表示します。
2. 入力欄の上の「英語」にタッチして検索言語を英語にします。（日本語で検索するときは「日本語」にタッチして検索言語を日本語にします。）
3. 入力欄に調べたい語（たとえば、「likely」）を入れます。
調べる画面（検索リスト画面）に切り替わり、一括検索が開始されます。
4.一括検索が完了してから、「例文検索」（縦表示のときは「例文」）にタッチして、例文検索を開始します。入力した語の例文がリスト表示されます。

・「英語」で検索したときは、リスト表示上部のタブで例文が検出されたコンテンツが示されます。



・タブを切り替えて各コンテンツの例文を確認してください。

・タブは、タッチまたは［◀］、［▶］で切り替えます。

・タブの左右の［«］、［»］が濃く表示されているときは、そのボタンにタッチすると隠れているタブ（コンテンツ）が表示されます。

・複数の語で検索するときは、１つの語での例文検索が終了後、入力欄をタッチしてスペースでつないで入力し[決定]を押してください。

■英語の成句を検索する

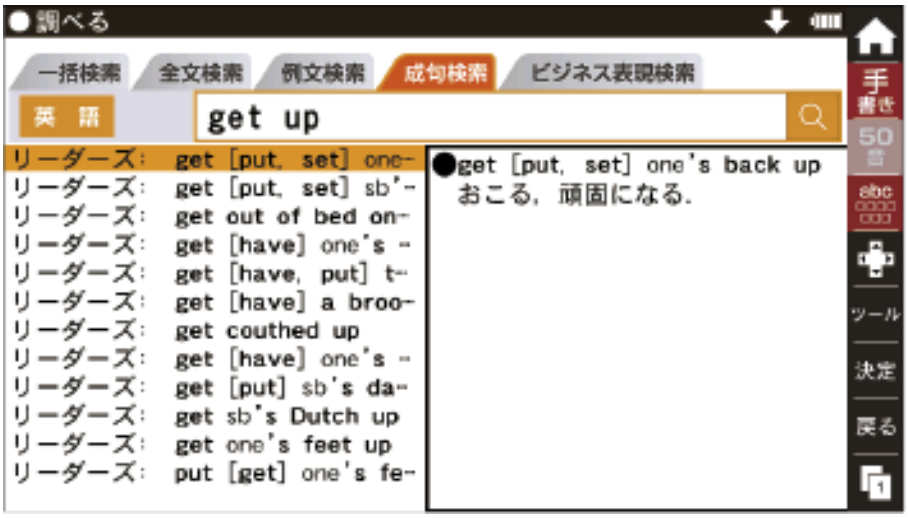
最大３つの英語のスペリングをスペースでつないで入力し、それらのスペリングがすべて含まれる成句を、複数の英和辞典などから検索することができます。

・入力欄は最大64文字入力できます。

1. [ホーム]を押して、ホーム画面を表示します。
2. 入力欄の上の「英語」にタッチして検索言語を英語にします。
3. 入力欄に調べたい語（たとえば、「get」）を入れます。
調べる画面（検索リスト画面）に切り替わり、一括検索が開始されます。
4.一括検索が完了してから、「成句検索」（縦表示のときは「成句」）にタッチして、成句検索を開始します。

・入力した語の成句がリスト表示されます。

・複数の語で検索するときは、１つの語での成句検索が完了後、入力欄をタッチしてスペースでつないで入力し（たとえば、「up」）、[決定]を押してください。



■ビジネス表現を検索する

下記コンテンツから例文（英語、中国語）を検索することができます。

・日常生活英会話手帳
・ビジネス英語手帳
・世界中で通じる製造現場の英語
・プレゼンテーションの英語表現

・ミーティングの英語表現
・ネゴシエーションの英語表現
・技術者のためのひとこと中国語
・起きてから寝るまで中国語成語表現

1. [ホーム]を押して、ホーム画面を表示します。
2. [決定]を押して、文字を入力する前の調べる画面を表示します。
3. 「ビジネス表現検索」をタッチして選びます。
4. 入力欄に調べたい語を入れます。
   ・ 英語を入力するときは「英語」にタッチして切り替えてください。
   ・ 入力欄は最大64文字入力できます。その範囲で最大５つの文字列をスペースでつないで入力し、検索することができます（１つの文字列は32文字以下）。
5. ［決定］を押します。入力した語の例文がリスト表示されます。
   ・リスト表示上部のタブで例文が検出されたコンテンツが示されます。
   タブを切り替えて各コンテンツの例文を確認してください。
   タブは、タッチまたは［▶］、［◀］で切り替えます。
   ・スペースで単語をつないだときは、すべて含まれる例文が表示されます。

二参考二

中国語（簡体字やピンイン）での検索はできません。中国語例文の和訳（日本語）での検索が可能です。

便利な使いかた

言葉を探すいろいろな方法を説明します。

■読みやスペリングの一部を省略して検索する

読みやスペリングの一部を“？”（ワイルドカード）または“～”（ブランクワード）に置き換えて検索することで、はっきりしない語も探すことができます。
[記号]を押して“？”や“～”を入力します。

ワイルドカード：“？”は不明な文字の代わりに入力します。
　　（例）「う？？？ざくら」「se????y」「favo??b??」
ブランクワード：“～”は複数の文字の代わりに１個だけ入力します。
　　（例）「う～ざくら」「se～y」「～men」

・“？”と“～”は［記号］を押すと交互に切り替わります。
・“～”は最後に使えません。
・“？”と“～”を同時に使うことはできません。

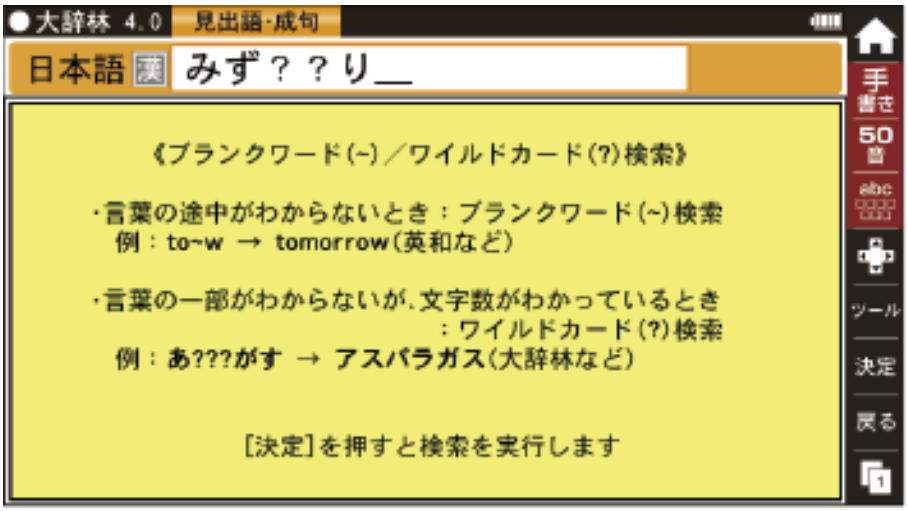
また、後述の「“？”、“～”が使えるコンテンツ」の入力画面、および一括検索の調べる画面（検索リスト画面）の入力画面で、次の場合に利用できます。

・「日本語」入力欄、「読み」入力欄に入力する場合
　ただし、漢字を入力したときは利用できません。

また、「大辞林4.0」の逆引き、分野別小辞典でも利用できません。

・「英語」入力欄、「スペリング」入力欄に入力する場合
ただし、スペルチェックや成句検索の入力画面では利用できません。

1. 例えば「大辞林4.0」の入力画面で「みず？？り」と入れます。
キー操作：[M] [I] [Z] [U] [記号] [記号] [▶] [記号] [記号] [▶] [R] [I]



2. ［決定］を押して検索します。該当する語がリスト表示されます。
3. ［▼］、［▲］で目的の語を選択し［決定］を押します。
詳細画面が表示され、意味などが表示されます。

“？”、“～”が使えるコンテンツ

●大辞林4.0（逆引き、分野別除く）　●日本語大シソーラス　●NHK日本語発音アクセント辞典　●カタカナ外来語略語辞典　●故事ことわざ＆四字熟語辞典　●反対語便覧　●リーダー

ズ英和辞典＆リーダーズプラス　●ジーニアス英和大辞典　●新和英大辞典　● OXFORD 現代英英辞典　●ロングマン現代英英辞典　●ロングマン英語アクティベータ　●ロングマン連語類語辞典　●200万語専門用語英和和英大辞典　●経済ビジネス英語表現辞典　●バロンズ金融用語辞典　●会計・監査プロフェッショナル用語辞典　● MBA 単語帳　●デジタル・IT 用語事典　●ブリタニカ国際大百科事典

■スペルチェックをする

探したい単語のスペリングがはっきりわからないときなどにはスペルチェック機能で目的の単語を探すことができます。

1. 各コンテンツの入力／選択画面でスペルチェック項目を［▼］、［▲］で選んで［決定］を押します。スペルチェック機能の入力画面が表示されます。
2. 単語のスペリング（例：「skate」）をキーで入力し［決定］を押します。
検索が開始され、入力したスペリングと一致した単語（該当語）、または類似した単語（候補）がリスト表示されます。
3. 目的の単語（またはそう思われるもの）を［▼］、［▲］で選び［決定］を押します。
詳細画面に意味などが表示されます。

ニ参考ニ

● スペルチェックは、リーダーズ英和辞典＆リーダーズプラス、ジーニアス英和大辞典、OXFORD 現代英英辞典、ロングマン現代英英辞典でできます。
● 候補は、該当語を含めて最大100件まで検索されます。

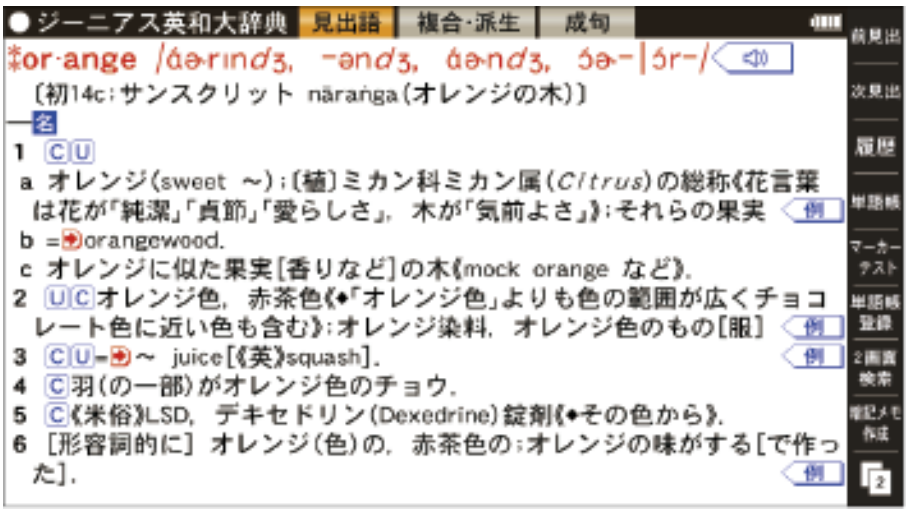
● 「見つかりません」と表示される場合は入力したスペリングなどを変更して、再度検索をしてみてください。
● 検索中に目的の単語を見つけたときは
・ 検索中に［決定］を押すと検索が一時止まります。その状態で表示されている候補を選び［決定］を押すと、その意味などが表示されます。候補のリスト画面に戻るときは［戻る］を押します。
検索を再開するときは候補のリスト画面で［戻る］を押します。
・ 検索を中止して入力画面に戻るときは［シフト］［クリア］を押します。
● 調べる機能でもスペルチェックをすることができます。『あいまいチェックやスペルチェックを使う（一括検索）』を参照してください。

■詳細画面から別の語を調べる（2画面検索を使う）

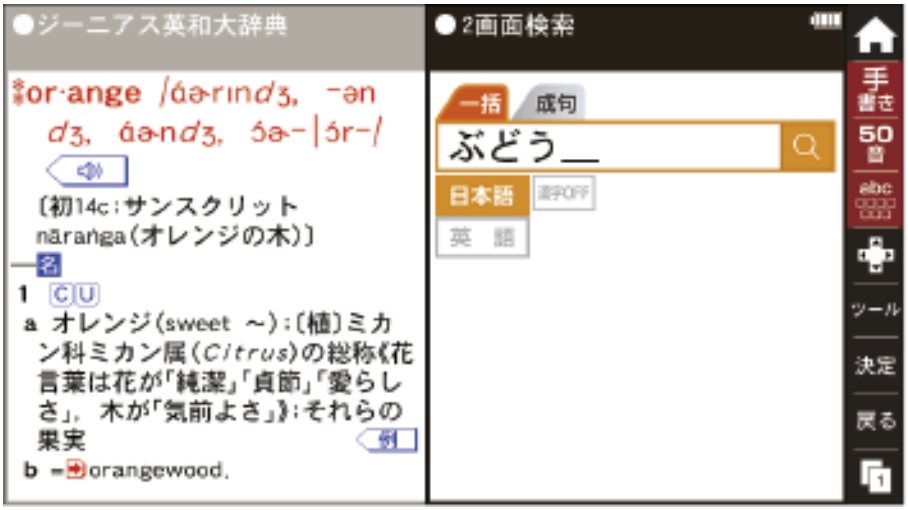
2画面検索（見出語）

詳細画面に別のウィンドウを開いて、別の語を調べることができます。

1. 詳細画面を表示させ、操作タッチキーのページを切り替えて[2画面検索]をタッチします。



2. 検索する言葉（例えば「ぶどう」）をキーで入力します。



画面タッチまたは［▼］、［▲］を押して入力する言語を選んで入力します。

3. ［決定］を押します。2画面検索ウィンドウに候補が表示されます。

4. ［▼］、［▲］で表示させたい語を選び［決定］を押します。

2画面検索ウィンドウに意味などが表示されます。

5. ［戻る］を押すと一つずつ前の画面の状態に戻ります。

二参考二

● 2画面検索では、検索する語を入力して［決定］を押すと、一致する見出し語が表示されます。一致する見出し語がないときは入力した語を先頭に含む語（英単語は一致する語のみ）が表示されます
● 左ウィンドウ、右ウィンドウをそれぞれタッチし、ウィンドウ右上に“⬆”や“⬇”があれば上下にスクロールすることができます。
● 2画面検索の画面は、前回の検索モード、検索言語で表示されます。
● 2画面検索の画面では、  や  などのマークは選択できません。

2画面検索（成句）

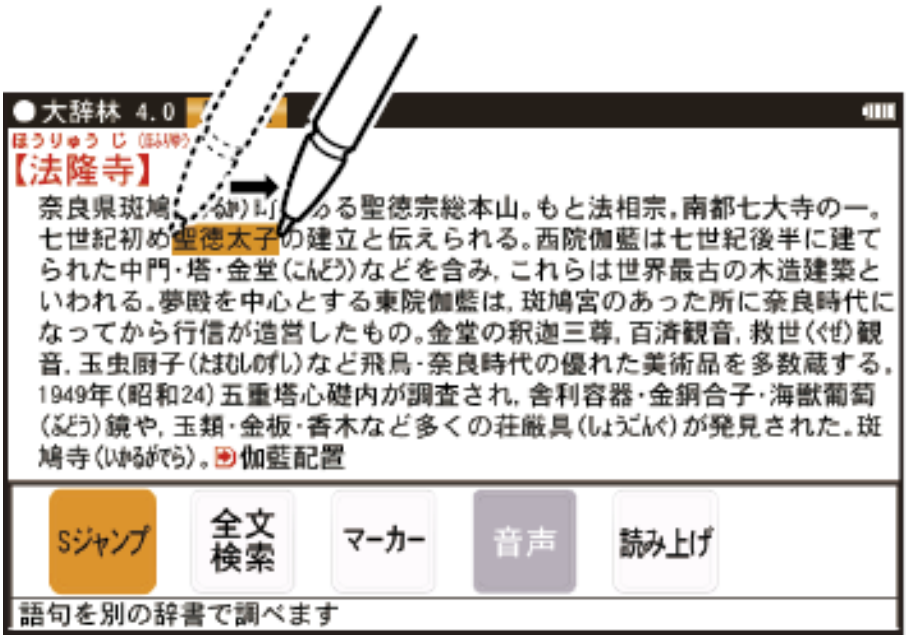
英語の成句を調べることができます。

1. 詳細画面を表示させ、操作タッチキーの[2画面検索]をタッチすると2画面検索ウィンドウが表示されます。
2. 「成句」タブをタッチします。
3. 検索したいスペリングを入力します。スペリングはスペースでつないで３語まで入力できます。
4. ［決定］を押すと成句検索ウィンドウに候補が表示されます。
5. ［▼］、［▲］で表示させたい語を選び［決定］を押します。
　成句検索ウィンドウに意味などが表示されます。

■なぞって全文検索をする

国語系などの対象コンテンツにて、1つの文字列(言葉など)をなぞり、その文字列が含まれる項目を該当コンテンツの文章の中から検索することもできます。

1. 詳細画面を表示し文字列（例：聖徳太子）をなぞります。
   先頭文字「聖」から最後尾の文字「子」までドラッグします。
   下段に機能選択ウィンドウが表示されます。



2. 機能選択ウィンドウ内の「全文検索」にタッチします。
検索が開始され、なぞった文字列を含む項目がリスト表示されます。
3. ［▼］、［▲］で表示させたい語を選び［決定］を押すと詳細画面が表示されます。検索対象とした文字列が反転表示されます。

二参考二

● 検索する文字列によっては、検索に時間がかかることがありますので、そのような場合は［戻る］で検索を中止し、文字列を変えて検索してください。
● 『複数の辞書で全文検索をする』も参照してください

■画面内の語を調べる（Sジャンプを使う）

詳細画面に表示されている言葉を、コンテンツ間を飛び越えて調べます。

・ 日本語の漢字、ひらがな、カタカナの語は、範囲指定して調べます。
・ 英単語やジャンプマーク（）が示す語は、タッチして調べることができます。

1. 辞書一覧画面から「大辞林4.0」を選んで「ロコロ」の詳細画面を表示します。
2. 調べたい語を選びます。
「バロック」を範囲指定する場合
タッチ操作で先頭の「バ」から最後尾の「ク」までをドラッグします。
3. 機能選択ウィンドウ内の「Sジャンプ」にタッチします。
画面右側のウィンドウに候補が表示されます。
・ 後述の『範囲指定について』も参照してください。
・ 指定を解除するときは［戻る］を押します。
4. ［▼］、［▲］で調べたいコンテンツを選び［決定］を押します。
画面右側のウィンドウに説明などが表示されます。
画面右上に“⬇”や“⬆”が表示されているときは［⌄⌄］、［⌃⌃］、などで画面右側のウィンドウ内を画面送りできます。

5. ［決定］を押してジャンプし、選択した語の詳細画面にします。

二参考二

● 画面やコンテンツによりジャンプできないことがあります。
● 候補は、選択した語と一致する語、一致する語がないときは選択した語を先頭に含む語（英単語は一致する語のみ）が表示されます。なお⏩が示す語や、1語だけ一致するときは画面右側のウィンドウに詳細画面が表示されます。

ジャンプについて

● ジャンプ先で、［シフト］［クリア］を押すとジャンプを始める前に使用していたコンテンツの入力画面などに戻ります。
● ジャンプ先でジャンプをする、というようにジャンプを重ねた場合、［戻る］で最大10回までは戻ることができます。10回を超えてジャンプを重ねた場合、11回目の戻りでリスト画面などへ戻ります。

ジャンプマークのジャンプ

各コンテンツの詳細画面で“⏩”マークの後に示される語は同じコンテンツ内でジャンプします。この場合ジャンプ候補は表示されません。

範囲指定について

ドラッグで範囲指定をします。先頭にジャンプ対象外の数字、記号、マークなどがあると、機能の選択ウィンドウでSジャンプが選択できません。

なお、コンテンツによっては「・」（中点）などを含んだ文字列で複合語が検索できることもあります。

範囲指定をしているときは画面を送ることはできません。範囲指定したい語が、すべて表示されていることを確認してから操作をしてください。

★注意★

コンテンツの一部には、文字などを図形にして文章の中に配置している場合があります。そのような図形文字はジャンプの対象にならない“範囲指定できない文字”として扱われます。

■一度調べた語を再度調べたいとき（履歴を使う）

各コンテンツや一括検索では、一度調べた語は“履歴”として、新しいものから100件まで自動的に記憶されます。もう一度同じ語を調べたいときは、履歴のリスト（一覧）表示から調べることができます。

1. 調べたいコンテンツの画面、一括検索（ホーム）の画面で、［履歴］を押すか、操作タッチキーの［履歴］をタッチしてください。
   履歴表示画面に、新しく調べた語から順にリスト表示されます。
2. ［▼］、［▲］などで目的の語を選び［決定］を押します。
   選択した語の詳細画面が表示されます。

二参考二

● 履歴の記憶件数が100件を超えるときは、古いものが消されます。
● 一括検索（ホーム）の履歴については、一部登録されないコンテンツがあります。また追加コンテンツは登録されません。
● 追加書籍（辞書）では履歴機能が異なるため、『追加書籍（辞書）を使う』を参照してください。また、履歴がない場合もあります。

履歴を１件ずつ削除する方法

1. 各コンテンツや一括検索（ホーム）の画面で、操作タッチキーの［履歴］をタッチして履歴表示画面にします。
2. ［▼］、［▲］で削除したい履歴を選び［削除］を押します。
3. 削除の確認画面が表示されるので［Y］を押します。
　選択した履歴が削除されます。

履歴をまとめて削除する方法

1. ［ホーム］を押し、［設定］を選びます。
2. ［▼］、［▲］で「ユーザーデータ削除」を選び［決定］を押します。
3. ［▼］、［▲］で「履歴/しおり削除」を選び［決定］を押します。
4. 削除の確認画面が表示されるので［Y］を押します。
　すべての履歴/しおりが削除されます。

二参考二

「履歴をまとめて削除する方法」では、ブレーンライブラリー管理ソフトで転送したときのフォルダ（BOOKなど）以外のフォルダに入っている追加書籍（辞書）の履歴は削除されません。その場合は『履歴を1 件ずつ削除する方法』の手順で削除してください。

■繰り返し見たい語を登録する（単語帳・マーカーを使う）

繰り返し見たい語や覚えたい語などを「単語帳」に登録できます。また、覚えたい語句にマーカーを引いて登録し、その部分を集中的に覚えたり、マーカー部分を隠しておいて、その部分を言い当てるテストができます。

※ 単語帳があるコンテンツはホーム画面から「アクセサリー」－「すべての単語帳を見る」で確認できます。

単語帳に語を登録する

1. 登録したい語の詳細画面を表示します。
2. 操作タッチキーの[単語帳登録]をタッチしてください。詳細画面の語が単語帳に登録されます。

※ 例文検索で検索した画面では上記操作で例文の前に“➡”が表示されますので［▼］、［▲］で登録したい例文を選択して［決定］を押します。

二参考二

● 単語帳は各コンテンツで最大500件登録できます。なお、単語帳以外の詳細画面でマーカーを引いた場合、その語も単語帳に

登録されます。
● 例文検索から登録された例文は各コンテンツの画面では見られません。ホーム画面から「アクセサリー」－「すべての単語帳を見る」の「例文」の分類で見ることができます。また例文検索の画面で操作タッチキーの[単語帳]をタッチして見ることもできます。

各コンテンツの画面から、登録した語を見る

1. 見たい辞典などの画面にします。
2. 操作タッチキーの[単語帳]をタッチしてください。単語帳に単語が登録されている場合は、単語帳のリスト画面が表示されます。
3. ［▼］、［▲］で目的の単語を選び［決定］を押します。
   選んだ語の詳細画面が表示されます。
   ・ データは各コンテンツと同様の順番、または登録順で並びますが、成句などは見出し語よりも後に並びます。

コンテンツの一覧から、登録した語を見る

登録した単語帳のデータをコンテンツの一覧から見ることができます。

1. [ホーム]を押し「アクセサリー」から「すべての単語帳を見る」を選びます。単語帳がある分類の一覧が表示されます。
2. ［▼］、［▲］で目的の分類を選び［決定］を押します。
   選んだ分類のコンテンツの一覧が表示されます。
3. 同様の操作で目的のコンテンツ、語を選び詳細画面を表示させます。

覚えたい語句にマーカーを引く

覚えたい語句にマーカーを引いて登録し、その部分を集中的に覚えたり、マーカー部分を隠しておいて、その部分を言い当てるテストができます。

1. マーカーを登録したい語の詳細画面を表示します。
2. マーカーを引きたい部分をタッチして範囲指定します。
   「マーカー」にタッチします。
3. マーカーの色（緑､黄、ピンク、オレンジ、紫）を選びます。
4. マーカーを追加した旨のメッセージが一時表示され、選択された色のマーカーが引かれます。

二参考二

- マーカーは1回で最大120文字まで引くことができます。
- マーカーは1つのデータに10カ所まで引くことができます。
- 項目の終わり（改行）を超えてマーカーを引くことはできません。
- マーカーを引く前の範囲指定を消したいときは、機能選択ウィンドウ以外をタッチするか［戻る］を押します。範囲選択が解除されます。
- 例文検索機能で探し出した例文は、いったん単語帳に登録し、そのあと単語帳の詳細画面に表示させてからマーカーを引きます。
- 例文のマーカーテストは、ホーム画面から「アクセサリー」－「すべてのマーカーテストを見る」の「例文」の分類で見ることができます。また例文検索の画面で操作タッチキーの[マーカーテスト]をタッチして見ることもできます。

登録したマーカーを消すときは
マーカーが引かれている文字にタッチして選択し「マーカー」にタッチします。「マーカーを削除しますか？（単語帳からは削除しません）」というメッセージが表示されますので［Ｙ］を押します。

1つのデータに引かれているすべてのマーカーを消すときは
マーカーテストのリスト画面で、語を選んで［削除］を押し、表示されるマーカー削除の確認メッセージに従って［Ｙ］を押します。マーカーテストのリスト画面については、『マーカー部分を使ってテストをする』を参照してください。

全コンテンツのマーカーをまとめて消すときは
『マーカーだけをまとめて消去（削除）する方法』を参照してください。

マーカー部分を使ってテストをする

覚えたい語句にマーカーを引いて登録し、その部分を集中的に覚えたり、マーカー部分を隠しておいて、その部分を言い当てるテストができます。

1. 入力画面などで操作タッチキーの[マーカーテスト]をタッチしてください。マーカーテストのリスト画面が表示されます。
    ・ 単語帳のリスト画面で、「マーカーテスト」タブにタッチしてもマーカーテストのリスト画面が表示されます。
2. テストしたい語を選び［決定］を押します。

マーカーを引いた箇所の文字が隠された詳細画面が表示されます。

3. 隠されている内容を言います（または考えます）。
4. マーカー部分にタッチすると隠れている内容を表示しますので、言った（考えた）答えと一致しているか確認します。
   ・ もう一度マーカー部分にタッチすると内容が隠れます。
   ・ 操作タッチキーからマーカーの色を選ぶと、その色のマーカーで隠れている内容が表示されます。もう一度同じ色を選ぶと内容が隠れます。
   ・ 操作タッチキーの[全部表示]、[全部隠す]にタッチすれば、すべてのマーカーが引かれている個所の内容を表示させたり、隠したりできます。
5. ［戻る］でマーカーテストのリスト画面に戻って、手順2.～4.の操作で次の語のテストをします。

二参考二

単語帳の画面などで、前に“🖉”マークが表示されている語は、マーカーが付けられていることを示します。

すべてのマーカーテストを見る

登録したマーカーをコンテンツの一覧から選択しテストすることができます。

1. ［🏠ホーム］を押し、「アクセサリー」ー「すべてのマーカーテストを見る」を選びます。
2. ［▼］、［▲］で目的の分類を選び［決定］を押します。
   選んだ分類のコンテンツの一覧が表示されます。

3. 同様の操作で目的のコンテンツ、語を選び詳細画面を表示させます。
4. 前項『マーカー部分を使ってテストをする』と同様にマーカーテストをします。

単語帳を削除（登録を解除）する方法

単語帳は、1件ずつの削除、製品内のすべての削除ができます。
単語帳を削除しても、元の辞書などのデータは削除されません。
ただし、削除した語にマーカーが引かれていた場合、そのマーカーは消去されます。

単語帳を１件ずつ削除する方法

1. 各コンテンツの画面で操作タッチキーから[単語帳]をタッチし、単語帳のリスト画面を表示させます。
2. 削除したい語にカーソルを移して［削除］を押します。
3. 削除の確認画面で［Y］を押して削除します。

二参考二

単語帳の詳細画面で［削除］を押して削除することもできます。

単語帳をまとめて削除する方法

1. ［ホーム］を押し、「設定」を選びます。
2. ［▼］、［▲］で「ユーザーデータ削除」を選び［決定］を押します。
3. ［▼］、［▲］で「単語帳削除」を選び［決定］を押します。

単語帳削除画面が表示されます。

4. 削除の確認画面で［Y］を押して削除します。

★注意★

追加書籍（辞書）に追加した書籍など（XMDF コンテンツ）の単語帳データも上記方法でまとめて削除されます。

マーカーだけをまとめて消去(削除)する方法

1. ［ホーム］を押し、「設定」を選びます。
2. ［▼］、［▲］で「ユーザーデータ削除」を選び［決定］を押します。
3. ［▼］、［▲］で「マーカー削除」を選び［決定］を押します。

マーカー削除画面が表示されます。

4. 削除の確認画面で［Y］を押して削除します。

二参考二

上記操作でマーカーは消去されますが、単語帳のデータは削除されません。

■手書き暗記メモを使う

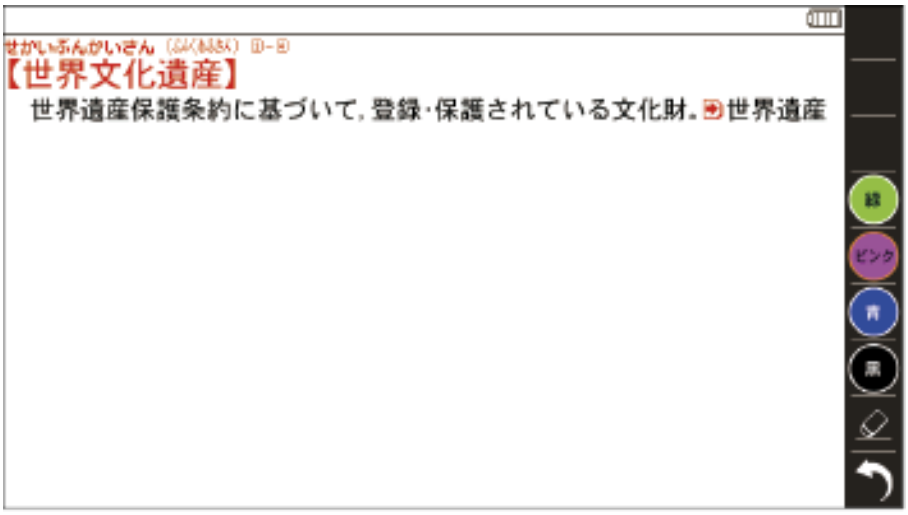
詳細画面に、重要な内容、覚えたい内容が表示されたとき、その画面をコピーし、手書きでコメントなどを書き込んで保存することができます。保存した内容は、必要なときに確認したり、内容を覚えるために利用できます。

手書き暗記メモを登録する

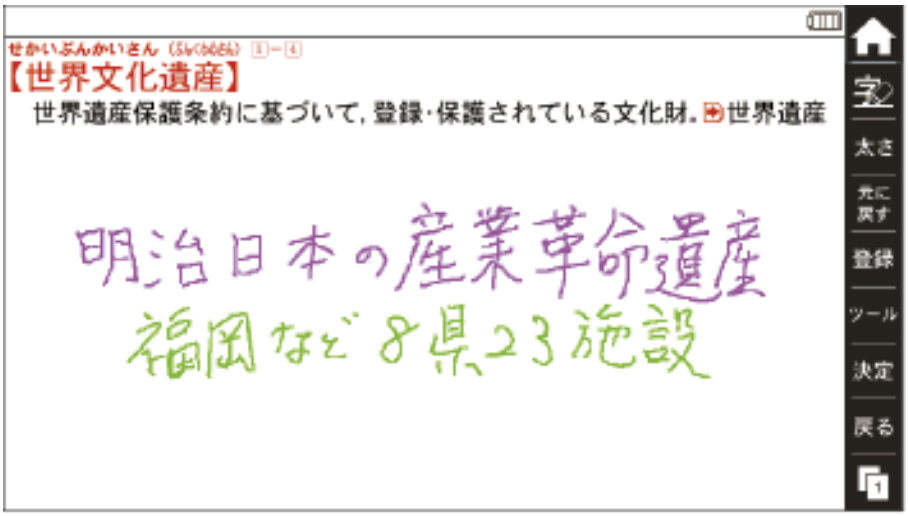
コンテンツの詳細画面から登録する

1. 手書きメモを書き込みたい詳細画面を表示させます。

2. 操作タッチキーのページを切り替えて[暗記メモ作成]にタッチします。
3. 操作ガイドメッセージを確認後、画面にタッチするか、［決定］を押します。
4. 操作タッチキーの[字]をタッチし、書き込む線の色を選択し、[太さ]で線の太さを選びます。



5. タッチペンで画面にメモしたいことを書き込みます。



6. 操作タッチキーの[登録]にタッチします。
[新規登録]を選択します。
メッセージが表示され、手書き暗記メモが登録されます。

二参考二

● 手書き暗記メモに書き込んだ内容は[登録]にタッチするまでは登録されません。
● 手書き暗記メモは100件まで登録できます。なお、カードへの登録はできません。
● 手書き暗記メモの画面では（読み上げ）や例、解説、図、などの機能は働きません。また、画面送りやスクロール、文字サイズの切り替えなどもできません。
● 手書き暗記メモを登録する前に［戻る］にタッチして作成を中止したときは各コンテンツの最初の画面に戻ります。

手書き暗記メモを見る・編集する

登録された手書き暗記メモを見たり、編集したりします。

1. ［ホーム］を押し「アクセサリー」－「手書き暗記メモ」を選びます。
　手書き暗記メモのリスト画面が表示されます。
2. ［▼］、［▲］で編集したい手書き暗記メモを選び、［決定］を押します。
3. 操作タッチキーの[編集]にタッチし、操作ガイドメッセージを確認後、［決定］を押します。
4. メモを書き直したり、追加したりします。
5. 操作タッチキーの[登録]にタッチし、登録方法などを選択します。
　・ 編集したファイルを上書きするときは[上書き保存]にタッチします。

・ 編集したファイルを別ファイルとして新規保存するときは[新規登録]にタッチします。
・ リスト画面で表示される順番は操作タッチキーの[リスト並び順]に表示される[新しい順]、[古い順]、[名前順]で切り替えることができます。
[名前順]は見出し語の文字により次の順番になります。
数字、英字、ひらがな・カタカナ、漢字など

手書き暗記メモを削除する

手書き暗記メモは、1件ずつの削除、すべての削除ができます。
手書き暗記メモを削除しても、元の辞書などのデータは削除されません。

手書き暗記メモを1件ずつ削除する

1. ［ホーム］を押し、「アクセサリー」－「手書き暗記メモ」を選び、削除したい手書き暗記メモを選びます。
2. 操作タッチキーの[削除]にタッチします。
3. 削除の確認画面で［Y］を押して削除します。

手書き暗記メモをまとめて削除する

1. ［ホーム］を押し、「設定」を選びます。
2. ［▼］、［▲］で「ユーザーデータ削除」を選んでから「手書き暗記メモ削除」を選び［決定］を押します。
3. 削除の確認画面で［Y］を押して削除します。

■コンテンツの説明を見る

一部のコンテンツについて、凡例（編集要旨）などを収録しています。

1. [ホーム]を押し、「アクセサリー」から「コンテンツの説明を見る」を選びます。
　　コンテンツ選択画面が表示されます。
2. コンテンツを選んで内容を見ていきます。

二参考二

● 操作方法は『追加書籍（辞書）を使う』の『本を操作する』を参照してください。
● 別のコンテンツの凡例などを見るときは、上記コンテンツ選択画面に戻って選択します。各凡例などの画面で［戻る］を押すか、章の区切りに設けられている「■先頭へ」を選択すると上記の画面に戻ります。
● 説明の中などの下線が引かれている青い文字や、表の中の青い文字は、選択するとその項目位置へ移動できることを示しています。

会話アシスト機能を使う

預けた荷物が出てこない･･･、注文が伝わらない･･･、海外旅行でトラブルはつきものです。そんなとき、会話アシスト機能が利用できます。
本機能はキーワードから日本語例文を探し、対応する英文または中文をTTSによる合成音声で読み上げさせることができます。

本機能ご使用時のご留意点

● 本機能の例文抽出、生成、翻訳、発音はすべてが正しく行われるものではありません。本機能の使用により生じた損害、逸失利益について、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

● 本機能は旅行会話に関係する例文のみ収録しています。

● 例文が長い場合、発音操作から発音開始までに時間がかかる場合があります。

● 例文抽出時、同じ例文が複数表示されることがあります。これらの例文は、それぞれ使われる場面が異なり、入れ替えできる単語が異なります。単語を入れ替えるときは、目的に適した入れ替え単語が出る例文をお選びください。

例：“これ” と“料理” の２つのキーワードで会話文を検出した場合

「これは何という料理ですか？」という例文が２つ出ますが、入れ替えられる単語が下記のように異なります。

「料理」を入れ替える場合

１文目 飲み物、ビバレッジ、ステーキ、ハンバーグ　など
レストランでの使用を想定した単語

２文目 宝石、鞄、スーツケース、デイパック　など
買い物での使用を想定した単語

● 本機能はキーワードが少ない場合や、組み合わせが適切でない場合は、文章的・ 意味的に正しくない例文が抽出されることがあります。

例：キーワード「飛行機、駅」→ 例文「駅で飛行機を待ちます。」など

キーワードは、より適切で詳しいものを選ぶほうが目的に近い例文を抽出することができます。

● キーワードの表現の微妙な違いで候補が出なかったり、抽出される例文が異なったりします。目的の候補や例文が出ない場合は表現を変えてみてください。

例：「どれくらい」、「どのくらい」（キーワードの候補にありません）

「どれぐらい」、「どのぐらい」（抽出される例文が異なります）

● 例えば「行く」、「行きたい」、「行きます」のように、語形が変化する語は、現在形の終止形で入力してください。例えば「いく」と入力して「行く」をキーワードに選びます。また、願望や疑問の文は「行く」と、「たい（願望）」や「ますか（疑問）」をキーワードにすると、目的により近い例文を抽出できます。

● 例えば「料理、牛肉」、「料理、鶏肉」のように、同種のキーワードを入力した場合でも、例文の表現や抽出数が異なることがあります。

本製品では、キーワードに対してより適した文章を抽出するようになっているため、似たキーワードでも異なる例文になることがあります。

● 本製品はお客様の利便性を考慮し、現在では不適切とされている言葉（「スチュワーデス」「看護婦」など）も収録しています。

（現在は、「スチュワーデス」は客室乗務員やフライトアテンダント、キャビンアテンダント、「看護婦」は看護師と呼ばれています。）

● 名前について、すべての名字が収録されているわけではありません。データとして収録されていない名字は出力できません。

● 単語により、仮名遣いがちがっても候補が出るように配慮しております。

例：

「遠い」の場合：とおい、とうい、とーい

「偏頭痛」の場合：へんずつう、 へんづつう

「縮む」の場合：ちぢむ、ちじむ

会話文を探し発音させる

【例】「タクシー」、「ポーチ」で会話文を探し、英語で発音させます。

1. [ホーム]を押し「アクセサリー」から「会話アシスト」を選びます。

入力待ち画面が表示されます。

言語モードが「■ 日本語→英語」でないときは、□にタッチして言語モードを切り替える、または操作タッチキーのページを切り替えて[英⇔中切替]にタッチして切り替えてください。

2. キーワード入力欄に、例えば「たく」と入れます。

キーワードの候補および会話文の候補が表示されます。

・カタカナ、漢字は手書きやかな漢字変換で入力できます。

3. ［▼］［▲］でキーワード「タクシー」を選び［決定］を押します。

会話文欄の候補へカーソルが移り、下の欄に訳文と共に表示されます。

4. 操作タッチキーのページを切り替えて[キーワード追加]にタッチすると追加入力画面になります。

手順2、3と同様の操作で「ぽーち」を入れ、キーワードを選んで［決定］を押します。カーソルが会話文欄へ移ります。

＊ キーワード欄の“»”はキーワードの区切りを示すマークです。

5. ［▼］［▲］で会話文を選んで［決定］を押します。
   会話文の１件表示画面になります。
6. 表示された会話文をタッチするとTTSで読み上げられます。
   読み上げ終了後、［戻る］で1件表示画面に戻ります。

二参考二

● ［シフト］［🔊+］、［シフト］［🔊ー］を押すと音量の調整ができます。

● 手順6のとき、会話文はカラーマーキングされます。操作タッチキーのページを切り替えて[再生速度]から再生速度が変更できます。

● 1件表示画面で操作タッチキーのページを切り替えて[英⇔中切替]にタッチすると言語モードが切り替わります。

● 1件表示画面になったとき、例文が履歴に登録されます。

● キーワード追加で頭に 類推 が表示される例文候補は、入力したキーワードのいずれかを含まない候補です。

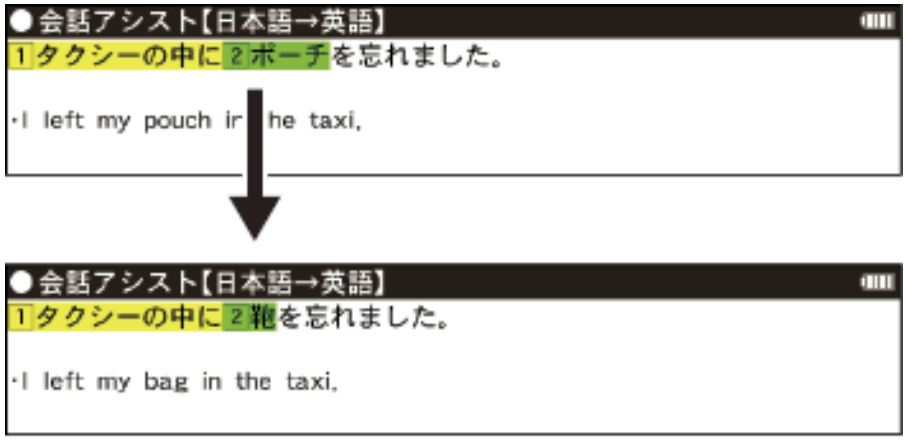
● 手順4などの画面で操作タッチキーのページを切り替えて[キーワード消去]にタッチし、消去確認画面で［Y］を押すと、後から入れたキーワードが消去されます。

● 例文の中の 1、 2、 3 など、 □ 囲みの数字や英字は、その後ろの単語が入れ替えられることを示します。

● 本製品の翻訳語は、米語および普通話（北京語を基にした中国標準語）です。

単語を入れ替えて会話文を作る

日本語例文の中の単語を入れ替えて会話文を作り、対応する英文または中文を読み上げさせます。
【例】 上記の1件表示画面で「ポーチ」を「鞄」に入れ替えます。



1. 1件表示画面で、操作タッチキーのページを切り替えて[単語入替]にタッチします。
　単語入れ替え画面が表示されます。
2. ［▶］［◀］で入れ替えたい単語（ここでは「ポーチ」）を選び［決定］を押します。
　・ キーワード入力欄と、選んだ単語に関連する語（入れ替え候補）が表示されます。
3. キーワード入力欄に「かばん」と入れます。入れ替え候補が表示されます。
4. ［▼］、［▲］で入れ替え候補を選び［決定］を押します。
　単語（日本語および対応する英語、中国語の単語）が入れ替わります。
5. 手順2～4と同様の操作で、必要な単語をすべて入れ替えます。
　入れ替え終わったら［戻る］を押して1件表示画面に戻ります。

6. 表示された英会話文（または中国語会話文）をタッチして読み上げさせます。

二参考二

● 入れ替える語が数字または英字の場合は、入れ替え候補は表示されません。
● 入れ替え可能な単語を示す番号は1、2～0、A、B の種類があり、それぞれ対応する数字、英字キーで単語を選択することができます。

例文を単語帳に登録する

例文の1件表示画面で操作タッチキーのページを切り替えて[単語帳登録]にタッチすると、表示されていた例文が単語帳に登録されます。
登録された例文は、会話アシストの画面で操作タッチキーのページを切り替えて[単語帳]にタッチすると、リストから選んで表示させることができます。

二参考二

会話アシストの例文にはマーカー機能は使用できません。

カラー図鑑を見る

搭載コンテンツに収録されている写真などから、画像や内容を探すことができます。
ホーム画面から「アクセサリー」－「カラー図鑑」を選びます。
「画像から探す」画面が表示されます。

■画像から説明内容を探す

1. 上記の「画像から探す」画面で、コンテンツ（例えば「大辞林4.0」）、分野（例えば「動物」）、見たい項目（例えば「鳥類1」）を選んでいき、画像を表示させます。
2. ［≫］［≪］や［▼］［▲］で目的の画像を表示させます。
3. ［決定］を押し（画面にタッチし）、説明などを表示させます。

★注意★

「画像から探す」で表示される画像は、各コンテンツに含まれる画像の中から抜粋しています。すべてを表示することはできません。

ツールを使う

ツールは次の方法で呼び出すことができます。終了するときは[戻る]を押します。

- 操作タッチキーの[ツール]にタッチし、ツールジャンプメニューを表示して呼び出します。
- ホーム画面から「アクセサリー」－「ツール」の順にタッチし、ツール画面を表示して呼び出します。
- 電卓の便利計算機能（通貨換算、単位換算、年号計算、年齢計算）はツール画面から呼び出します。
- ツールジャンプメニューの「電卓」からは電卓機能のみ呼び出すことができます。

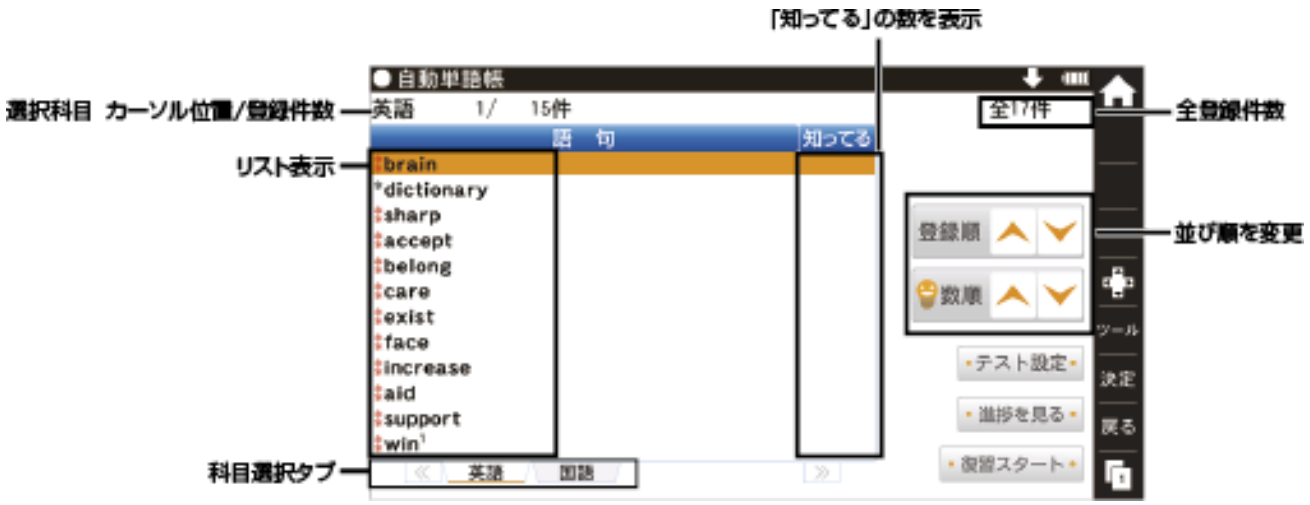
二参考二

● ツールから「追加コンテンツ」を呼び出すこともできます。

■自動単語帳を使う

英語や国語の対象コンテンツで、検索し詳細画面を表示した見出し語が、「自動単語帳」に自動で登録されます。
登録された単語は、科目別にリスト表示され、暗記学習に活用することができます。

1. 操作タッチキーの[ツール]にタッチし、ツールジャンプメニューから「自動単語帳」をタッチします。
自動単語帳のリスト画面が表示されます。



次の科目のコンテンツが自動単語帳の対象コンテンツになります。

英語

リーダーズ英和辞典＆リーダーズプラス

ジーニアス英和大辞典

国語

大辞林4.0

漢字源

Brain Learning画面の単語表示

Brain Learning画面に、自動単語帳に登録されている単語が１つ、ランダムに表示されます。（『Brain Learning画面について』を参照。）
ここをタッチすると、復習テストに入ります。詳しくは『復習テストで学習する』を参照してください。

ニ参考ニ

別の画面からBrain Learning画面を再び表示すると単語が変わります。

自動単語帳へ登録する

対象コンテンツで検索し詳細画面を表示した見出し語が、自動で登録されます。
【例】「interest」を自動単語帳へ登録する
1. ジーニアス英和大辞典で「interest」の詳細画面を表示します。
2. 操作タッチキーの[ツール]にタッチし、ツールジャンプメニューから「自動単語帳」にタッチします。
3. 科目選択タブの「英語」をタッチします。
    ・自動単語帳のリスト画面で、interestが登録されていることが確認できます。

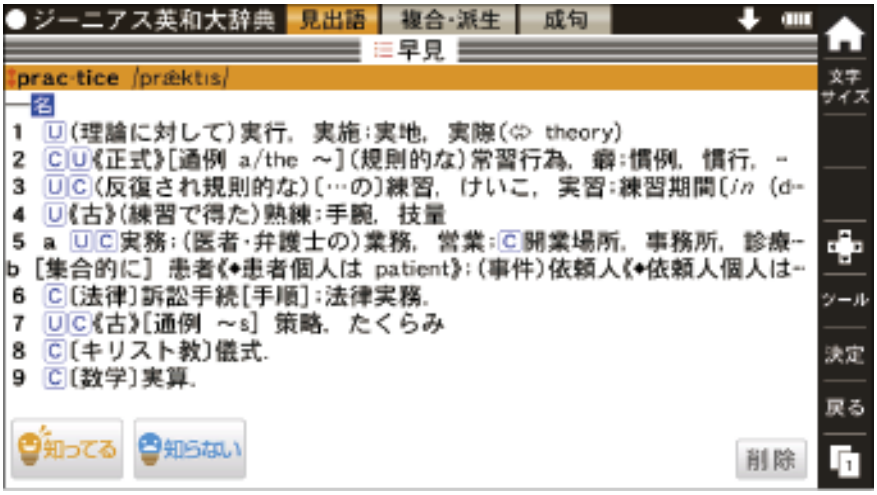
ニ参考ニ

● 詳細画面を表示するだけで登録されますが、対象コンテンツの見出し語のみが登録可能です。見出し語に無い成句や例文は登

録されません。
● コンテンツが違う同じつづりの単語はそれぞれ登録されます。
● 全科目合計で5000件まで見出し語を登録できます。

リスト表示から単語を学習する

1.自動単語帳のリスト画面を表示し、科目選択タブをタッチ（または[◀]、[▶]を押して選択を移動）して科目を選択します。
［«］、［»］にタッチすると隠れている科目が表示されます。
2.学習したい単語をタッチするか、[▲][▼]で選択して[決定]を押します。
意味確認画面が表示されます。意味を確認しやすいように箇条書き（早見）で表示されます（派生語などは詳細画面を表示します）。



3.意味を確認するなど学習します。
・ [決定]を押したり、画面上部の「成句」などのタブをタッチすると、各辞書の詳細画面表示に変わりますので、より詳しく学習することができます。[戻る]を押すとリスト表示へ

戻りますので、この単語の学習を続けるときは[決定]を押して意味表示画面に戻ってください。

4.「知ってる」または「知らない」にタッチしてください。

・意味やつづりなどを覚えたときは「知ってる」にタッチしてください。

・再び学習が必要と思われるときは「知らない」にタッチしてください。

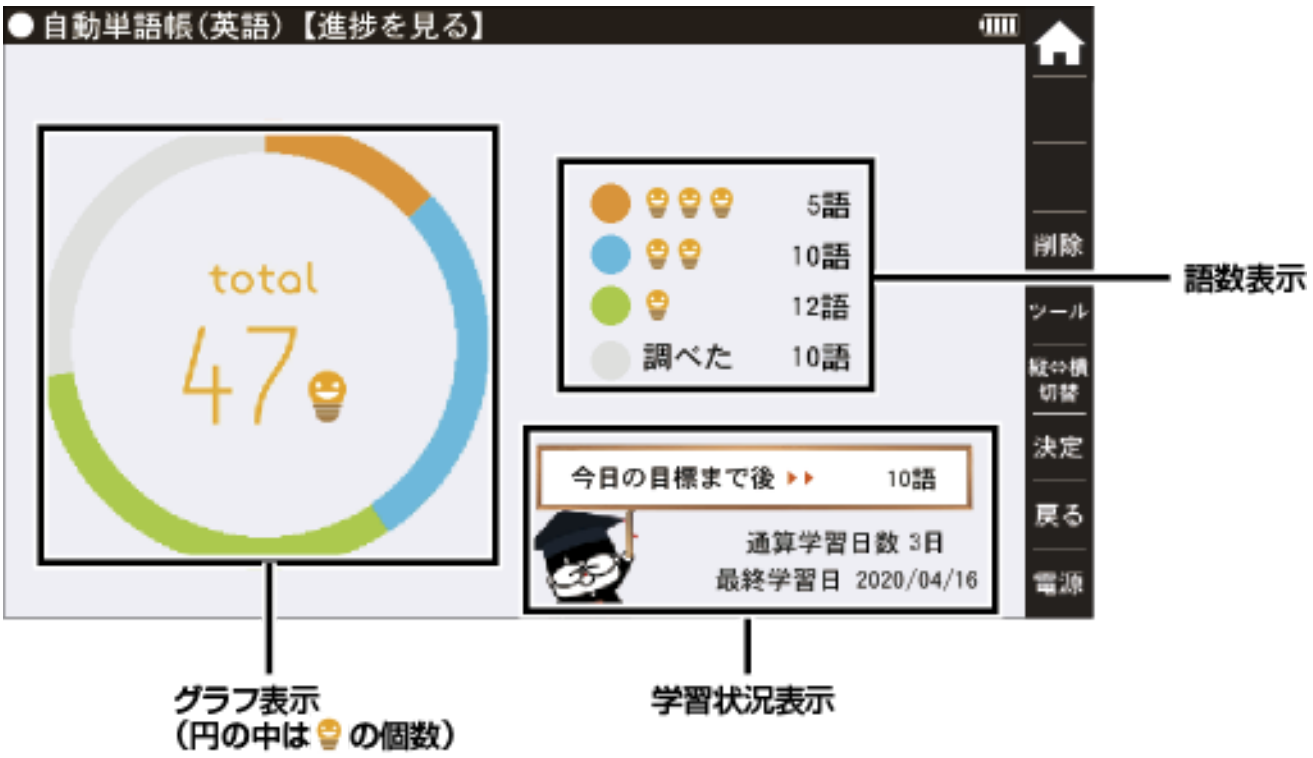
5.リスト画面に戻ります。

・「知ってる」をタッチしたときは、知ってる欄の🍯マークが増えます（最大３個まで）。「知らない」をタッチしたときは、知ってる欄の🍯マークが減ります。🍯マークの数で習熟度が確認できます。

進捗を見る

1.自動単語帳のリスト画面を表示し、科目選択タブをタッチして科目を選択します。

2.「進捗を見る」をタッチします。進捗状況をグラフ表示で確認することができます。



二参考二

● Brain Learning画面の「進捗を見る」から進捗を確認することもできます。

● １日の学習目標は、「設定」－「１日の学習目標設定」で変更できます。

復習テストで学習する

復習テストでは、自動単語帳に登録されている単語からランダムに出題されます。（復習テストの出題範囲を設定できます。詳しくは『復習テストの出題範囲を設定する』を参照してください。）

1. 自動単語帳リスト画面の「復習スタート」またはBrain Learning画面の単語表示をタッチします。自動単語帳に登録されている単語が１つ、ランダムに選択され表示されます。



自動単語帳のリスト画面から「復習スタート」をタッチしたとき：
選択している科目が対象になります。
Brain Learning画面の単語表示をタッチしたとき：
前回選択していた科目が対象になります。

2. 「知ってる」または「知らない」にタッチしてください。
・意味やつづりなどを覚えているときは「知ってる」にタッチしてください。
・まだ学習が必要と思われるときは「知らない」にタッチしてください。
・「意味を確認」をタッチすると意味確認画面が表示されます。なお、意味確認画面からジャンプできないなど制限があります。
3. 次の単語がランダムに選択され表示されます。
4. ステップ2～3を繰り返します。
5. 復習テストでの学習が終了するとその科目のリスト表示画面が表示されます。

二参考二

- 中断するときは[戻る]を押します。

復習テストの出題範囲を設定する

復習テストの出題範囲を設定できます。

1. 自動単語帳のリスト画面で「テスト設定」をタッチします。
   設定画面が表示されます。
2. 「調べてからの期間」と「💡の数」を設定します。
   ・「調べてからの期間」：設定した期間に調べた（登録された）単語から出題されます。たとえば、「1週間以内」を選択すると、１週間以内に調べた（登録された）単語から出題されます。
   ・「💡の数」：設定した💡数の単語から出題されます。たとえば、💡数が1以下の単語から出題したいときは、「💡」と「なし」を選択してください。
3. 「設定」をタッチします。

自動単語帳から削除する

単語を１件ずつ削除する方法

リスト画面や意味確認画面で[削除]－[Y]と押すと、選択した単語が自動単語帳から削除されます。

単語をまとめて削除する方法

1. ［🏠ホーム］を押して、「設定」を選びます。
2. ［▼］、［▲］で「ユーザーデータ削除」を選び［決定］を押します。
3. ［▼］、［▲］で「自動単語帳削除」を選び［決定］を押します。
4. ［▼］、［▲］で科目を選び［決定］を押します。
5. 削除の確認画面が表示されるので［Y］を押します。

進捗(数)をまとめて削除する方法

1. ［ホーム］を押して、「設定」を選びます。
2. ［▼］、［▲］で「ユーザーデータ削除」を選び［決定］を押します。
3. ［▼］、［▲］で「自動単語帳進捗(数)削除」を選び［決定］を押します。
4. ［▼］、［▲］で科目を選び［決定］を押します。
5. 削除の確認画面が表示されるので［Y］を押します。

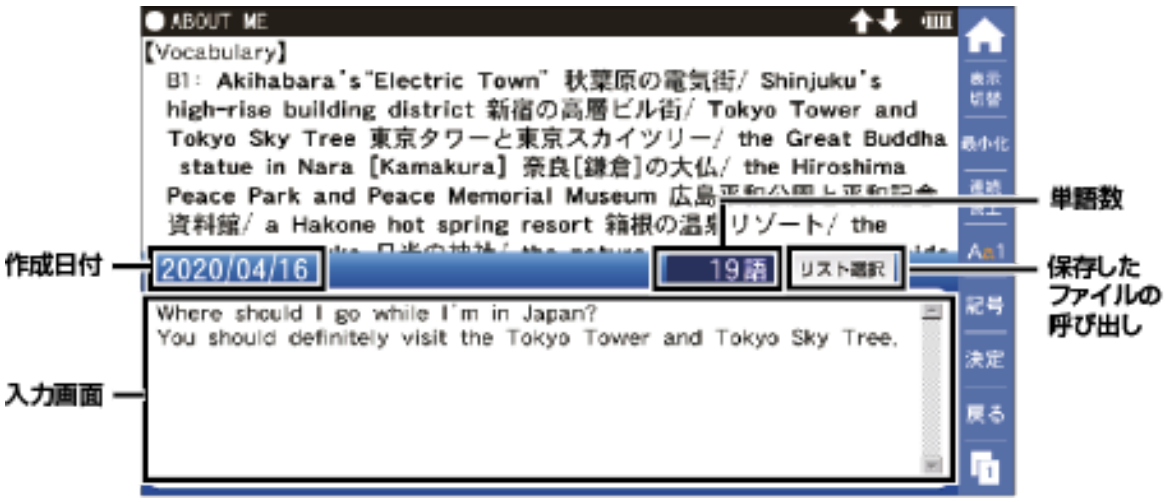
二参考二

● 自動単語帳から単語を削除しても、履歴や各辞書の単語帳からは削除されません。履歴については『一度調べた語を再度調べたいとき（履歴を使う）』、単語帳については『繰り返し見たい語を登録する（単語帳・マーカーを使う）』を参照してください。

■英作ボード スピーキングプラスを使う

コンテンツの内容や例文を見ながら、英文を作成することができ、英作文の学習に役立てることができます。入力した文章は文書ごとにファイルとして保存したり、連続して読み上げたり、聞き比べ（スピーキング）たりすることができます。

1. 操作タッチキーの[ツール]にタッチし、ツールジャンプメニューから「英作ボード スピーキングプラス」をタッチします。
「英作ボード スピーキングプラス」画面が表示されます。



二参考二

● 「英作ボード スピーキングプラス」は次の方法で呼び出すこともできます。

・ コンテンツの詳細画面で、操作タッチキーの[英作ボード]にタッチする。

・ 画面に表示されているアイコン（「英作ボード スピーキングプラス」の最小化アイコン）をタッチする。（このときは前回の状態で呼び出されます。）

● 「英作ボード スピーキングプラス」を新規に呼び出したとき（最小化アイコンの表示がないとき）は、新規の入力画面が表示されます。

英文を入力する

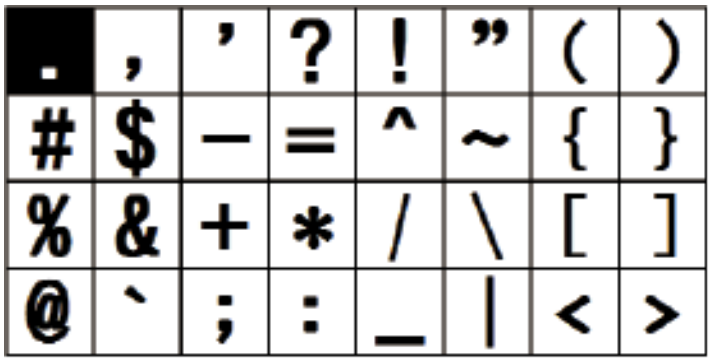
1. 「英作ボード スピーキングプラス」を呼び出すと、入力画面が表示されます。

・ 入力できる文字の種類は以下のとおりです。（日本語は入力できません。）

アルファベット（A～Zの大文字/小文字）

数字（0～9）

記号（ピリオド"."、コンマ","、など32種類）



・ 操作タッチキーの[Aa1]から文字の種類を切り替えてそれぞれの文字を入力します。

[A]：アルファベット大文字
[a]：アルファベット小文字
[1]：数字

・ 記号は操作タッチキーの[記号]をタッチ、またはキーボードの[記号]を押すと、記号入力用画面が表示されます。入力したい記号をタッチ、またはカーソル選択を移動させて[決定]を押します。

・ アルファベットはキーボードから入力します。[シフト]を押しながらアルファベットキーを押して入力すると、大文字/小文字を切り替えて入力できます。

・ スペースを入力するときは[スペース/変換]を押します。改行するときは[決定]を押します。

・ 学習スタイル（タッチ操作方式）のときは、ソフトキーボードから入力します。

・ カーソル位置に文字が入力されます。［▼］、［▲］、［◀］、［▶］で追加したい位置にカーソルを移して文字を入力してください。

・ 内容を削除するときは、［▼］、［▲］、［◀］、［▶］で削除したい文字の後ろにカーソルを移して[削除]を押してくだ

さい。
・ ピリオドやコンマを行頭に表示しない、行末では単語の途中で改行しない、など自動調整されます。
・ ［シフト］［クリア］と押すと入力した文字がすべて削除されます。

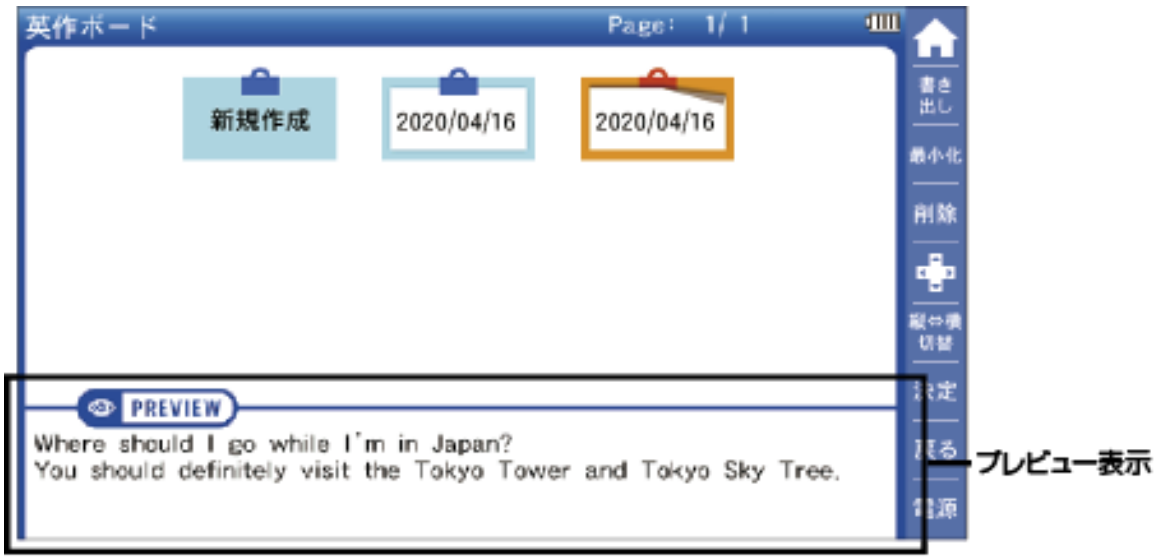
2. 入力が終わりましたら、[戻る]を押して終了します。
・ 入力した内容は自動で保存されます。

画面表示を変更する

・ 操作タッチキーの[表示切替]にタッチすると、上半分表示、全画面表示、下半分表示、と表示が切り替わります。コンテンツの内容を確認しながら入力するときは、上半分表示や下半分表示にしてください。
・ [シフト][文字大]や[シフト][文字小]を押すと画面表示の文字サイズを３段階で変更できます。
・ 表示フォントはホーム画面の「設定」－「フォント設定」に従います。
・ 操作タッチキーのページを切り替えて[最小化]にタッチすると、アイコン化されて画面に表示されます。別のコンテンツを参照するときは、アイコン化してコンテンツを変えることができます。アイコンをタッチすると前回の状態で呼び出されます。

保存したファイルを呼び出す

「英作ボード スピーキングプラス」の入力画面右上の「リスト選択」から、保存したファイルを呼び出すことができます。カーソルが点滅し、編集できる状態で呼び出されます。



・ 目的の日付アイコンにタッチして呼び出してください。
・ カーソル操作で選択を移動させると、プレビュー表示で内容（一部）を確認できます。
・ [新規作成]アイコンにタッチすると白紙の入力画面が表示されます。
・選択したファイルを削除するときは操作タッチキーの[削除]をタッチします。

二参考二

- 200ファイルまで保存できます。
- １ファイルあたり10,000文字まで入力できます。
- コピー/ペースト機能はありません。

連続読み上げ

操作タッチキーの[連続読上]をタッチして入力した内容を読み上げることができます。詳しくは、『英語、日本語、中国語（簡体字）の読み上げ（TTSでの音声読み上げ）』の『連続読み上げ』を参照してください。

スピーキング（聞き比べ）

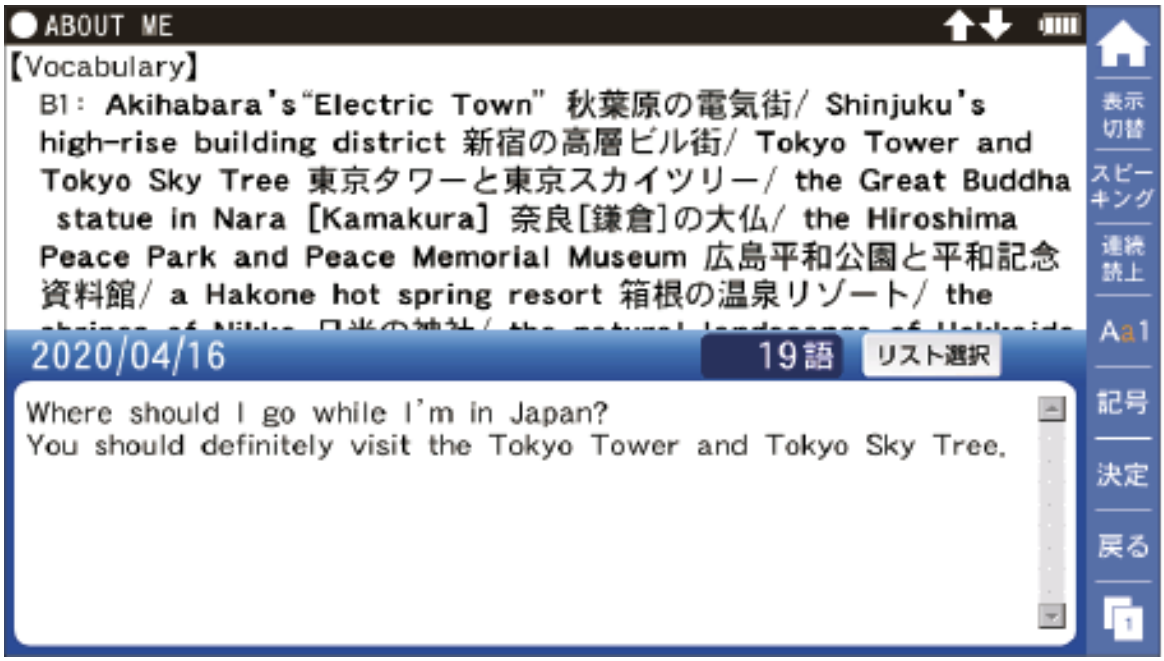
「英作ボード スピーキングプラス」で作成した文章について、TTS（合成音声）の読み上げと自分の発音を聞き比べることができます。スピーチの練習に便利です。
作成した文章全体を聞き比べたり、1文ずつ聞き比べたりできます。

二参考二

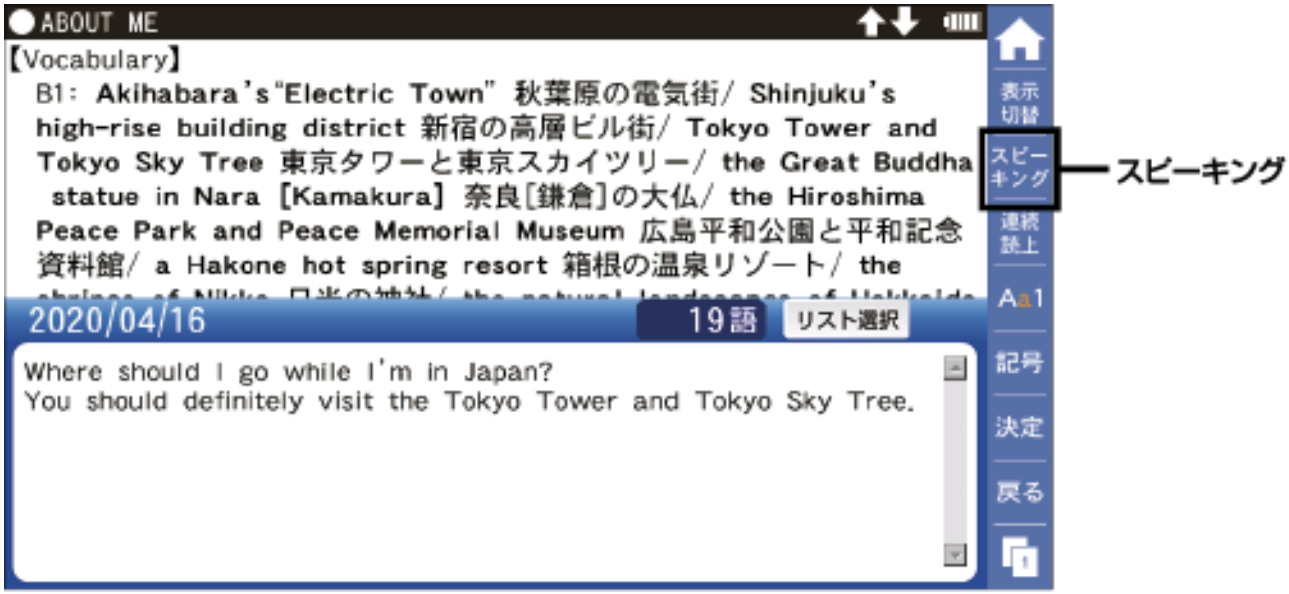
- 聞き比べ機能はマイクを正面で使うため、キーボード操作方式（本体を開いた状態）で利用してください。
- マイクの音量調整などは『マイクを使う』を参照してください。

文章全体を聞き比べる

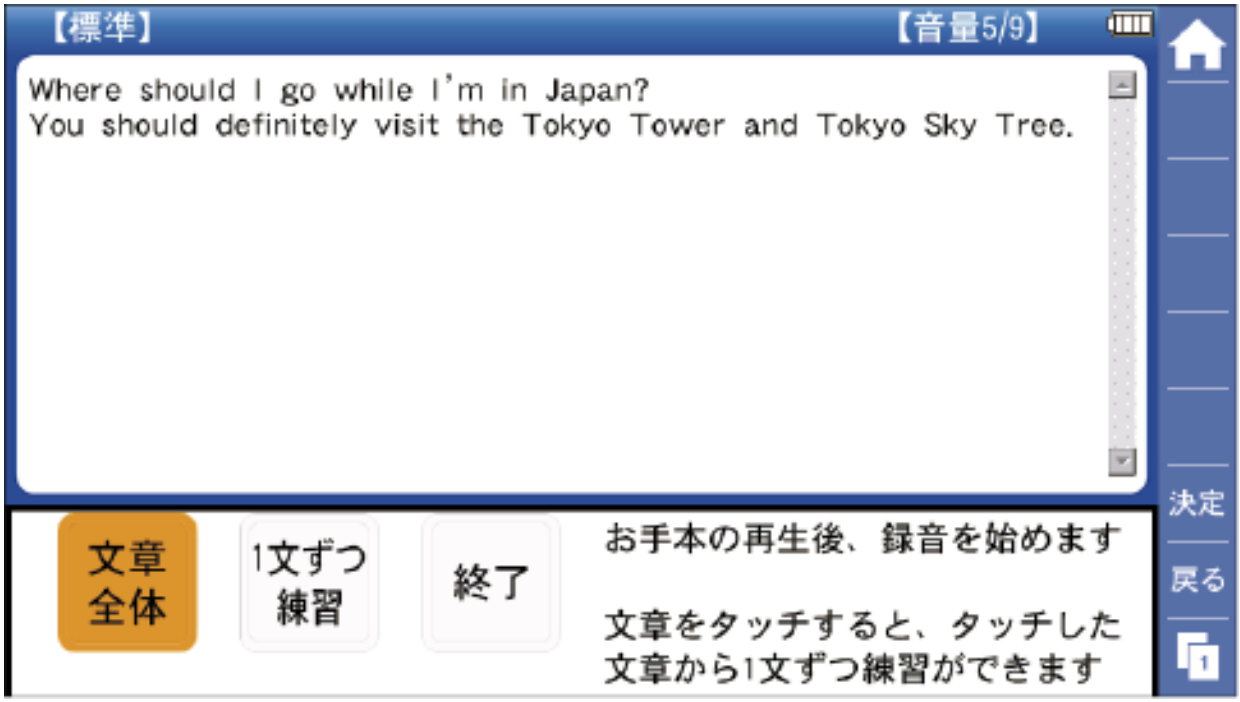
1. 聞き比べたい文章を表示します。



2. 操作タッチキーの[スピーキング]をタッチします。



3. 「文章全体」にタッチします。



4. 英文の先頭から最後まで連続で読み上げます。
5. 読み上げが終了すると、自動で録音が開始されます。
   ・マイクに向かって発音してください。
   ・録音をやり直すときは「やり直し」にタッチしてください。
6. 発音（発話）が完了したら、「録音終了」にタッチします。

7. 再度、英文を連続で読み上げ、続いて、録音された音声が再生されます。
・聞き比べてください。
・途中で終了するときは[決定]または[戻る]を押してください。
8. 再生が終了すると選択メニューが表示されます。
・もう一度聞き比べるときは「もう一度聞く」にタッチしてください。
・録音をやり直すときは「やり直し」にタッチしてください。手順4からやり直しになります。
・聞き比べを終了するときは「終了」にタッチまたは[戻る]を押してください。
このとき録音データを保存するかどうかの確認画面が表示されます。保存するときは[Y]を押してください。録音データはボイスメモのファイルとして保存され、あとでボイスメモを使って再生できます。ボイスメモについては『ボイスメモを使う』を参照してください。

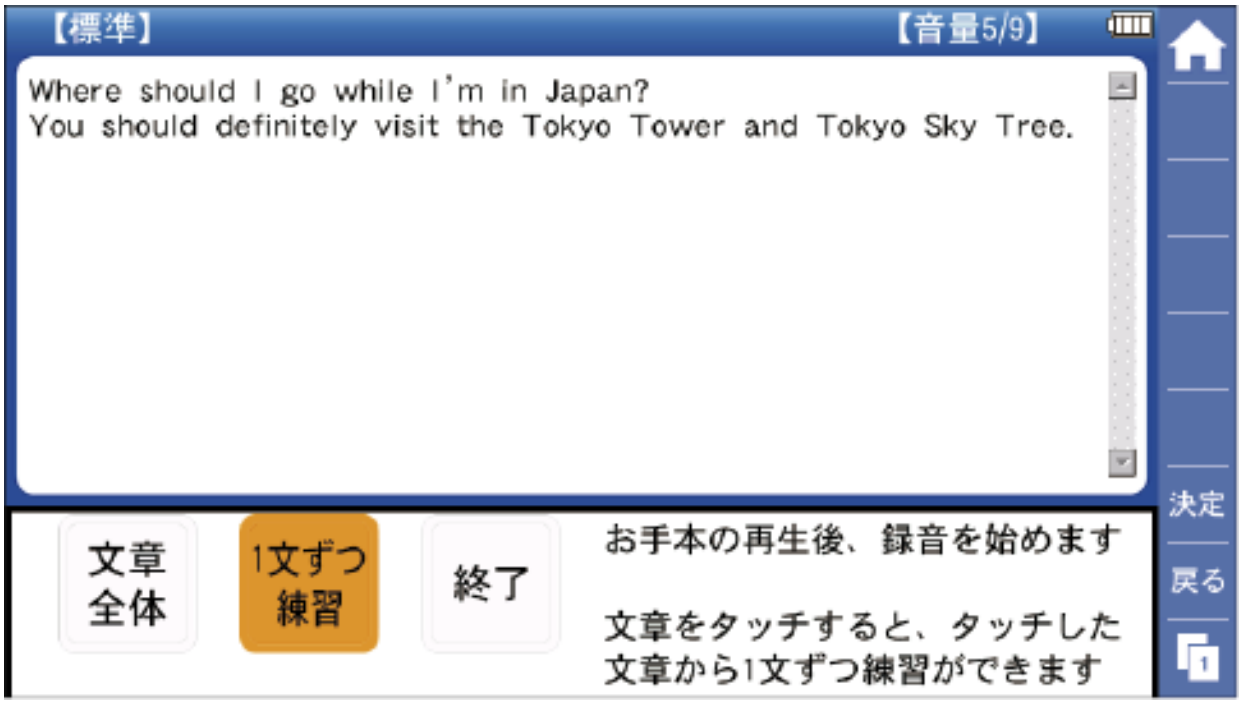
二参考二

録音時間は最大約15分間です。約15分経過すると録音が終了します。また本体メモリーが少ないときは録音可能時間が短くなる、あるいは録音できない（聞き比べできない）ことがあります。

1文ずつ聞き比べる

1. 聞き比べたい文章を表示します。
2. 操作タッチキーの[スピーキング]をタッチします。

3. 練習したい文にタッチすると、その文の読み上げが始まります。
    ・「1文ずつ練習」にタッチすると、文章の先頭の文の読み上げが始まります。



4. 読み上げが終了すると、自動で録音が開始されます。
    ・マイクに向かって発音してください。
    ・録音をやり直すときは「やり直し」にタッチしてください。
5. 発音（発話）が完了したら、「録音終了」にタッチします。
6. 英文の読み上げに続いて、録音された音声が再生されます。
    ・聞き比べてください。
7. 再生が終了すると選択メニューが表示されます。
    ・もう一度聞き比べるときは「もう一度聞く」にタッチしてください。
    ・次の文を練習するときは「次」にタッチしてください。また、練習したい文にタッチすると、その文の練習を開始します。

・録音をやり直すときは「やり直し」にタッチしてください。英文の読み上げが始まり手順4からやり直しになります。
・聞き比べを終了するときは「終了」にタッチまたは[戻る]を押してください。

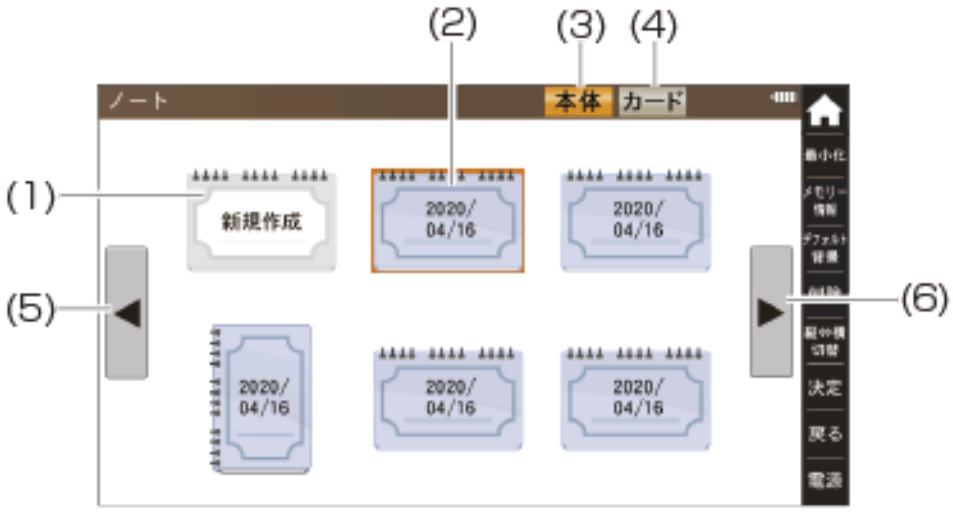
二参考二

録音時間は最大約1分間です。約1分経過すると録音が終了します。

■ノートを使う

ノートでは、手書き機能によりメモを書き込むことができます。

1. 操作タッチキーの[ツール]にタッチし、ツールジャンプメニューから「ノート」をタッチします。
ノート選択画面が表示されます。



(1) 新規作成アイコン：新規に編集画面を表示します。
(2) ノートアイコン：タッチすると、選んだノートの編集画面を表示します。

横表示で作成したノートはノートアイコンが横向き（横長）で、縦表示で作成したノートはノートアイコンが縦向き（縦長）で表示されます。
(3) 「本体」：リスト対象フォルダを本体メモリーにします。
(4) 「カード」：リスト対象フォルダをカードにします。
(5) ◀：ノートが6冊以上ある場合、前のノート画面を表示します。
(6) ▶：ノートが6冊以上ある場合、次のノート画面を表示します。

2. 新規作成アイコンかノートアイコンにタッチし、編集画面を開きます。
編集画面では、ペンやマーカーの色・太さを選択して手書きしたり、消しゴムで書いた部分を消したりすることができます。（ペンで記入した内容はペン用の消しゴムで、マーカーで記入した内容はマーカー用の消しゴムで消すことができます。）
また、操作タッチキーから、背景を選んだり、ページの追加や削除などができます。
編集した内容は編集画面を閉じたときに自動的に保存されます。

・ノートをアイコン化（最小化）するときは、操作タッチキーの[最小化]をタッチします。ノートを終了するときは、ノート選択画面のときに[戻る]を押します。

二参考二

● ノートは、1冊あたり50ページまで、最大10冊（500ページ）作成可能です。ただし、空き容量がない場合は作成できません。

● 操作タッチキーの[メモリー情報]にタッチすると、作成したノート数などが確認できます。
● ノートを削除する場合は、削除したいノートが選ばれている状態で操作タッチキーの[削除]－[1件削除]をタッチします。
● ノートの背景を選択する方法には、下記の2通りがあります。
・デフォルトの背景を選択する：
ノート選択画面で操作タッチキーの[デフォルト背景]をタッチすると選択できます。選択すると、以降に新規作成したノートのページの背景画像として使用します。デフォルトの背景は本体メモリーのノート用とメモリーカードのノート用のそれぞれについて設定ができます。
・背景を選択する：
編集画面で操作タッチキーの[背景]をタッチすると選択できます。選択すると、表示中のページと、以降に選択したノート内で追加したページの背景画像として使用します。
● 背景のメニューにある[背景一覧]を選ぶと、お客様がお持ちの画像を背景に設定できます。背景画像は、PNG形式、BMP形式、FORM形式(弊社電子ノートWG-N20/S20/S30/S50のフォームデータ形式)が使用可能です。
＜背景の登録方法＞
本体メモリーのノート用画像は本体メモリーへ、メモリーカードのノート用画像はメモリーカードへ、それぞれコピーしてください。
1. 『パソコンと接続する』を参考に、本体またはカードの中に「NOTE」フォルダを作成し、さらにその中に「FORM」フォルダを作成します。
2. 「FORM」フォルダに背景にしたい画像ファイルをコピーします。

注意事項：
・画像のサイズは、縦で作ったノートの場合は、幅450ドット×高さ685ドット、横で作ったノートの場合は、幅685ドット×高さ450ドットです。
画像は拡大や縮小をせずに画面中央に表示しますので、これらのサイズを超える画像のはみ出した部分は表示されません。
・マーカーは画像の白色の部分にのみ書くことができます。
● 編集画面で操作タッチキーの[ページ]から[書き出し]を選ぶと、表示中の内容がパソコンで確認できる形式に変換されます。
書き出したノートは、ノートが保存されている方のメモリー「NOTE」の中の「EXPORT」フォルダに保存されています。
『パソコンと接続する』を参考にパソコンと本体を接続し、取り出してください。なお、[書き出し]を行うと、前回の[書き出し]のファイルが消去されますので、ご注意ください。

■ボイスメモを使う

ボイスメモでは、音声の録音／再生ができます。

1. 操作タッチキーの[ツール]にタッチし、ツールジャンプメニューから「ボイスメモ」をタッチします。
　ボイスメモ画面が表示されます。



(1) 録音済みリスト：録音されているデータ名の一覧が表示されます。再生、削除する場合は、［▼］、［▲］で選択してください。
(2)［録音］：録音画面が表示され、録音を開始します。録音を停止する場合は、録音画面の［停止］をタッチしてください。
(3)［再生］：再生画面が表示され、選択されている録音済データを再生します。再生を停止する場合は、再生画面の［停止］をタッチします。一時停止する場合は、［一時停止］をタッチしてください。
(4)［削除］：削除の確認画面で［Y］を押して削除します。
(5)［設定］：保存先、音質/録音可能時間を変更できます。
(6)［終了］：ボイスメモ画面を閉じます。

二参考二

ボイスメモは、1ファイルおよそ60分、500件まで録音可能です。ただし、空き容量がない場合は録音できません。

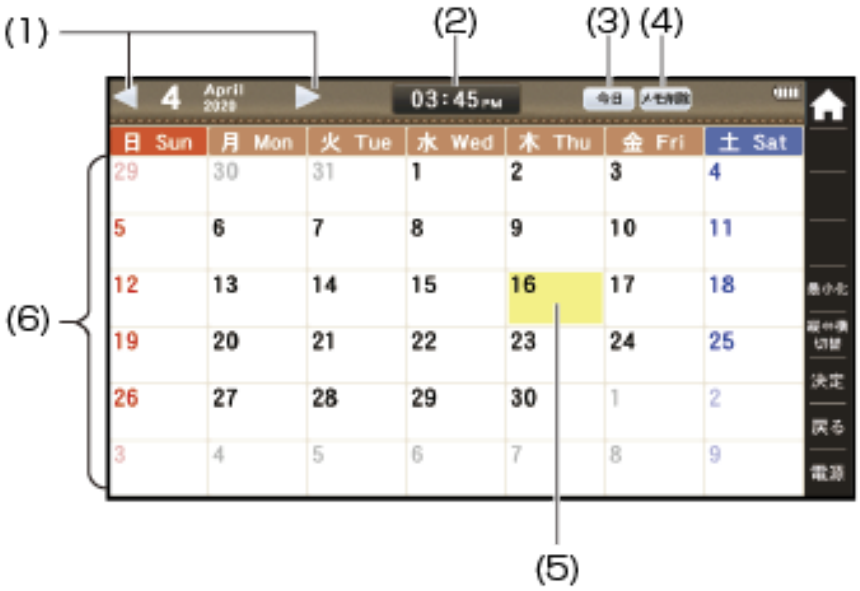
■カレンダーを使う

カレンダーでは、手書き編集機能によりメモを書き込むことができます。

1. 操作タッチキーの[ツール]にタッチし、ツールジャンプメニューから「カレンダー」をタッチします。

カレンダー画面が表示されます。

・ カレンダーをアイコン化（最小化）するときは、操作タッチキーの[最小化]をタッチします。カレンダーを終了するときは、カレンダー画面のときに[戻る]を押します。



(1) 月切替：ひと月単位で表示を切り替えます。

(2) 現在時刻：現在の時刻を表示します。

(3) 今日：本日日付のある月に移動します。

(4) メモ削除：メモ削除ウィンドウが表示され、期間を指定して削除またはすべてを削除できます。

(5) 本日日付：本日の日付欄を黄色で表示します。

(6) 日付表示エリア：日付をタッチすると編集ウィンドウが表示されます。



［新規］：アイコン選択、手書き登録ができます。
［編集］：登録済の内容に対して編集ができます。
［削除］：登録内容を削除します。
［休日］：休日として登録します。
※ [戻る]を押していくと、編集した内容が登録されカレンダーの画面に戻ります。

二参考二

● 予定は1日あたり3件までで、300日分登録可能です。ただし、空き容量がない場合は登録できません。
● カレンダー画面に表示されたアイコンを別の日付までドラッグすると、予定が登録されている日付を変更することができます。

■タイマーを使う

タイマーでは、設定した長さの時間にアラームを鳴らすことができます。

1. 操作タッチキーの[ツール]にタッチし、ツールジャンプメニューから「タイマー」をタッチします。

タイマー画面が表示されます。

2. ［1時間］、［10分］、［1分］をタッチしてアラームを鳴らすまでの時間および分数を設定します。

設定時間を0にしたい場合は［リセット］をタッチしてください。

3. ［スタート］をタッチするとカウントが開始され、指定時間が経過するとアラームが鳴ります。

4. アラームを停止する場合は［リセット］をタッチしてください。オートパワーオフが働くまでアラームは鳴り続けます。

※ ▁（最小化アイコン）をタッチするとタイマーをアイコン化し、他の機能を使用中でもそのアイコンをタッチするとタイマーを表示できます。またカウント中に最小化してもカウントは続行され、指定時間が経過するとアラームが鳴ります。

5. ✕にタッチして終了します。

★注意★

● タイマーカウント中はオートパワーオフ機能が働きません。

● タイマーカウント中に電源が切れると、カウントが一時停止されます。カウントは次に電源を入れたタイミングから自動的に開始します。

● ボイスメモ録音中に指定時間が経過した場合、アラームは鳴りませんので注意してください。

二参考二

タイマーは、3時間59分まで計れます。

■電卓/便利計算機能を使う

四則計算や消費税計算、通貨や単位の換算、年号や年齢の計算ができます。

電卓で計算をする

12桁までの加減乗除、消費税、メモリー計算などができます。

1. ［ホーム］を押し、「アクセサリー」－「ツール」－「電卓/便利計算」を選びます。
   電卓/便利計算の機能選択画面が表示されます。
2. 「電卓」にタッチします。電卓画面が表示されます。
   ・ 電卓をアイコン化（最小化）するときは、操作タッチキーの[最小化]をタッチします。電卓を終了するときは[戻る]を押します。
   ・ ホーム画面などで操作タッチキーの[ツール]にタッチし、ツールジャンプメニューから「電卓」をタッチすると、電卓画面を直接表示できます。



二参考二

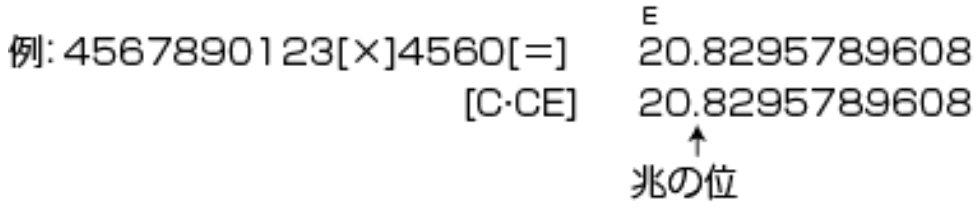
計算を始める前に

● 計算を行う前に、［R·CM］［R·CM］［C·CE］［C·CE］とタッチして、メモリーと表示をクリアしてから始めてください。
● 負の数が最初にくるときは、減算記号（［－］）を負数シンボル（マイナス）として計算を始めることができます。
● 入力中に数字を入れ間違えたときは［C·CE］をタッチして、もう一度入れ直してください。
● 計算の途中や結果を示すため、画面に“＝”、“Ｍ＋”、“Ｍ－”、“＋”、“－”、“×”、“÷”が表示されますが、以降の計算例では、これらの表示は省略しています。
“＝”は［＝］または［%］をタッチしたとき、その他の“Ｍ＋”、“＋”などは、それぞれのキーをタッチしたときに表示されます。

こんなときはエラーが出ます

＊ 計算結果の整数部が13桁以上になったときや、除数が0の除算をしたときなどは、画面に「E」が表示されて、その後の計算ができなくなります。［C·CE］をタッチしてエラー状態を解除してください。

次のような概数表示では、小数点は兆の位を示します。



	計算例	操作	表示(答)
加減乗除	(−24)÷4−2=	[C·CE][C·CE] 24[+/−][÷]4[−]2[=]	−8.
定数計算	34+57= 45+57=	34[+]57[=] (加数が定数 45 [=] となります)	91. 102.
	68×25= 68×40=	68[×]25[=] (被乗数が定数 40[=] となります)	1'700. 2'720.
パーセント計算	200の10%は?	200[×]10[%]	20.
	9は36の何%	9[÷]36[%]	25.
割増 割引	200の10%増しは?	200[+]10[%] (または200[×]10[%][+][=])	220.
	500の20%引きは?	500[−]20[%] (または500[×]20[%][−][=])	400.
べき乗	$4^6=(4^3)^2$=	4[×][=][=][×][=]	4'096.
ルート計算	$\sqrt{25-9}$ =	25[−]9[=][√]	4.
逆数計算	1/8=	8[÷][=]	0.125
税込計算 税抜計算	25000円の 税込額(10%)	25000[税込]	税込 27'500.
	税額(10%)	[税込]	税額 2'500.
	税込額が12650円と550円の合計額	12650[+]550[=]	13'200.
	税抜額(10%)	[税抜]	税抜 12'000.
	税額(10%)	[税抜]	税額 1'200.
メモリー計算	(累計)	計算の前にメモリーを消去します ↳[R·CM][R·CM]	※
	25× 5=	25[×] 5[M+]	M 125.
	−) 84÷ 3=	84[÷] 3[M−]	M 28.
	+) 68+17=	68[+]17[M+]	M 85.
	(計)=	[R·CM]	M 182.
	(定数記憶)	[R·CM][R·CM]	
		12[+]14[M+]	M 26.
	135×(12+14)=	135[×][R·CM][=]	M 3'510.

※メモリーに0以外の数値が入ると、“M”が表示されます。

［M＋］、［M－］は［＝］の働きもかねています。

消費税率を変更する

消費税率の変更があったときに行います。

1. 電卓画面で［税率設定］にタッチします。消費税率を設定する画面が表示されます。
2. 税率を入力し［決定］を押して設定します。
    ・ 小数点を数えずに、4桁の範囲で設定できます。

通貨換算をする

通貨のレートを設定する

4種類の通貨レートが設定できます。

1. ［ホーム］を押し、「アクセサリー」－「ツール」－「電卓/便利計算」を選びます。
    電卓/便利計算の機能選択画面が表示されます。
2. 「通貨換算」にタッチします。
    画面は「通貨①」～「通貨④」の4画面あり、［レート切替］をタッチして切り替えます。
3. ［レート設定］にタッチします。
    通貨・レート設定画面が表示されます。
4. 通貨名と通貨レートを入力します。
    ＊ 通貨名の入力は、4文字以内の英大文字で通貨名を入力します。左右の入力項目は［◀］、［▶］でカーソルを移動させて選びます。
    ＊ 「通貨1」の通貨名の欄には、あらかじめ左側に「USD」（米ドル）、右側に「YEN」（円）が入力されています。

＊ 通貨・レートの入力は小数点を数えずに、10桁の範囲で入力できます。
＊ 設定内容を変更するときは、変更したい欄へカーソルを移し、［削除］にタッチして内容を消してから新しい内容を入力してください。

5. ［決定］を押します。通貨レートが設定されます。

通貨を換算する

事前に通貨レートを設定しておいてください。

1. 通貨換算画面で換算する金額（例：「19800」）を入力します。
2. ［レート切替］をタッチして換算する通貨（例：「通貨USD⇔YEN」）を選びます。
3. 例えば［換算→］をタッチして換算します。
・ ［換算→］で左の通貨から右の通貨へ、［←換算］で右の通貨から左の通貨へ換算します。換算された金額が表示されます。
＊ 入力は、例えば「2475×8=」のような計算をして入れることもできます。
＊ 別の金額を換算するときは、そのまま数値を入力するか、［C·CE］で数値を消してから、新たに入力します。

単位換算をする

単位換算機能で、長さや重さ、温度の単位を換算することができます。

1. ［ホーム］を押し、「アクセサリー」－「ツール」－「電卓/便利計算」を選びます。
　電卓/便利計算の機能選択画面が表示されます。
2. 「単位換算」にタッチします。
3. ［単位切替］をタッチして換算する単位（例：「feet⇔m」）を選びます。
4. 数値を入力します。
5. 「通貨を換算する」と同様の操作で単位を換算します。

＊ この製品では、次のような単位の換算ができます。

長さ1	inch（インチ） ⇔cm（センチメートル）
長さ2	feet（フィート） ⇔ m（メートル）
長さ3	yard（ヤード） ⇔ m（メートル）
長さ4	mile（マイル） ⇔ km（キロメートル）
重さ1	常用oz（オンス） ⇔ g（グラム）
重さ2	常用lb（ポンド） ⇔ kg（キログラム）
温度	℉（華氏） ⇔ ℃（摂氏）

＊ 上記単位の常用ポンド、常用オンスは、1ポンド＝16オンスになります。

年号計算をする

西暦593～2117年の間で西暦と和暦、干支などを調べることができます。

西暦や和暦の年数から調べる

1. ［ホーム］を押し、「アクセサリー」－「ツール」－「電卓/便利計算」を選びます。
　電卓/便利計算の機能選択画面が表示されます。

2. 「年号計算」にタッチします。
3. 年号など（例：「西暦」）を選び、年数の入力欄へ年数（例：「1850」）を入力します。該当する年から順番にリスト（一覧）表示されます。
4. “➡”マークを目的の年数へ移し、［決定］を押します。
　その年の詳細画面が表示されます。

和暦の読みから西暦を調べる

1. 上記画面の和暦読みの入力欄へ読み（例：「ぶんえい」）を入力します。
　入力した読みで始まる和暦が50音順にリスト（一覧）表示されます。
2. 上記手順4と同様の操作で、目的の和暦、目的の年を選んでいきます。

年齢計算をする

年齢や誕生年（生まれた年）、干支などが調べられます。

年齢を調べる

誕生年がわかっているとき、何歳になるのかを調べます。

1. ［🏠ホーム］を押し、「アクセサリー」－「ツール」－「電卓/便利計算」を選びます。
　電卓/便利計算の機能選択画面が表示されます。
2. 「年齢計算」にタッチします。
　年齢計算の機能選択画面が表示されます。
3. 「年齢を調べる」にタッチします。
　誕生年と現在年の入力画面が表示されます。

4. 年号など（例：「昭和」）を選び、誕生年入力欄へカーソルを移して生まれた年（例：「10」）を入力します。
5. ［▼］でカーソルを下段へ移して、年号など（例：「西暦」）を選び現在年（例：「2020」）を入力します。
6. ［決定］を押します。詳細画面に年齢が表示されます。

誕生年を調べる

年齢が分かっているとき、何年生まれかを調べます。

1. 年齢計算の機能選択画面で「誕生年を調べる」にタッチします。
　現在年と年齢の入力画面が表示されます。
2. 年号などを選び、現在年、年齢を入力して［決定］を押します。
　詳細画面に生まれた年が表示されます。

年齢になる年を調べる

誕生年がわかっているとき、ある年齢になるのが何年なのかを調べます。

1. 年齢計算の機能選択画面で「年齢になる年を調べる」にタッチします。
　誕生年と年齢の入力画面が表示されます。
2. 年号などを選び、誕生年、年齢を入力して［決定］を押します。
　詳細画面に、指定した年齢になる年が表示されます。

■手紙文を作成する

「手紙文作成」は、質問に答えていくだけで手紙の文例を作成することができます。実際に手紙を書くときには、作成した文例を参照しながら書くことができます。

1. 操作タッチキーの[ツール]にタッチし、ツールジャンプメニューから「手紙文作成」をタッチします。
   文例種類選択画面が表示されます。
2. 文例の種類、タイトルを選びます。
   質問が表示されます。
3. 答えを選び［決定］を押すと、次の質問が表示されますので、順番に答えていきます。※
   ※ 時候の挨拶文を選ぶ場合は、画面下に表示されるメッセージにしたがって［≫］、［≪］で採用する挨拶文を表示させ［決定］を押して採用します。
4. 最後の質問に対する答えの選択が終わると「作成終了しました」と表示した後、作成した文例が表示されます。

二参考二

● 質問を表示しているときや、作成が終了した直後では、［戻る］を押すと１つ前の質問に戻ります。
● 作成終了後、［シフト］［クリア］を押すと文例種類選択画面に戻ります。
● 文例の中の★マークで示された部分は、手紙を書くとき、ご自身の状況に合った内容に書き換えてください。

作成した手紙文（文例）の保存は

作成した文例は「履歴」として、最新のものから100件まで記憶されます。

・ 呼び出すときは手紙文作成の画面で、［履歴］を押して表示されるリスト（一覧）画面で、見たい文例のタイトルを選び［決定］を押します。
・ 手紙文の作成を中止するときは
手紙文作成中に［シフト］［クリア］を押したときや、他の機能を選択したときは、手紙文の作成中止確認画面が表示されます。このとき、［Y］を押すと手紙文の作成が中止されます。［N］を押すと、手紙文作成の画面に戻ります。

■付箋を使う

手書きでメモを書いて、付箋として画面に残すことができます。

付箋を作成する

1. 操作タッチキーの[ツール]にタッチし、ツールジャンプメニューから「付箋」をタッチします。新規入力画面が表示されます。
・既に付箋が作成されていて閉じて（非表示）いた場合は、既存の付箋が表示されます。その場合は、[設定]をタッチするとメニューが表示されますので、[編集]をタッチしてください。付箋が編集モードとなり、手書きでメモが記入できます。新しく付箋を作成する場合は、既にある付箋の［設定]をタッチし、表示されたメニューで［新規］をタッチします。
2. [設定]をタッチするとメニューが表示されペンサイズの選択、消しゴムの選択、メモ消去ができます。
3. 編集が終了したら[登録]をタッチします。

二参考二

● 付箋は画面上でドラッグすると移動できます。

● 付箋は最大10件まで登録可能です。ただし、空き容量がない場合は登録できません。

付箋を閉じる

1. [設定]をタッチし、メニューを表示します。
2. [閉じる]を選択し、[すべての付箋を閉じる]にタッチします。

※対象の付箋のみを閉じる場合は☒をタッチします。
※上記の操作を行うと、付箋を非表示にしますが、『付箋を表示する』の操作を行うと再度表示されます。データを削除する場合は、『付箋を削除する』の操作を行ってください。

付箋を表示する

1. [設定]をタッチし、メニューを表示します。
2. [すべての付箋を表示]をタッチします。
3. 非表示になっていたすべての付箋を表示します。

付箋を削除する

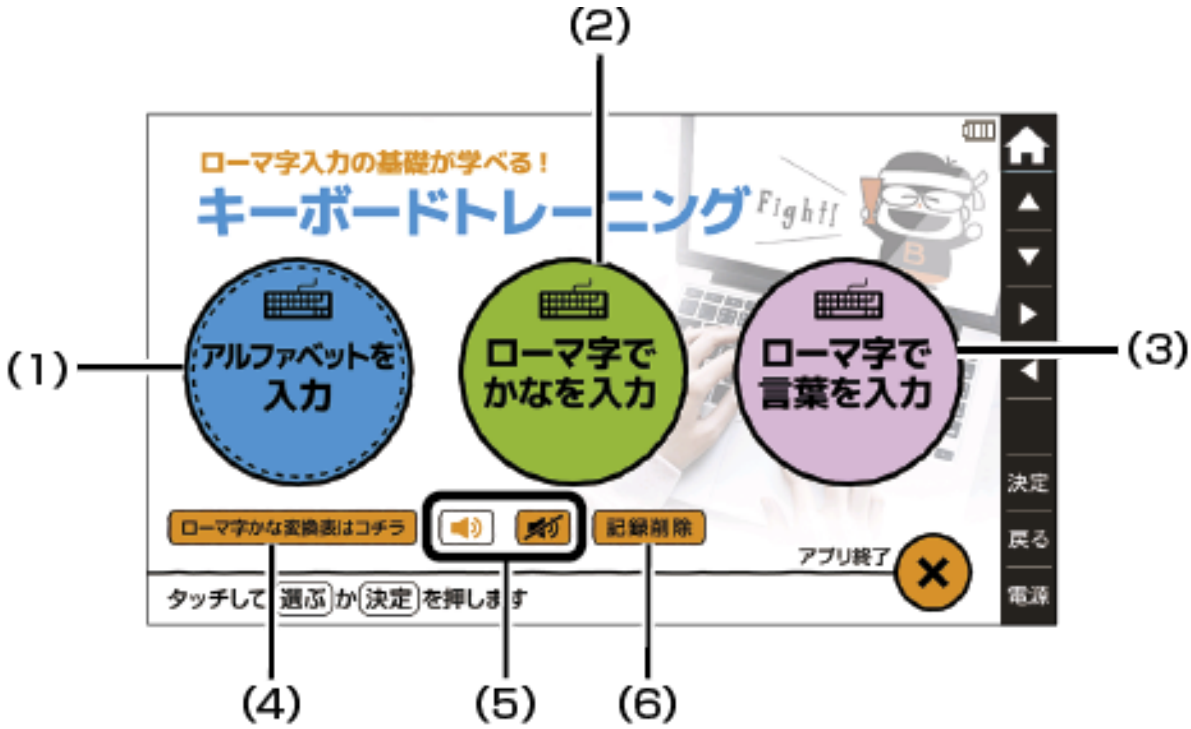
1. [設定]をタッチし、メニューを表示します。
2. [削除]を選択し、[この付箋を削除]にタッチします。

■キーボードトレーニングを使う

キーボードからの日本語入力（ローマ字かな入力）を練習できます。

操作タッチキーの[ツール]にタッチし、ツールジャンプメニューから「キーボードトレーニング」をタッチします。

メインメニュー画面が表示されます。



(1) アルファベットを入力：
キー配列を覚えるためのモードです。アルファベットを１文字ずつ入力します。
(2) ローマ字でかなを入力：
ローマ字でかなを入力する（例、KA→か）練習ができます。
(3) ローマ字で言葉を入力：
ローマ字で言葉（単語）を入力する（例、SYUKUDAI→しゅくだい【宿題】）練習ができます。
(4) ローマ字かな変換表はコチラ：
このツールの「ローマ字」から「かな」への変換はこの変換表にもとづいています。なお、本製品の検索入力は『ローマ字→かな変換表』を参照してください。
(5) 音声ON/OFF：正しいキーや誤ったキーが押されたとき、終了したときに音を鳴らすかどうか設定します。  表示のときは音が鳴ります。音を鳴らさないようにするときは 

にタッチして表示にしてください。音を鳴らすときは にタッチして表示にしてください。

(6) 記録削除：タイム（所要時間）などの記録をまとめて削除します。

二参考二

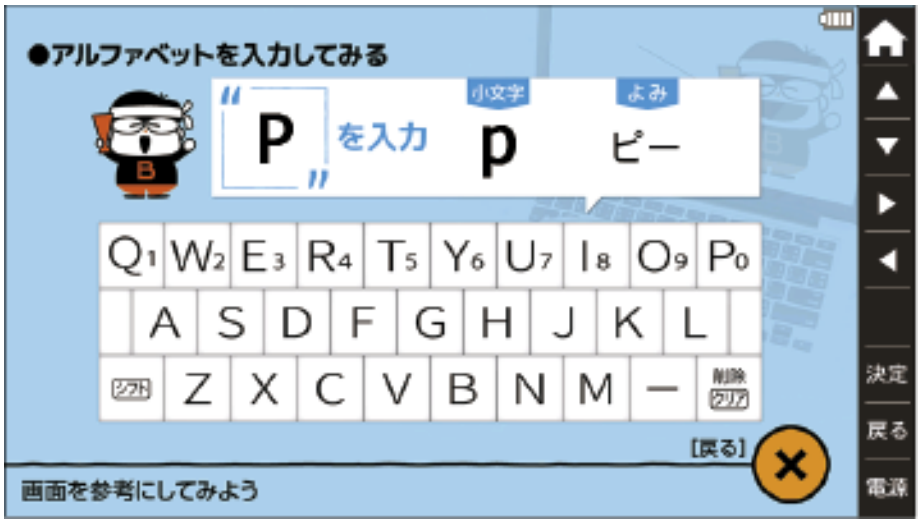
● キーボードトレーニングの問題では、使用頻度の高い語彙を抽出するために、国立国語研究所「現代日本語書き言葉均衡コーパス」(BCCWJ)を使用しています。

● キーボードトレーニングはキーボード操作方式（横表示）で使います。

アルファベットを入力する

1. メインメニュー画面から「アルファベットを入力」を選びます。

アルファベットの入力練習が開始します。



2. 表示されているアルファベットに対応するキーを押します。

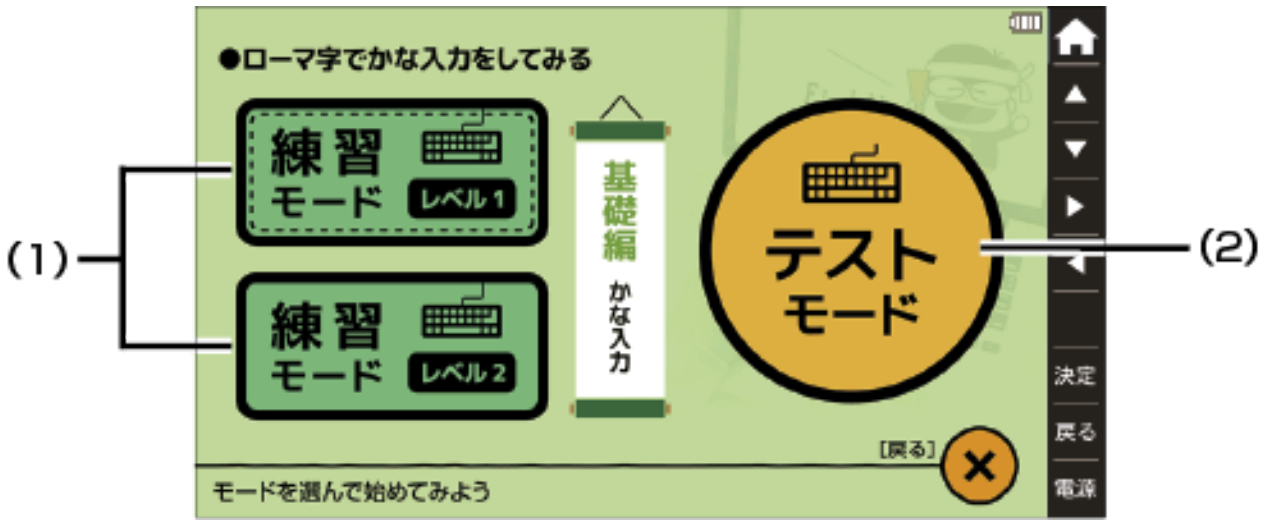
・ 押したキーの位置が、画面上で青く表示されます。

・ 正しいキーが押されたときは次の問題に移ります。
・ 誤ったキーが押されたときは同じ問題を繰り返します。
・ 問題表示後、５秒経過すると、ヒント（画面上で正しいキーの位置が赤く表示）が表示されます。
・ 問題はランダムに出題されます。

3. 全アルファベット（26文字）の練習が終わると、タイプミスの回数が表示されます。[戻る]を押すか、画面の⊗にタッチして終了してください。練習の途中でも終了できます。

ローマ字でかなを入力する

メインメニュー画面から「ローマ字でかなを入力」を選びます。選択メニュー画面が表示されます。

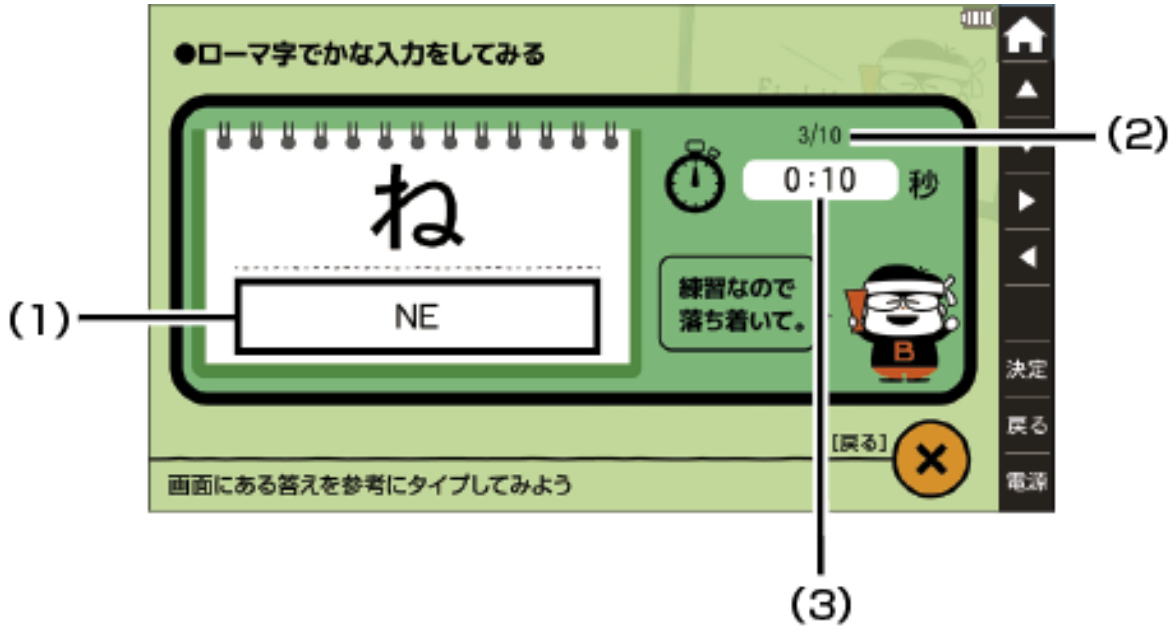


(1) 練習モード：
「かな」と対応するローマ字が表示されますので、入力確認しながら練習できます。問題はランダムに10問出題されます。レベル１とレベル２があります。
・ レベル1：ローマ字かな変換表の1文字のものから出題されます。

・ レベル2：ローマ字かな変換表の全体から出題されます。
※それぞれ出題範囲は、メインメニュー画面の「ローマ字かな変換表はコチラ」をタッチして参照してください。
(2) テストモード：
対応するローマ字が画面に表示されないので、正しいローマ字入力を覚えているどうか確認できます。問題はランダムに20問出題されます。

練習モード

1. 選択メニュー画面で「練習モード レベル1」または「練習モード レベル2」を選びます。
2. カウントダウンが終了すると問題が開始します。

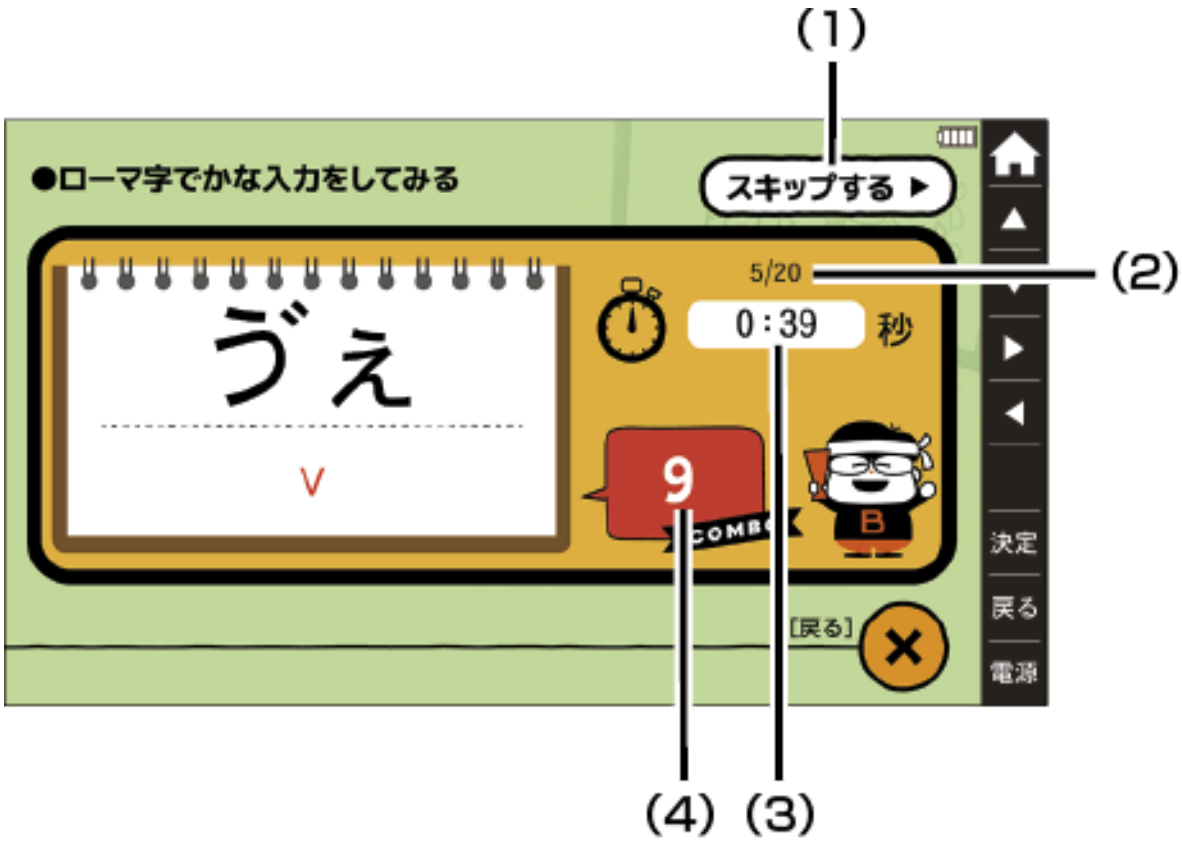


(1) ローマ字表示
(2) 何問目/問題数
(3) 経過時間（分：秒）

3. ローマ字表示を確認しながら、「かな」に対応するローマ字を押します。
    ・ 正しいキーが押されたときはそのアルファベットが赤色で表示されます。
    ・ 誤ったキーが押されたときはその問題の最初の文字から入れ直します。
    ・ その問題のアルファベット（ローマ字）がすべて正しく押されたときは次の問題へ移ります。
4. 10問終了すると終了画面が表示されます。
    ・ 正解率（誤りなくキー入力ができた問題の割合）、ベストタイムや過去3回のタイムが表示されます。
    ・ もう一度練習するときは「もう一回」をタッチします。
    ・ 終了するときは画面の「終了する」や⊗にタッチするか、[戻る]を押して終了してください。練習モードの途中でも⊗や[戻る]で終了できます（ただしタイムは記録されません）。

テストモード

1. 選択メニュー画面で「テストモード」を選びます。
2. カウントダウンが終了すると問題が開始します。



(1) 表示されている問題をスキップできます。ただしタイムは記録されません。
(2) 何問目/問題数
(3) 経過時間（分：秒）
(4) 連続正解タイピング数が表示されます（5以上のとき）。誤ったキーが押されたらリセットされます。

3. 表示されている「かな」に対応するローマ字を押します。
・ 正しいキーが押されたときはそのアルファベットが赤色で表示されます。
・ 誤ったキーが押されたときはその問題の最初の文字から入れ直します。
・ その問題のアルファベット（ローマ字）がすべて正しく押されたときは次の問題へ移ります。

・ わからないときは「スキップする」にタッチしてください。正解が表示されます。「次の問題へ」にタッチして次の問題へ移ってください。

4. 20問終了すると終了画面が表示されます。

・ 最高COMBO数（連続正解タイピング数の最高値）、正解率（誤りなくキー入力ができた問題の割合）、ベストタイムや過去3回のタイムが表示されます。（ただしスキップしたときはタイムは記録されません）。

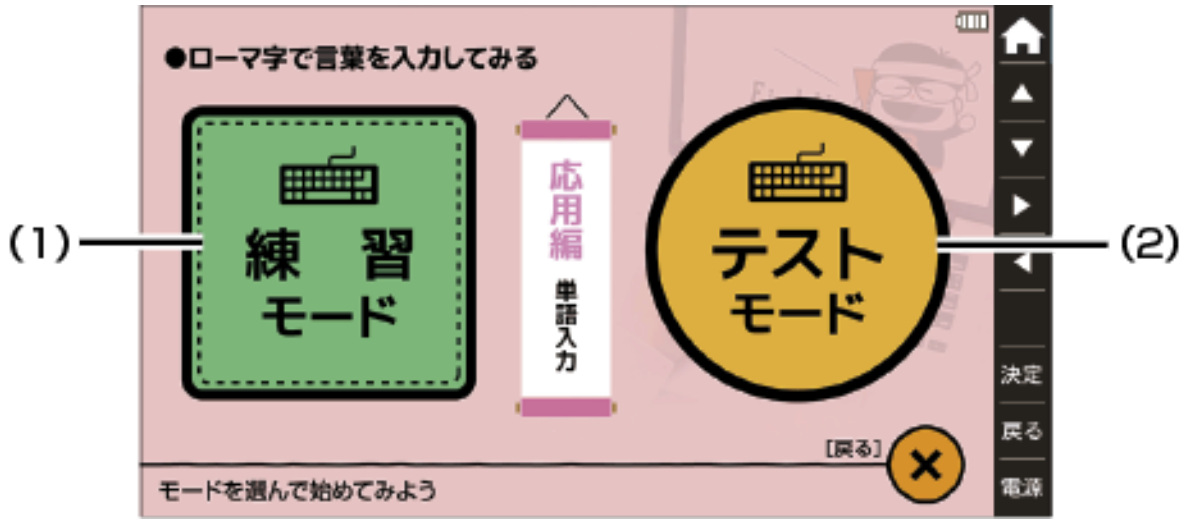
・ もう一度テストするときは「もう一回」をタッチします。

・ 終了するときは画面の「終了する」や⊗にタッチするか、[戻る]を押して終了してください。テストモードの途中でも⊗や[戻る]で終了できます（ただしタイムは記録されません）。

ローマ字で言葉を入力する

1. メインメニュー画面から「ローマ字で言葉を入力」を選びます。

選択メニュー画面が表示されます。



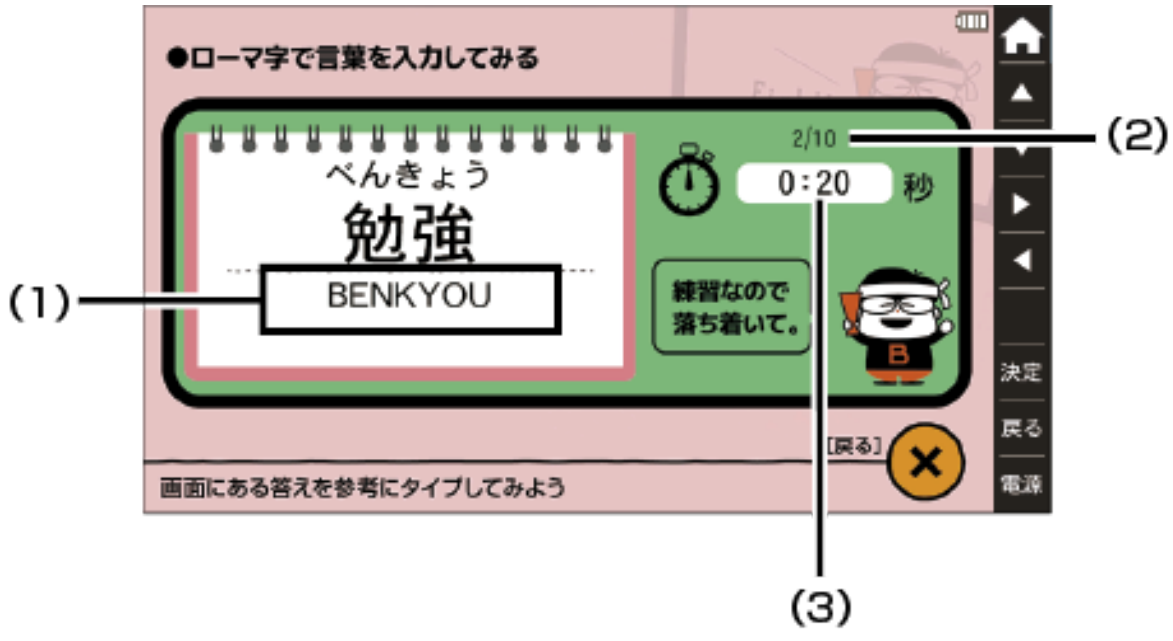
(1) 練習モード：
言葉（単語）とローマ字入力の正解例が表示されますので、入力確認しながら練習できます。問題はランダムに10問出題されます。
(2) テストモード：
ローマ字入力の正解例が画面に表示されないので、正しいローマ字入力を覚えているどうか確認できます。問題はランダムに20問出題されます。

二参考二

練習モードで表示されるローマ字は正解例です。たとえば、「つ」のときは「TU」と表示されますが「TSU」も正しく入力されます。

練習モード

1. 選択メニュー画面で「練習モード」を選びます。
2. カウントダウンが終了すると問題が開始します。

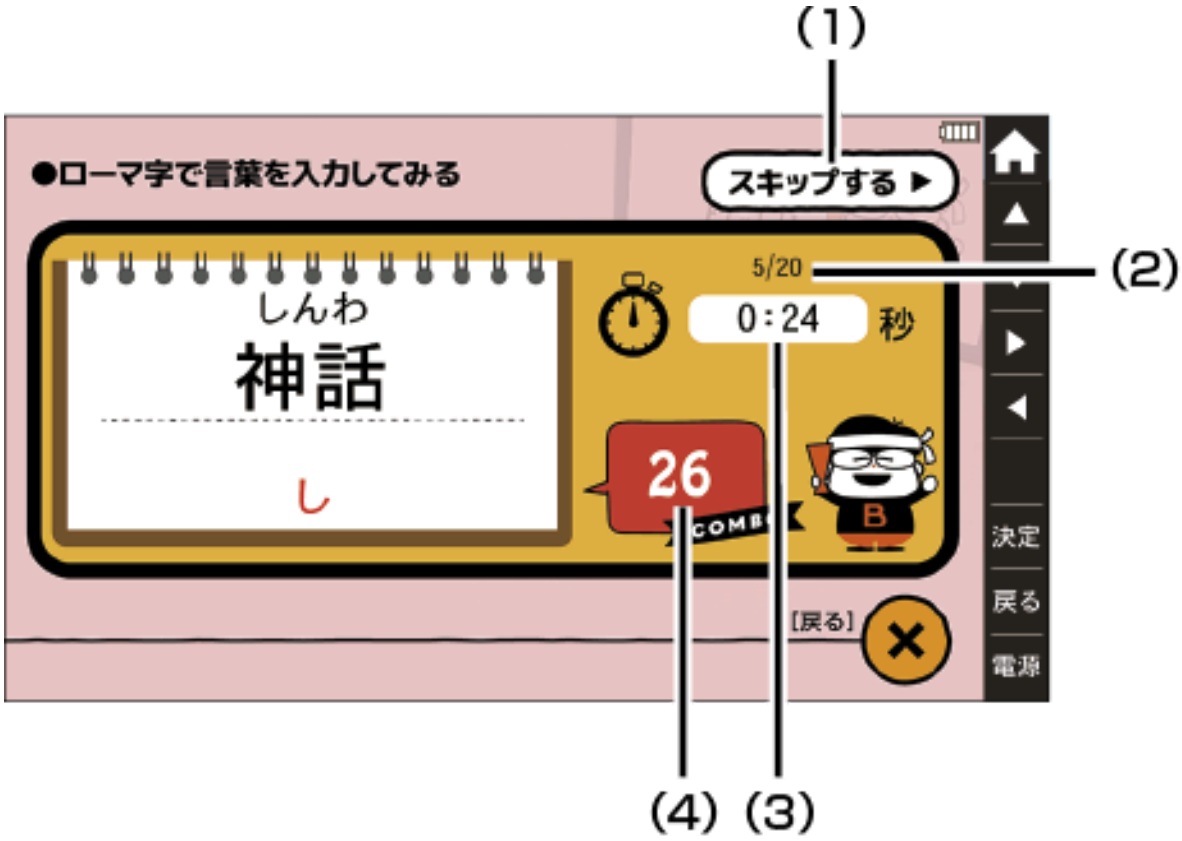


(1) ローマ字表示（正解例）
(2) 何問目/問題数
(3) 経過時間（分：秒）

3. 表示されている言葉に対応するローマ字を押します。
・ 正しいキーが押されたときはそれに対応する「かな」や「アルファベット」が赤色で表示されます。
・ 誤ったキーが押されたときは、その問題の最初の文字から入れ直します。
・ その問題の「かな」入力がすべて正しいときは次の問題へ移ります。
4. 10問終了すると終了画面が表示されます。
・ 正解率（誤りなくキー入力ができた問題の割合）、ベストタイムや過去3回のタイムが表示されます。
・ もう一度練習するときは「もう一回」をタッチします。
・ 終了するときは画面の「終了する」や⊗にタッチするか、[戻る]を押して終了してください。練習モードの途中でも⊗や[戻る]で終了できます（ただしタイムは記録されません）。

テストモード

1. 選択メニュー画面で「テストモード」を選びます。
2. カウントダウンが終了すると問題が開始します。



(1) 表示されている問題をスキップできます。ただしタイムは記録されません。
(2) 何問目/問題数
(3) 経過時間（分：秒）
(4) 連続正解タイピング数が表示されます（5以上のとき）。誤ったキーが押されたらリセットされます。

3. 表示されている言葉の「かな」に対応するローマ字を押します。

・ 正しいキーが押されたときはそれに対応する「かな」や「アルファベット」が赤色で表示されます。
・ 誤ったキーが押されたときはミス表示され、その問題の最初の文字から入れ直します。
・ その問題の「かな」がすべて正しく入力されたときは次の問題へ移ります。

・ わからないときは「スキップする」にタッチしてください。正解が表示されます。「次の問題へ」にタッチして次の問題へ移ってください。

4. 20問終了すると終了画面が表示されます。
・ 最高COMBO数（連続正解タイピング数の最高値）、正解率（誤りなくキー入力ができた問題の割合）、ベストタイムや過去3回のタイムが表示されます。（ただしスキップしたときはタイムは記録されません）。
・ もう一度テストするときは「もう一回」をタッチします。
・ 終了するときは画面の「終了する」やにタッチするか、[戻る]を押して終了してください。テストモードの途中でもや[戻る]で終了できます（ただしタイムは記録されません）。

設定

ここでは、使いやすく設定を変える方法を説明します。

1. ［ホーム］を押し、「設定」を選びます。
設定メニュー画面が表示されます。
2. ［≫］［≪］で画面を送り、画面タッチをするか、［▼］［▲］で各項目を選び［決定］を押します。
設定や切り替えなどを行う画面が表示されます。

以降、上記と同様の操作は、次のように説明します。
例：設定メニュー画面で「明るさ調整」を選びます。

二参考二

● 操作タッチキーの[設定]にタッチしても設定メニュー画面を表示できます。

● 設定メニュー画面右端の表示は、現在設定されている内容です。

● 設定メニュー画面からホーム画面に戻るときは［ホーム］を押します。

■ダイレクトキーの設定

[英和/和英]によく使う英和辞典を登録する

（初期状態では「ジーニアス英和大辞典」を登録しています）

1. 設定メニュー画面で「ダイレクトキー設定」-「英和辞典の登録」と選んで[決定]を押し英和辞典の選択画面を表示させます。
2. ［▼］［▲］で✓”を移動させてよく使う英和辞典（例えば「リーダーズ英和辞典＆リーダーズプラス」）を選び［決定］を押します。
「リーダーズ英和辞典＆リーダーズプラス」が登録され、ダイレクトキーの設定画面に戻ります。
3. [ホーム]、[戻る]などを押して終了します。

[My辞書]によく使うコンテンツを登録する

（初期状態では「OXFORD現代英英辞典」を登録しています）

1. 設定メニュー画面で「ダイレクトキー設定」－「My辞書の登録」を選んで［決定］を押し分類の選択画面を表示させます。

2. ［▲］、［▼］で選択を移動させて分類を選び［決定］を押し、コンテンツの選択画面を表示させます。
3. ［▼］、［▲］、で選択を移動させてよく使うコンテンツを選び[決定]を押します。
選んだコンテンツが登録され、ダイレクトキーの設定画面に戻ります。
4. ［ホーム］、［戻る］などを押して終了します。

■一括検索対象コンテンツ設定

一括検索の対象となるコンテンツを選択して、調べたいコンテンツを絞り込むことができます。

1. 設定メニュー画面で「一括検索対象コンテンツ設定」を選んで［決定］を押します。一括検索対象コンテンツの選択画面が表示されます。
2. 検索対象にしたいコンテンツにチェックマーク（✓）をつけます。チェックマークがついているコンテンツにタッチするとチェックが外れます。
3. [決定]を押して設定します。

■オープニング設定

［⏻］で電源を入れたときや、本体を開いて電源が入ったときに一定時間表示される画面（オープニング画面）を設定します。
（初期状態では「表示なし」に設定しています。）

「オートデモ」
　商品紹介を表示します。

「写真」

カード内、または本体内のメモリーにフォトスライドで表示できる画像がある場合に、その中の１枚を設定して表示させます。

※画面の設定方法は『フォトスライドで写真を見る』をご覧ください。画面を設定すると、その画面データが本体に保存され、カードがなくても表示できるようになります。なお、保存される画面データは1枚のみです。

「表示なし」

オープニング画面は表示しません。

「所有者情報」

登録した所有者情報を表示します。※所有者情報の登録方法は『所有者情報設定』をご覧ください。

1. 設定メニュー画面で「オープニング設定」を選んで［決定］を押しオープニング設定の選択画面を表示させます。

初期状態では「表示なし」になっています。

2. ［▼］、［▲］で“✓”を移動させてオープニングの設定を選び［決定］を押します。

・「オートデモ」を選んだ場合は、オートデモ（商品紹介）が始まります。

・「オートデモ」以外を選んだ場合は、設定メニュー画面に戻ります。

オープニング画面を停止してコンテンツを使いたいときは

オープニング画面表示中に［決定］など、いずれかのキーを押します。

オープニング画面を表示しないようにするには

手順2.で「表示なし」を選んで［決定］を押します。

オープニング画面表示用の写真データを削除するには

1. ［ホーム］を押して、「設定」を選びます。
2. ［▼］、［▲］で「ユーザーデータ削除」を選び［決定］を押します。
3. ［▼］、［▲］で「オープニング写真削除」を選び［決定］を押します。
4. 削除の確認画面が表示されるので［Y］を押します。

オープニング画面表示用として本体に保存されていた写真データが削除されます。オリジナルの写真データは削除されません。
（オープニング設定は「表示なし」になります。）

★注意★

● 「オートデモ」に設定してmicroUSBケーブルでパソコンやACアダプターに接続している場合、［⏻］で電源を切っても自動的に電源が入って商品紹介を行います。
電源を切るときは、microUSBケーブルを取り外してください。
● 「オートデモ」に設定しているときは所有者情報の設定ができません。

■ホーム背景設定

ホーム画面の背景に表示する内容を設定します。
（初期状態では「背景1(名前表示なし)」に設定しています。）

「背景1(名前表示なし)」

「背景2(名前表示なし)」
「背景3(名前表示なし)」
プリインストール済みの写真（画像）を表示させることができます。背景1～3まで３枚あります。
「背景1(名前表示あり)」
「背景2(名前表示あり)」
「背景3(名前表示あり)」
名前を登録している場合に選択可能になります。プリインストール済みの写真上に登録した名前を表示します。※名前の登録方法は『所有者情報設定』をご覧ください。
「写真(名前表示なし)」
任意の写真を１枚表示させることもできます。任意の写真は、カード内、または本体内のメモリーにフォトスライドで表示できる写真や図があるときに、その中の１枚を設定できます。
※任意の写真の設定については『フォトスライドで写真を見る』をご覧ください。設定すると、その画面データが本体に保存され、カードがなくても表示できるようになります。なお、保存される画面データは1 枚のみです。
「写真(名前表示あり)」
名前を登録している場合に選択可能になります。任意の写真上に登録した名前を表示します。※名前の登録方法は『所有者情報設定』をご覧ください。

1. 設定メニュー画面で「ホーム背景設定」を選んで［決定］を押しホーム背景設定の選択画面を表示させます。
初期状態では「背景1(名前表示なし)」になっています。

2. ［▼］、［▲］で“✓”を移動させてホーム背景の設定を選び［決定］を押します。

二参考二

● 写真の表示は、ホーム画面の背景エリア（固定）です。
● 写真は画面横幅に合わせて表示されますので、写真の一部が表示されないことがあります。

ホーム背景表示用の写真データを削除するには

1. ［ホーム］を押して、「設定」を選びます。
2. ［▼］、［▲］で「ユーザーデータ削除」を選び［決定］を押します。
3. ［▼］、［▲］で「ホーム背景写真削除」を選び［決定］を押します。
4. 削除の確認画面が表示されるので［Y］を押します。

ホーム背景表示用として本体に保存されていた写真データが削除されます。オリジナルの写真データは削除されません。
（ホーム画面の背景にその写真が表示されなくなります。）

■所有者情報設定

名前、写真（顔写真など）やメモ（学校名、会社名など）を、所有者情報として、登録できます。
登録した所有者情報は、他人が変更や消去できないように暗証番号（パスワード）で保護されます。
また、電源を入れたときのオープニング画面として所有者情報を表示させることや、ホーム画面の背景に名前を表示させることもできます。

★注意★

● 暗証番号は所有者情報の保護用であり、電子辞書本体を保護（ロック）するものではありません。

● オープニング設定を「オートデモ」にしているときは所有者情報の設定ができません。

暗証番号と所有者情報を登録する

1. 設定メニュー画面で「所有者情報設定」を選んで［決定］を押し、所有者情報設定画面を表示させます。



2. [決定]を押して暗証番号の新規設定画面を表示します。

3. 数字8桁以内で暗証番号（例えば“01234567”）を入力して［決定］を押します。

4. 所有者情報の入力画面が表示され、「名前」の入力欄にカーソルが表示されます。

　この画面で、名前などの所有者情報を入力します。



入力欄左の「日」「英」「数」にタッチして入力モードを指定します。

日·英·数：日本語を入力します。漢にタッチして漢に変えると、かな漢字変換を使って漢字が入力できます。※

日·英·数：アルファベットを入力します。[シフト]を押しながら入力すると大文字が入力できます。

日·英·数：数字をキーボードから入力します。

※姓名など日本語の漢字を入力するときやカタカナを入力するときは、操作タッチキーの[手書き]にタッチして手書き入力すると便利です。

5. 写真を登録するときは、［▲］を押して写真枠を選択し[決定]を押してください。写真データのフォルダ選択画面になりますので、microSDメモリーカードや本体メモリーの写真データを選択してください。

・表示できる写真（画像）データの形式などは『フォトスライドで写真を見る』を参照してください。

6. 登録したい情報があれば［▼］［▲］を押してカーソルを移動させ、「メモ１」～「メモ３」に入力します。

7. ［決定］を押すと暗証番号と所有者情報が登録されます。

★注意★

● 一部の漢字は入力できません。

● 暗証番号を忘れると、所有者情報の変更や削除ができなくなります。

暗証番号は、必ず紙などに控え、他の人に見られない所に保管してください。誕生日や電話番号など、他の人に知られやすい番号は避けてください。

● 暗証番号と所有者情報は本体を初期化してもリセットされません。

なお、弊社では暗証番号の解除のご依頼をお受けすることはできません。

登録した所有者情報をオープニング画面に表示する

登録した所有者情報をオープニング画面に表示させるには、オープニング設定で「所有者情報」を選びます。（『オープニング設定』を参照）

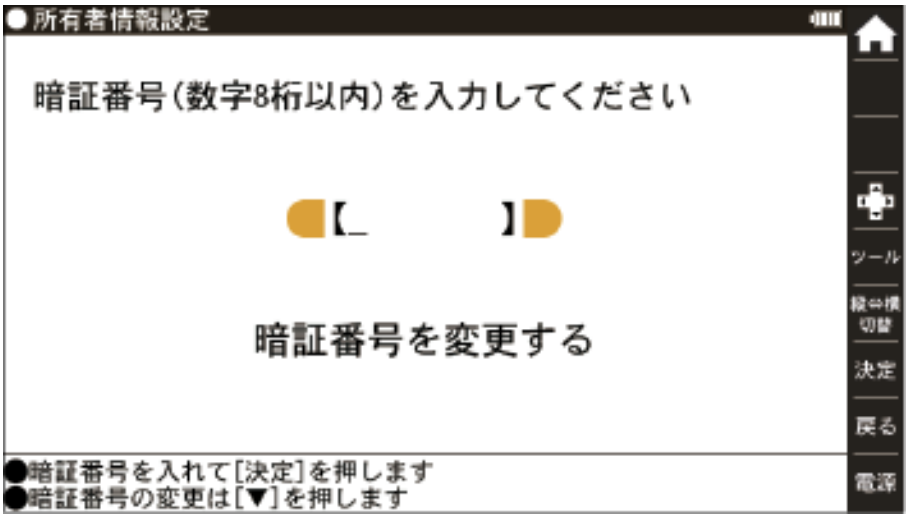
登録した名前をホーム背景に表示する

登録した名前をホーム背景に表示させるには、ホーム背景設定で「～（名前表示あり）」を選びます。（『ホーム背景設定』を参照）

登録した暗証番号を変更する

1. 設定メニュー画面で「所有者情報設定」を選んで［決定］を押し所有者情報設定画面を表示させます。

2. 「変更する」を選んで[決定]を押し暗証番号の入力画面を表示します。



3. ［▼］でカーソルを「暗証番号を変更する」に移動し［決定］を押し暗証番号変更画面を表示させます。
4. 現在登録されている暗証番号を入力し、［▼］でカーソルを「新しい暗証番号」欄に移動し数字8桁以内で新しい暗証番号（例えば“76543210”）を入力します。
5. ［決定］を押すと新しい暗証番号が登録されます。

登録した所有者情報を変更する

1. 設定メニュー画面で「所有者情報設定」を選んで［決定］を押します。
2. 「変更する」を選んで[決定]を押し暗証番号の入力画面を表示します。
3. 暗証番号を入力し[決定]を押します。所有者情報の入力画面が表示されます。
4. 内容を変更し［決定］を押すと登録されます。

登録した暗証番号、所有者情報を削除する

1. 設定メニュー画面で「所有者情報設定」を選んで［決定］を押します。

2. [▶]でカーソルを「削除する」に移動し［決定］を押し暗証番号の入力画面を表示します。
3. 暗証番号を入力し[決定]を押します。削除の確認画面が表示されます。
4. ［Y］を押すと登録した暗証番号、所有者情報が削除されます。

■オートパワーオフ時間設定

キー操作またはタッチ操作がないとき、自動的に電源が切れる時間を設定します。
（初期状態では「5分後」に設定しています。）

1. 設定メニュー画面で「オートパワーオフ時間設定」を選んで［決定］を押しオートパワーオフ時間の選択画面を表示させます。
2. ［▼］［▲］で“✓”を移動させて時間を選び［決定］を押します。
オートパワーオフ時間が設定され、設定メニュー画面に戻ります。

■明るさ調整

表示画面の明るさを調整します。
（初期状態では「明るさ３」に設定しています。）

1. 設定メニュー画面で「明るさ調整」を選んで［決定］を押し明るさ調整画面を表示させます。
2. ［◀］［▶］か数字で明るさを選び［決定］を押します。
明るさが設定され、設定メニュー画面に戻ります。

■減光時間設定

減光時間を設定します。
（初期状態では「３０秒」に設定しています。）

1. 設定メニュー画面で「減光時間設定」を選んで［決定］を押し減光時間設定画面を表示させます。
2. ［▼］［▲］で“✓”を移動させて減光時間を選び［決定］を押します。
減光時間が設定され、設定メニュー画面に戻ります。

■プレビュー設定

プレビュー表示の入／切および表示位置を設定します。
（初期状態では「入(リスト画面で右に表示)」に設定しています。）

1. 設定メニュー画面で「プレビュー設定」を選んで［決定］を押しプレビュー設定画面を表示させます。
2. ［▼］［▲］で“✓”を移動させてプレビュー設定を選び［決定］を押します。
プレビューが設定され、設定メニュー画面に戻ります。

■フォント設定

フォントを設定します。
（初期状態では「ゴシック体」に設定しています。）

1. 設定メニュー画面で「フォント設定」を選んで［決定］を押しフォント設定画面を表示させます。
2. ［▼］［▲］で“✓”を移動させてフォントを選び［決定］を押します。
フォントが設定され、設定メニュー画面に戻ります。

二参考二

コンテンツによっては当設定にかかわらず、既定のフォントで表示されます。

■表示方向切替設定

本体の形状と画面の表示方向を連動させるかどうか設定します。（初期状態では「連動する」に設定しています。）

「連動する」
本体が調べるスタイル（キーボード操作方式））のときは画面表示が横表示になり、学習スタイル（タッチ操作方式）のときは画面表示が縦表示になります。※
※一部の画面では横表示のみです。

「連動しない」
学習スタイル（タッチ操作方式）のときも横表示のままです。

1. 設定メニュー画面で「表示方向切替設定」を選んで［決定］を押し表示方向切替の設定画面を表示させます。
2. ［▼］［▲］で“✓”を移動させて表示方向切替を設定し［決定］を押します。
表示方向切替が設定され、設定メニュー画面に戻ります。

二参考二

手動で縦横表示を切り替えることができます。『縦横表示切替について』を参照してください。

■学習スタイル時の動作設定

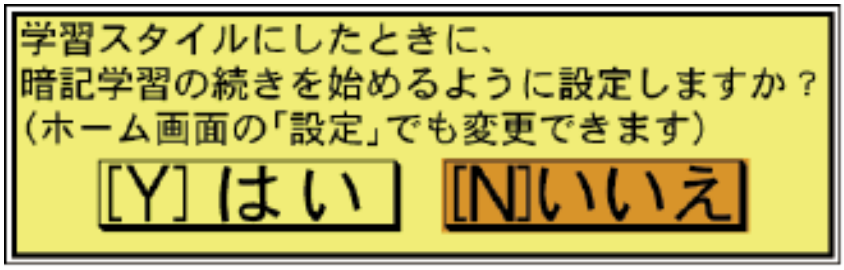
本体を調べるスタイル（キーボード操作方式)から学習スタイル（タッチ操作方式)にしたとき、現在表示されている内容ではなく、自動単語帳での学習を開始するか設定します。
（初期状態では「開始しない」に設定しています。）

1. 設定メニュー画面で「学習スタイル時の動作設定」を選んで［決定］を押し選択画面を表示させます。
2. ［▼］［▲］で“✓”を移動させて［決定］を押します。

学習スタイル時の動作が設定され、設定メニュー画面に戻ります。

二参考二

自動単語帳の初回選択時に、次の確認画面が表示されます。（初回選択前に「学習スタイル時の動作設定」画面を表示した場合を除く。）



この画面で[Y]を押すと、「学習スタイル時の動作設定」が「開始する」に変更されます。[N]または[戻る]を押すと設定は「開

始しない」のままで変更されません。

■ １日の学習目標設定

自動単語帳の毎日の学習目標を設定します。
（初期状態では「10問」に設定しています。）
設定した目標を達成するために、あと何問（何語）学習が必要か、進捗確認のときに表示されます。

1. 設定メニュー画面で「１日の学習目標設定」を選んで［決定］を押し選択画面を表示させます。
2. ［▼］［▲］で“✓”を移動させて［決定］を押します。
１日の学習目標が設定され、設定メニュー画面に戻ります。

二参考二

● Brain Learning画面の「進捗を見る」から自動単語帳の進捗を確認できます。
● 自動単語帳の使いかたは『自動単語帳を使う』を参照してください。

■ 音声再生速度設定

音声再生速度を設定します。
（初期状態では「標準」に設定しています。）

1. 設定メニュー画面で「音声再生速度設定」を選んで［決定］を押し音声再生速度の設定画面を表示させます。
2. ［▼］［▲］で“✓”を移動させて音声再生速度を設定し［決定］を押します。

音声再生速度が設定され、設定メニュー画面に戻ります。

二参考二

この音声再生速度の設定は、大辞林のクラシック音楽や鳥の鳴き声などにも適用されます。

■音量設定

音量を設定します。
（初期状態では「音量５」に設定しています。）

1. 設定メニュー画面で「音量設定」を選んで［決定］を押し音量設定画面を表示させます。
2. ［◀］［▶］か数字で音量を選び［決定］を押します。
音量が設定され、設定メニュー画面に戻ります。

二参考二

［シフト］［🔊+］、［シフト］［🔉ー］を押して音量を調整することもできます。

■マイク調整

マイク音量を調整します。
（初期状態では「５」に設定しています。）

1. 設定メニュー画面で「マイク調整」を選んで［決定］を押しマイク調整画面を表示させます。
2. ［◀］［▶］か数字でマイク音量を選び［決定］を押します。

マイク音量が設定され、設定メニュー画面に戻ります。

★注意★

●マイクに向かって発音してください。
●マイクを手などでふさがないでください。

■ユーザーデータ削除

単語帳削除、履歴/しおり削除、マーカー削除、手書き暗記メモ削除、自動単語帳進捗（数）削除、自動単語帳削除、オープニング写真削除、ホーム背景写真削除について、それぞれの機能の中で説明していますので参照してください。

■タッチパッド調整

タッチパッドは、ボタンなどが表示される位置と、実際にタッチしたと認識される位置がずれる場合があり、このずれが小さくなるように調整します。

1. 設定メニュー画面で「タッチパッド調整」を選んで［決定］を押しタッチパッドの調整画面を表示させます。左上に“＋”マークが表示されます。
2. 付属のタッチペンで、“＋”マークの中心（線の交点）に正確にタッチします。１秒以上タッチして離すと別の所に“＋”マークが表示されるので同様にします。“＋”マークは4カ所に表示されます。

調整が終わると設定メニュー画面に戻ります。

■日付と時刻の設定

1. 設定メニュー画面で「日付と時刻の設定」を選んで［決定］を押し日付と時刻の設定画面を表示させます。
2. 日付、時刻を入力します。
　例えば、2020年4月22日午後12時5分（お昼の12時5分）を入力する場合の操作
　20 04 22……年、月、日入力
　12 05……時、分入力
　［▶］（［◀］）……AM（午前）、PM（午後）選択
　・ 数字はキーボードで入力します。
　カーソルの移動は［◀］ ［▲］ ［▼］ ［▶］ で行います。
3. ［決定］を押すと日付と時刻が登録され、設定メニュー画面に戻ります。

二参考二

設定できる範囲は次のとおりです。
日付：2000年1月1日～2099年12月31日
時刻：AM（午前）12時00分～AM（午前）11時59分
PM（午後）12時00分～PM（午後）11時59分
これらの範囲外の入力、あるいは「４月31日」など、存在しない日付の入力をした場合、手順3の操作で「入力に誤りがあります」とメッセージが表示されますので、入力内容を確認してください。

■充電開始音設定

（初期状態では「入」に設定しています。）

1. 設定メニュー画面で「充電開始音設定」を選んで［決定］を押し充電開始音の設定画面を表示させます。

2. ［▼］［▲］で“✓”を移動させて充電開始音を設定し［決定］を押します。
（入：音を鳴らす、切：音を鳴らさない）
充電開始音が設定され、設定メニュー画面に戻ります。

二参考二

充電開始音の音量は、音量設定に従います。

■ユーザーデータバックアップ

コンテンツの履歴や単語帳などのデータを市販のmicroSDメモリーカードに保存することができます。保存したデータはその電子辞書本体に戻す（復元する）ことができます。
定期的にバックアップすることをおすすめします。

★注意★

● バックアップすると、microSDメモリーカードに保存されている以前のバックアップデータは削除され、新たにバックアップデータが作成されます。
● バックアップやデータの復元中は、電源を切ったり、リセット操作をしたり、ACアダプターを外したり、microSDメモリーカードを取り外したりしないでください。データが壊れたり、電子辞書が故障する恐れがあります。

カードにバックアップする

1. 市販のmicroSDメモリーカードを本体に取り付けます。取り付けかたは、『カードの取り付け/取り外し』を参照してください。

2. 電子辞書本体にACアダプターを接続します。接続のしかたは『充電をする』を参照してください。
3. 設定メニュー画面で「ユーザーデータバックアップ」を選んで［決定］を押します。
4. 選択画面から「カードにバックアップする」を選択して[決定]を押します。
5. [Y]を押すとバックアップが始まります。
6. バックアップが終了すると「カードへの保存が完了しました」と表示されます。
[戻る]を押すと選択画面に戻ります。

二参考二

- バックアップされるデータは次のようなデータです。
  履歴、単語帳、テストの学習記録、ノートやボイスメモなどツールで保存した内容、手書き暗記メモ
- バックアップファイルはパソコンなどで内容を確認したり編集したりすることはできません。
- 所有者情報・暗証番号はバックアップされません。

カードからバックアップデータを戻す

1. 市販のmicroSDメモリーカードを本体に取り付けます。取り付けかたは、『カードの取り付け/取り外し』を参照してください。
2. 電子辞書本体にACアダプターを接続します。接続のしかたは『充電をする』を参照してください。
3. 設定メニュー画面で「ユーザーデータバックアップ」を選んで［決定］を押します。

4. 選択画面から「カードからバックアップデータを戻す」を選択して[決定]を押します。
5. [Y]を押すとデータの復元が始まります。
バックアップしていた内容で本体に保存している履歴や単語帳などのデータが上書きされます。
6. データの復元が終了すると「データの復元が完了しました」と表示され、[決定]を押すと（または30秒後に自動的に）リセットされます。

★注意★
データの復元を実行すると、電子辞書本体に保存されていた履歴、単語帳、テストの学習記録、ノートやボイスメモなどツールで保存した内容、手書き暗記メモなどのデータが削除され、microSDメモリーカードにバックアップされていたデータで上書きされます。なお、所有者情報・暗証番号は上書きされません（バックアップの対象データではないため）。

■アップデート確認
ホーム画面の「設定」から設定メニュー画面を表示し、「アップデート確認」を選んで［決定］を押してください。本体ソフトウェアのバージョンやアップデート手順を確認できます。

二参考二
● ソフトウェアのアップデートが必要な場合には、弊社電子辞書サポート・お問い合わせサイトにてアップデート手順などをお知らせいたします。
https://jp.sharp/support/dictionary/

● 操作タッチキーの[設定]からは選択できません。

カードやパソコンを使う

■カードの取り付け/取り外し

本製品は、市販のmicroSDメモリーカードを使用することができます。下記内容をお読みいただき正しくご使用ください。

・ 本説明書での「カード」は「microSDメモリーカード」を示します。

★注意★

● カードの取り付け、取り外しは［ホーム］を押してホーム画面になったことを確認してから行ってください。他の状態で行うと未登録のデータやカードのデータが消える、動作しなくなるなどの異常が発生することがあります。

● 立て続けにカードの取り付け／取り外し操作を行わないでください。データが消えたり、故障したりすることがあります。

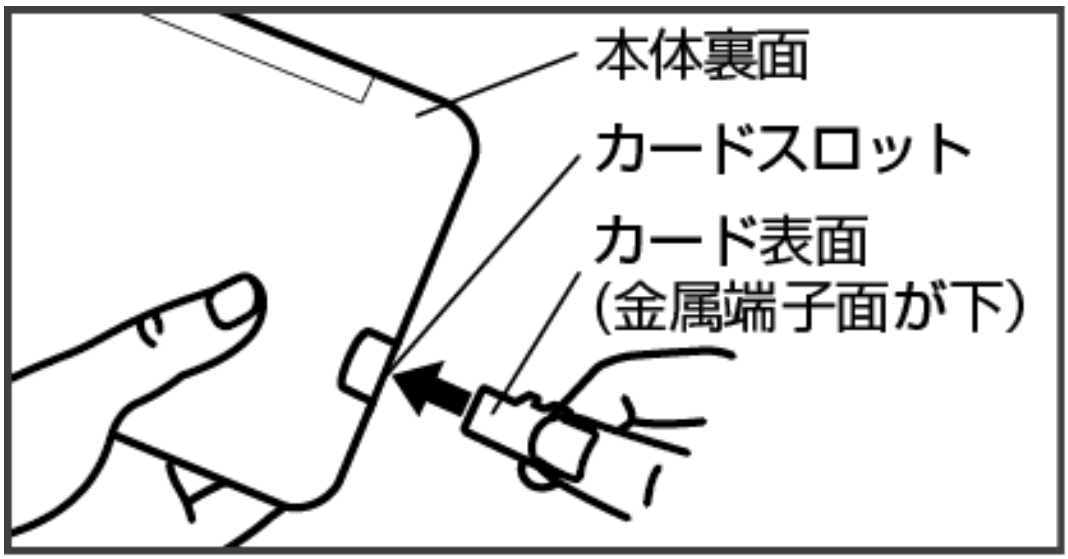
● カードに強い力を加えたり、金属端子に指などで触れたりしないでください。

● カードはまっすぐ挿入してください。斜めに傾けたまま無理やり挿入すると、破損の原因になります。また、カードの裏表や前後が逆の場合は入りませんので、無理やり押し込もうとしないでください。

カードを取り付ける

1. ［ホーム］を押してホーム画面にします。

2. 図のように本体を裏面に向けて、カードの金属端子面が下になるようにして、カードスロットに奥まで確実に差し込みます。



・ カードの裏表や前後を間違えないでください。間違えると、故障したりカードが取り出せなくなったりします。

二参考二

● カードの使用に関するメッセージについて

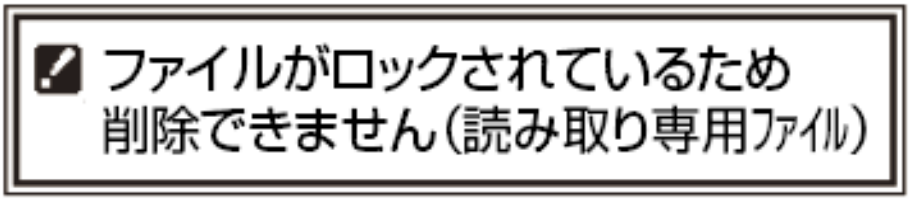


カードが装着されていません。前述の方法でカードを正しく装着してください。



この電子辞書で扱えないカード、データが壊れているなどで、この電子辞書で使用することができません。使用できる

カードを装着してください。



ファイルがロックされているため、削除できません。

● カードを取り付けて電源を入れてもすぐに電源が切れたり、「カードが入っていません」と表示されるときは、充電池の残量が少ない場合がありますので、充電してみてください。

カードを取り外す

1. ［ホーム］を押してホーム画面にします。
2. カードの端に指をかけてゆっくりと引き抜きます。

本製品で使用できるカードについて

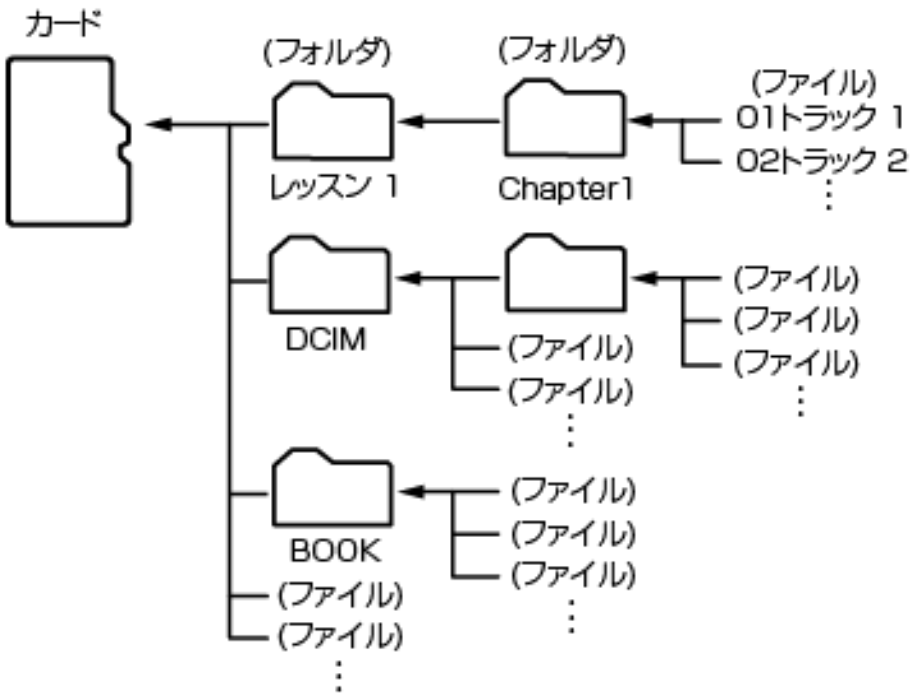
本製品では、microSDメモリーカードがご使用いただけます。ただし、使用できない場合がありますので、動作確認済みのカードを次のWebサイトでご確認ください。
https://jp.sharp/support/dictionary/

カードのフォーマット（初期化）について

カードのフォーマット（初期化）は、この電子辞書で行ってください。パソコンなどでフォーマットを行うと、カードが使えないことや、データの読み取りが通常より遅くなることがあります。

表示可能なファイル数とファイル名の長さについて

1. カード内のデータ（ファイル）が200件を超える場合は、フォルダを作って、200件以下に分割して入れてください。
　1カ所でデータが200件を超えると、超えたデータは表示されません。
2. ファイル名の長さは、一番上のフォルダからファイルまでの、フォルダ名やファイル名の文字数を加えた合計文字数が拡張子を含めて248文字以下になるようにしてください。また、数字、英字、全角ひらがな・カタカナ、漢字(JIS 第1・第2水準漢字)をお使いください。特殊な記号や文字は表示されません。
　・ フォルダ・ファイル構造



■データ共有機能を使う

複数の本体間で、「英作ボード スピーキングプラス」や自動単語帳のデータを共有できます。
データを共有することによって、「英作ボード スピーキングプラス」へのテキスト入力や、自動単語帳への単語登録の手間を省くことができます。

カード（microSDメモリーカード）やパソコンを使ってデータを共有します。

二参考二

● カードを使ってデータを共有するときは、市販のmicroSDメモリーカードが必要です。
動作確認済みのカードは次のWebサイトでご確認ください。
https://jp.sharp/support/dictionary/
● パソコンを使ってデータを共有するときは、付属のmicroUSBケーブルを使います。パソコンとの接続は『パソコンと接続する』を参照してください。

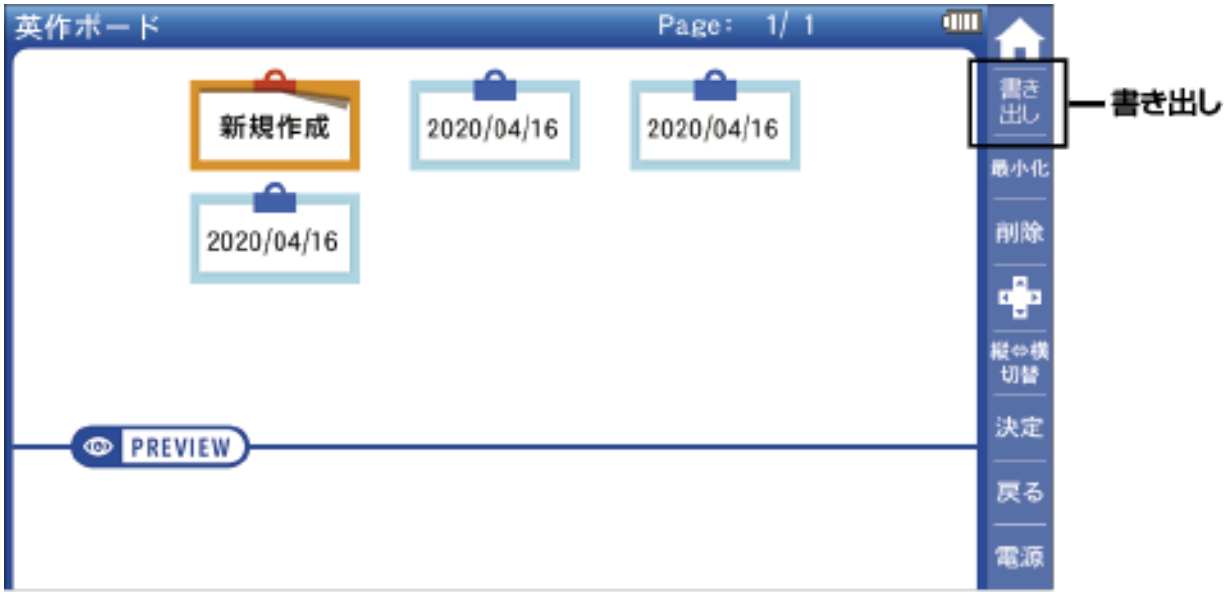
「英作ボード スピーキングプラス」のデータを共有する

【例】カードを使って、「英作ボード スピーキングプラス」のファイルを別の本体へ取り込む（コピーする）。

1. ［ホーム］を押してホーム画面にします。
2. 本体にカードを取り付けます。
    ・カードの取り付けは『カードの取り付け/取り外し』を参照してください。
3. 操作タッチキーの[ツール]から「英作ボード スピーキングプラス」をタッチして、「英作ボード スピーキングプラス」の入力画面を表示します。
4. 「リスト選択」にタッチします。



5. 操作タッチキーの「書き出し」にタッチします。



6. 書き出し対象のファイルをタッチして選択し（“✓”表示）、[書き出し実行]をタッチします。

・操作タッチキーからすべてのファイルを選択/解除できます。



7. 書き出し先を指定します。
    ・この例では、カードを使ってデータ共有しますので、「カード」をタッチします。
8. カード内に共有フォルダが生成され、「英作ボード スピーキングプラス」の選択したファイルが書き出されます。
9. カードを取り外して、別の本体に取り付けます。
    ・『カードの取り付け/取り外し』を参照してください。
10. カードを取り付けると、本体に取り込むかどうかの確認画面が表示されます。
11. [Y]を押して別の本体にデータを取り込みます。
    ・「英作ボード スピーキングプラス」の画面を表示して取り込まれたことを確認します。

二参考二

● パソコンを使って共有するときは、次の『自動単語帳のデータを共有する』の例で手順4～15を参照してください。「英作ボード スピーキングプラス」のときはリムーバブルディスク

（USBドライブ）の英作ボードフォルダをコピーして共有します。

● 取り込んだファイルは本体に追加されます。「英作ボード スピーキングプラス」にもともとあったファイルは消去されません。

● 上記手順8のときに、すでに共有フォルダがある場合は、共有フォルダ内のファイルが削除されてから書き込まれます（上書きされます）。

自動単語帳のデータを共有する

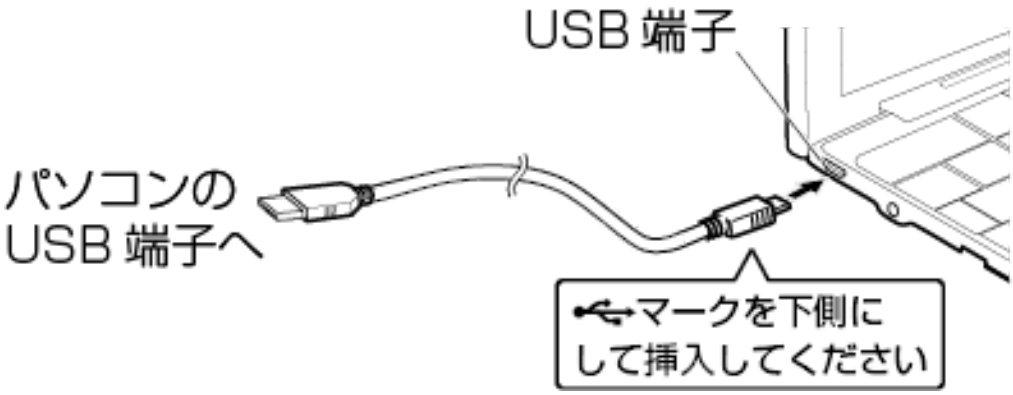
【例】パソコンを使って、自動単語帳のデータを別の本体へ取り込む（コピーする）。

1. 操作タッチキーの[ツール]から「自動単語帳」をタッチして、自動単語帳の画面を表示します。
2. 操作タッチキーの「書き出し」にタッチします。

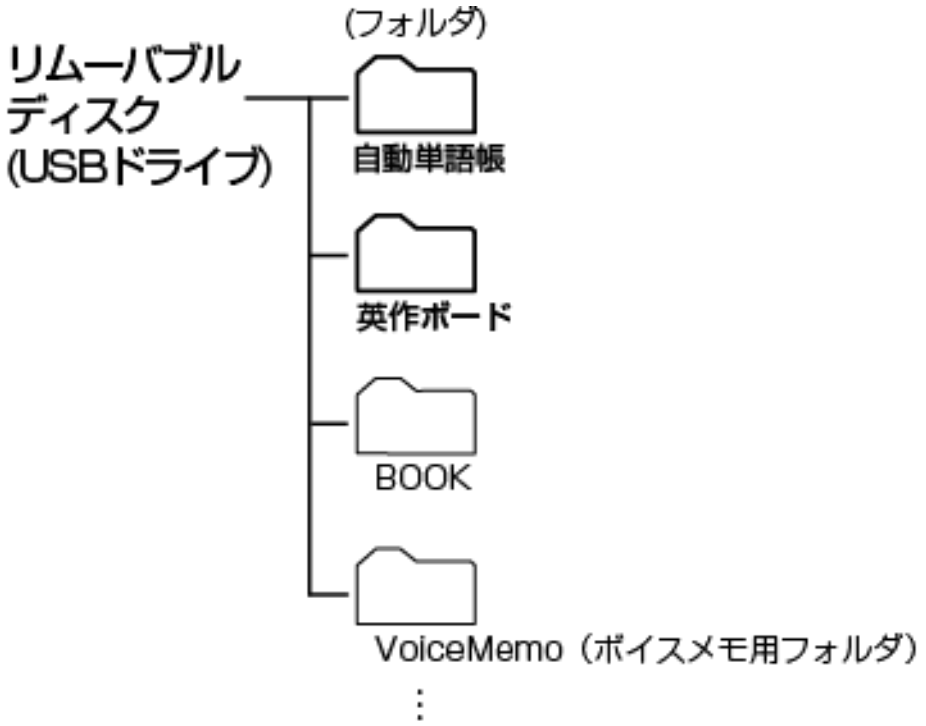


3. 書き出し対象の科目をタッチして選択し（“✓”表示）、[決定]を押します。

4. 書き出し先を指定します。
    ・この例では、パソコンを使ってデータ共有しますので「本体メモリー」をタッチします。
5. [決定]を押すと、本体メモリー内に共有フォルダが生成され、自動単語帳のデータが書き出されます。
6. パソコンとの接続を求めるメッセージが表示されます。
7. 付属のmicroUSBケーブルで電子辞書とパソコンを接続します。
    ・本体とパソコンの接続や取り外しは『パソコンと接続する』を参照してください。



8. 電子辞書に「パソコンで必要な操作を行ってください」と表示され、パソコンにリムーバブルディスク（USBドライブ）として認識されます。



9. リムーバブルディスク（USBドライブ）の自動単語帳フォルダをパソコンのデスクトップなどへコピー（ドラッグ＆ドロップ）します。
10. パソコンから本体を取り外します。
11. 別の本体をパソコンと接続します。
    ・ホーム画面から「アクセサリー」－「パソコン接続」－「本体メモリーと接続」を選び、パソコンと接続してください。
12. パソコンのデスクトップなどへコピーした自動単語帳フォルダを、リムーバブルディスク（USBドライブ）内にコピー（ドラッグ＆ドロップ）します。
13. パソコンから本体を取り外します。
14. 本体に取り込むかどうかの確認画面が表示されます。
15. [Y]を押して、自動単語帳にデータを取り込みます。
    ・自動単語帳の画面を表示して取り込まれたことを確認します。

＝参考＝

● カードを使って共有するときは『「英作ボード スピーキングプラス」のデータを共有する』の例で手順7～11を参照してください。

● 本体に取り込んだデータは、元のデータに追加されます。

● 自動単語帳のデータを取り込んだときに、機種間のコンテンツの違いなどにより同じ単語が登録されないことがあります。

■追加書籍（辞書）を使う

ブレーンライブラリー管理ソフトで、カードまたは本体メモリーに転送したXMDF形式などの電子書籍（電子ブック）を表示させます。

・ カードは『カードの取り付け/取り外し』を参照して取り付け/取り外しを行ってください。

・ ブレーンライブラリー管理ソフトについては、『ブレーンライブラリー管理ソフト』を参照してください。

1. ［ホーム］を押し、「アクセサリー」－「追加コンテンツ」－「追加書籍(辞書)」を選びます。

本のタイトルのリスト表示画面が表示されます。

・ 「本体メモリー」には、電子書籍のサンプルが入っています。

2. 必要に応じて「カード」または「本体」にタッチして、本体メモリーとカードメモリーを切り替えます。

3. 本のタイトルを選び［決定］を押します。

本の最初のページなどが表示されます。

・ 入力欄の前に複数の文字種が表示されている場合、「操作」にタッチすると表示される操作メニューの「キー入力文

字」で入力文字種の切り替えができます。

二参考二

● ダウンロードコンテンツには、辞書コンテンツや、図鑑コンテンツなどもあり、操作方法が異なります。
● 辞書系のコンテンツは、基本的に本体に搭載の辞書コンテンツと同様の検索機能を使用することができます。ただし、早見機能、マーカー機能など、一部の機能が使えません。また、動作が異なることがあります。
● パスワード付きコンテンツは、手順3でパスワード入力画面が表示されますので、パスワードを入力してください。
● 「追加書籍（辞書）」を選んだとき、以前テキストデータを開いていた場合などに、それらのタイトルのリスト表示画面になることがあります。その場合は、次の『テキストデータを表示させる』と同様の操作で「BOOK」フォルダを開いて「本タイトル」にタッチすると、ダウンロードしたコンテンツなどのタイトルのリスト表示画面になります。
● 「本体メモリー」内の電子書籍サンプルは、お試し版であり、内容の一部が収録されています。
● この電子書籍サンプルを削除すると、ユーザーエリアを増やすことができます。削除したサンプルを復活させるには、本製品を初期化してすべてをお買いあげ時の状態に戻す必要がありますのでご注意ください。

テキストデータを表示させる

テキストデータをカード内の「BOOK」フォルダに入れて、電子辞書で表示できます。『パソコンと接続する』を参照してカード

内の「BOOK」フォルダに入れてください。

テキストデータなどをカード内の「BOOK」以外のフォルダなどに入れた場合は次の方法で表示させます。

1. 本のタイトルのリスト表示画面で「リスト」をタッチしてファイルリスト画面にします。
2. ［戻る］を押します。上位のフォルダへ移ります。
3. 目的のデータがあるフォルダなどを選んで、データを表示させます。

二参考二

● テキストデータ(ファイル)はパソコンのメモ帳やワープロソフトなどでも作成でき、次のファイルが表示可能です。

・ 拡張子が．txt のテキストファイル
・ JIS第１・第２水準漢字、仮名、数字、英字を使ったテキストファイル
※ ファイル名やフォルダ名にも同様の文字を使用してください。
全角記号などを使用した場合、リストに表示されない場合があります。
※ 表示できない文字や記号は、スペースなどに置き換えて表示されます。
※ 作成した機器やアプリケーションにより、字形が変わることがあります。

★注意★

● XMDFコンテンツ（電子書籍）の中に特別な形式の音声が含まれる場合、一部の音声データが再生できない場合があります。また、特別な形式の画像など、一部の画像データは表示されない場合があります。
● XMDFコンテンツのデータ形式によっては、本製品で見ることができない場合があります。
● XMDFコンテンツの説明の中に、本製品で使用できない機能や、操作が異なる説明がなされているものがありますが、これらはPDA（携帯情報端末）を想定した説明ですので、本製品に合わないことがあります。
● XMDFの辞書コンテンツなどのしおりや単語帳は、そのコンテンツがカード内にある場合はカードに記憶・登録されます。カードの空き容量が少ないと、これらが記憶・登録できない場合があります。

本を操作する

本を開いているとき、画面右上の「操作」にタッチすると操作メニューが表示されます。この操作メニューを使用して操作します。

※ 表示している本または画面で操作できない項目は淡い表示になります。

◆ 「目次を見る」
「目次」がある本では目次が表示されます。目次の中の項目を選べば、その項目のページを開くことができます。

◆ 「先頭のページを見る」、「最後のページを見る」
先頭のページ、または最後のページを開きます。

◆ 「ページ位置の移動」

この項目を選ぶとページ移動指定画面が表示されます。
移動する（開く）ページを先頭から何パーセントの位置にするかを数字で入れ［決定］を押して移動します。
なお、漫画本など、コマのみで構成されている場合は「コマの移動」指定画面が表示され、全コマの何パーセントの位置かを指定して移動します。

◆ 「しおりをはさむ」※

現在開いている場所をしおりとして登録します。登録したしおりは、その本を開いて、またはタイトルのリスト表示画面でしおりマークが付いているタイトルにカーソルを移して［履歴］を押すとリスト表示されます。表示されたリストから、開きたい箇所を選んで［決定］を押すと、その箇所が表示されます。

・ しおりは１冊の本につき9カ所まで登録できます。
9カ所を超えて登録しようとすると、古いしおりが消され、新しいしおりが登録されます。なお、上記とは別に、本を閉じたときや辞書など他の機能に移ったとき、最後に開いていた１カ所が「終了ページ」というしおりに自動的に登録されます。

・ しおりを消したいときは『一度調べた語を再度調べたいとき（履歴を使う）』を参照してください。

※ 辞書系のコンテンツでは「しおりをはさむ」は淡く表示されて選択できない場合があります。
このときは『一度調べた語を再度調べたいとき（履歴を使う）』で説明している履歴機能をご確認ください。なお、コ

ンテンツによっては履歴がない場合があります。

◆ 「書籍情報」
開いている本に著者や出版社などの情報が付けられている場合に、これを表示します。［戻る］で前の画面に戻ります。
・ 「配布時の刻印情報」は本の商品番号などであり、日付ではありません。

◆ 「【縦書き】→横書き」　（「【横書き】→縦書き」）
縦書き表示と横書き表示を切り替えます。

◆ 「【ルビあり】→ルビなし」　（「【ルビなし】→ルビあり」）
ルビ（振りがな）の表示のあり/なしを切り替えます。「ルビあり」では行間が広くなります。

◆ 「キー入力文字【かな】　（「キー入力文字【英字】）（「キー入力文字【数字】）
文字入力ができるコンテンツで、例えば英字と数字のように複数の文字種が入力できるとき、入力する文字の種類を設定します。この項目を選択すると文字種選択画面が表示されますので［▼］、［▲］で文字種を選び［決定］を押します。

◆ 「【コマ表示】→ページ表示」（「【ページ表示】→コマ表示」）
漫画本などのようにコマで構成された書籍において、コマごとに表示させるか、ページごとに表示させるかを切り替えます。

◆ 「表示サイズ【小】」　（「表示サイズ【中】」）（「表示サイズ【大】」）

漫画本などで、表示するページサイズを設定します。
この項目を選択すると表示サイズ選択画面が表示されますので［▼］、［▲］でサイズを選び［決定］を押します。

◆ 「【バックライト点滅オン】→オフ」（「【バックライト点滅オフ】→オン」）

漫画本などで、バックライトの点滅を行うような設定があるとき、それを有効（オン）にするか、無効（オフ）にするかを切り替えます。

◆ 「本を閉じる」

本を閉じて、タイトルのリスト表示画面になります。

その他の操作

リンクの操作

本の中には文中の文字や図などにリンクが張られていて、リンク先の内容などを見ることができるものがあります。
リンクされている文字は青色で表示され、下線が引かれています。また、選択されているときは青色の四角の中に白文字で示されます。図にリンクが張られている場合は、図が青色の線で囲まれています。
［▼］、［▲］、［►］、［◄］でリンクされている文字または図を選択し［決定］を押すとリンク先に移動して表示します。

戻るときは［戻る］を押します。リンク先からリンク先へ移動をくり返している場合、最高20回まで戻ることができます。

マスクの操作

英単語などの学習用文書など、本によっては、文中の文字の一部が■■■■などのマスクで隠されているものがあります。選択されているときは■■■■のようになります。

［▼］、［▲］、［▶］、［◀］でマスクを選択し［決定］を押すとマスクが外れ文字が表示されます。もう一度［決定］を押すと再びマスクがかかります。

文字サイズの切り替え

操作タッチキーの[文字サイズ]([文字大]、[文字小])にタッチすると、表示される文字を５種類の大きさに切り替えることができます。

Sジャンプで言葉の意味などを調べる

本の中に意味などが分からない言葉が出てきた場合、ジャンプ機能を使って辞書へジャンプして調べることができます（『画面内の語を調べる（Sジャンプを使う）』を参照してください）。

■追加音声（MP3）を使う

本製品にはMP3プレーヤー機能があり、パソコンなどで市販のmicroSDメモリーカードにMP3形式の音声データ（MP3データ）を入れて本製品に装着して再生することができ、語学学習などにご利用いただけます。なお、音声データを本体メモリーに入れて利用することもできます。

★注意★

カードや本体メモリーに入れたMP3データは、使用誤り・静電気/強度の外来ノイズ・事故・カードの紛失/破壊などにより失われることがあります。MP3データは必ずパソコンなどに保存しておいてください。

二参考二

- パソコンなどからカードや本体にMP3データ（ファイル）を入れる方法は、パソコンなど使用機器の説明書をご覧ください。また、『パソコンと接続する』もご覧ください。
- カードは『カードの取り付け/取り外し』を参照して取り付け/取り外しを行ってください。
- MP3データの再生可能ビットレート：32～256kbps
- 可変ビットレート（VBR）のMP3データは再生できません。
- MP3データの再生はモノラル再生（出力）になります。

追加音声（MP3）の使いかた

MP3データを再生する

1. ［ホーム］を押し、「アクセサリー」－「追加コンテンツ」－「追加音声(MP3)」を選びます。
   MP3データ（ファイル）やフォルダがリスト表示されます。
2. 必要に応じ「カード」または「本体」にタッチして、本体メモリーとカードメモリーを切り替えます。
3. 再生したいMP3データを選び［決定］を押します。
   MP3プレーヤー画面が表示され、再生が開始されます。

二参考二

● フォルダ内のデータを選ぶ場合は、フォルダを選び［決定］を押して、表示されるMP3データやフォルダのリスト表示から選んでください。

● 市販のイヤホンで聞く場合や、音量調整は『市販のイヤホンで音声を聞くときは』、『音量を調整する』を参照してください。

再生の操作

次のキーでMP3再生時の操作をします。なお、（　）内に示すボタンは画面に表示され、タッチして使用します。

［≪］（［⏮］）：再生中のデータ（ファイル）の先頭へ戻って再生します。先頭から3秒以内に押すと同じフォルダ内で並びが前のデータ※1を再生します。

［≫］（［⏭］）：同じフォルダ内で並びが次のデータ※2を再生します。

［◀］（［⏪］）：再生中のデータを少し（約10秒分）戻って、またはデータの先頭に戻って再生します。

［▶］（［⏩］）：再生中のデータを少し（約10秒分）送って再生します。データの最後を超えるときは、「繰り返し再生設定」の設定に従って、次のデータの再生や同じデータの再生を行います。

［戻る］（［■］）：再生を終了して、前の画面に戻ります。

［決定］（［⏸］/［▶］）：再生の一時停止、解除を交互に行います。

・ 本機能では、カードを一つのフォルダと見なして、フォルダと同様に扱います。

※1 フォルダ内の先頭のデータを再生しているときは、並び順で最後のデータを再生します。

※2 フォルダ内の最後のデータを再生しているときは、並び順で先頭のデータを再生します。

★注意★

再生中はオートパワーオフ機能および、本体を閉じたときの電源オフ機能が働きません。充電池の残量が少なくなりますので再生状態のままで放置しないでください。

二参考二

本機能では、音声再生速度を変更することはできません（ホーム画面の「設定」－「音声再生速度設定」で再生速度を切り替えても、本機能の再生速度は切り替わりません）。

MP3繰り返し再生を設定する

次の繰り返し再生を設定することができます。

オフ ：繰り返し再生を行いません。

再生を開始したフォルダ内のMP3データをリスト表示で表示された順番に、最後まで再生して終了します。

1ファイル：再生を開始したMP3データ（ファイル）を繰り返し再生します。

全ファイル（選択フォルダ内）：再生を開始したフォルダ内のデータをリスト表示で表示された順番に繰り返し再生します。

1. ファイルなどのリスト画面で「設定」にタッチし「繰り返し再生設定」を選んで［決定］を押します。
　繰り返し再生設定画面になります。
2. “✓”を設定したい項目へ移し［決定］を押します。
　選択した繰り返し再生が設定され、前の画面に戻ります。

■コンテンツカードを使う

専用のコンテンツカード（別売）でコンテンツを追加することができます。

1. コンテンツカードをカードスロットに挿入します。
　『カードの取り付け/取り外し』を参照してください。
2. ［ホーム］を押し、「アクセサリー」－「追加コンテンツ」－「コンテンツカード」を選びます。
　コンテンツの初期画面が表示されます。

■フォトスライドで写真を見る

フォトスライドはデジタルカメラで写した写真データ、またはパソコンから写真データや画像データを市販のmicroSDメモリーカードや、本体メモリーに入れて見ることができる機能です。写真を１枚ずつ見たり、スライドショーで（自動的に切り替えながら）見ていくことができます。

　表示できる画像データの形式　：JPEG形式※（拡張子：.JPEG、.JPG）
　※一部のデータを除く
　表示できる画像データの最大容量：約10MB（メガバイト）
　表示できる画像データの最大サイズ：5000×5000ドット

・ デジタルカメラが上記カードを使用している場合は、そのカードをこの電子辞書に装着して写真を見ることができます。デジタルカメラが他のカードを使用している場合は、パソコンを利用して、DCIMフォルダごと上記カードにコピーし、そのカードを装着して写真を見ます。なお、フォルダ名は“DCIM”以外も使用可能です。

・ カードは『カードの取り付け/取り外し』を参照して取り付け/取り外しを行ってください。

★注意★

カードや本体メモリーに入れた写真データは、使用誤り・静電気/強度の外来ノイズ・事故・カードの紛失/破壊などにより失われることがあります。写真データは必ずパソコンなどに保存しておいてください。

写真を見る

１枚ずつ見る

1. ［ホーム］を押し、「アクセサリー」から「フォトスライド」を選びます。
2. 必要に応じ「カード」または「本体」にタッチして、本体メモリーとカードメモリーを切り替えます。

写真のアルバム、または写真データ（ファイル）やフォルダのリストが表示されます。

・ 「アルバム」、「リスト」にタッチして画面を切り替えることができます。

3. 表示させたい写真データを選び［決定］を押します。写真1件表示画面が表示されます。

二参考二

● 別のフォルダ内の写真データを選ぶ場合はリスト画面で［戻る］を押して現在開いているフォルダを閉じ、別のフォルダを選んでください。
● 装着されているカードを交換するまでは、以前、フォルダやアルバムを開いていると「フォトスライド」を選んだとき、そのフォルダやアルバムが開きます。なお、カードを交換しても、カードの名前やフォルダ名などが同じときは、同じカードと見なしてフォルダやアルバムが開く場合があります。
● 「表示できません」と表示されるときは、ファイルサイズが大きすぎたり、対応していない形式のデータのため、写真を表示できません。
● アルバム表示で、表示できない写真や、描画を中断したときの写真はグレー（灰色）表示になります。

★注意★

大きな容量のデータは表示に時間がかかることがあります。
また、一部のデジタルカメラの写真や、パソコンなどで扱った写真データは、アルバム表示に時間がかかることがあります。
アルバム画面で、画像を描画中に［▼］、［▲］、［▶］、［◀］などを押すと描画を中断することができます。

画面のサイズを変えて見る

通常の１件表示画面は、画面サイズより小さい写真はそのまま、大きい写真は画面に入るように縮小して表示します。このときの

サイズを基準にし、1.5倍（×1.5）、2倍（×2）に拡大して表示させることができます。
１件表示画面で操作タッチキーの[拡大]/[縮小]にタッチして拡大/縮小できます。［シフト][▶]/［シフト][◀]の操作でも拡大/縮小できます。

・ 写真が画面サイズより大きくなると▼、▲、▶、◀マークで写真の一部が隠れていることを示します。このときは［▼］、［▲］、［▶］、［◀］を押すか、画像をドラッグして隠れた部分を見ることができます。

スライドショーを見る

フォルダ内の写真を順番に、自動的に表示させることができます。

1. 写真データのリスト画面やアルバム表示画面で、最初に表示させる写真データを選び（カーソルを移し）ます。写真１件表示画面からでも行えます。
2. 操作タッチキーの[スライドショー]にタッチします。

フォルダ内の写真データが順番に一枚ずつ表示されていきます。すべて表示すると、繰り返し最初から表示します。

・ スライドショーを停止させるときは［決定］を押します。

・ フォルダの中にフォルダがあるとき、中のフォルダ内の写真データは表示されません。そのフォルダを開いて表示させてください。

二参考二

スライドショーで１画面を表示させる時間は、「設定」の「写真の表示時間」で設定できます。

★注意★

USB接続時、スライドショー実行中はオートパワーオフ機能が働きません。電源を切り忘れないようにご注意ください。

操作メニューを使う

写真１件表示画面で「操作」をタッチすると、以下の操作メニューが表示されます。

1. スライドショーで見る（1回のみ）
2. スライドショーで見る（繰返し）

   この項目を選択すると表示している写真を先頭に、同じフォルダ内の写真を並び順で最後まで１回のみ、または繰り返して表示します。

   停止させるときは［決定］を押します。
3. 右に90度回転（一時）
4. 左に90度回転（一時）

   表示している写真を右に、または左に90度回転させます。

   ＊ 同じ操作をくり返せば写真を90度ずつ回転できます。

   ＊ 回転は他の写真を表示させるなど、画面を切り替えると解除されます。

   ＊ 写真を回転させると、写真の縮小率の指定は解除され、画面に合わせたサイズで表示されます。ただし回転後、縮小率を変えて見ることができます。
5. 写真の情報を見る

   写真のファイル名や画像サイズ、ファイルサイズなど、写真の情報が表示されます。

   ＊ 「カメラ」の項目は、メーカー名や機種名が表示されます。

＊ 写真に情報が付加されていない場合や、パソコンで登録し直すなどにより、情報が失われている場合などには表示されないことがあります。

6. オープニング画面に設定
   表示されている写真を、電源を入れたときに表示されるオープニング画面に表示させるよう設定することができます。
   この項目を選択すると、下の設定画面が表示されます。



   この画面で［Y］を押すと、確認画面が表示されますので［Y］を押します。メッセージが表示されて写真が登録されます。
   以降、電源を入れたとき、表示されるようになります。
   設定した写真を表示させたくないときは、『オープニング設定』を参照して「表示なし」などに設定してください。

7. ホーム背景写真に設定
   表示されている写真を、ホーム画面の背景に表示させるよう設定することができます。
   この項目を選択すると、設定画面が表示されます。
   ［Y］を押すと、確認画面が表示されますので［Y］を押します。メッセージが表示されて写真が登録されます。
   以降、ホーム画面の背景に表示されるようになります。
   設定した写真を表示させたくないときは、『ホーム背景設定』を参照して設定してください。

設定メニューを使う

リスト画面やアルバム表示画面で「設定」をタッチして、設定メニューを表示させます。この設定メニューで、次の設定ができます。

1. 台紙の変更
   アルバム表示画面や写真1件表示画面で、写真の背景に表示される台紙を変更することができます。
   項目を選択すると、台紙の選択画面が表示されます。
   台紙を数字キーで選択、またはカーソルを移動させて選び［決定］を押して選択します。
   台紙を変更した旨のメッセージを表示して、設定メニューに戻ります。
2. 写真の表示方向
   携帯電話で写した写真など縦型の写真が多いときに、すべての写真を常に90度回転して表示するように設定できます。
   この項目を選択すると、表示方向設定画面が表示されますので“✓”を設定したい項目に移し［決定］を押します。
   選択した方向にする旨のメッセージを表示して、設定メニューに戻ります。
3. 写真の表示時間
   スライドショーで１枚の写真を表示する時間を設定します。
   この項目を選択すると、表示時間設定画面が表示されますので“✓”を設定したい時間に移し［決定］を押します。
   表示する時間を設定した旨メッセージを表示して、設定メニューに戻ります。

★注意★

容量が大きい写真は、表示に時間がかかり、設定した表示時間で切り替わらないことがあります。

■字幕リスニング追加コンテンツを使う

コンテンツ購入サイト（ブレーンライブラリー）で購入し、パソコンからカードまたは本体メモリーへ転送した字幕リスニング追加コンテンツを使用します。

・ カードは『カードの取り付け/取り外し』を参照して取り付け/取り外しを行ってください。

1. ［ホーム］を押し、「アクセサリー」－「追加コンテンツ」－「字幕リスニング追加コンテンツ」を選びます。コンテンツのタイトル(ファイル)画面が表示されます。
2. 必要に応じ「カード」または「本体」にタッチして、本体メモリーとカードメモリーを切り替えます。
3. コンテンツのタイトル(ファイル)を選び、[決定]を押します。分類(フォルダ)が表示されます。
4. 分類（フォルダ）を選び［決定］を押します。項目（ファイル）が表示されます。
5. 再生したい項目（ファイル）を選び［決定］を押します。
   選んだ項目（ファイル）が再生されます。

・ コンテンツにより、多少分類の構成が異なります。

・ 字幕リスニング機能の操作方法などは『ピクチャー字幕リスニング機能を使う』をご覧ください。

★注意★

追加コンテンツの再生には「前回のファイルを再生」機能はありませんので、「前回のファイルを再生／目次を表示」の選択画面は表示されません。

■追加のアプリケーション/動画を使う

コンテンツ購入サイト（ブレーンライブラリー）で購入し、パソコンからカードまたは本体メモリーへ転送したアプリ（アプリケーションプログラム/動画）を使用します。

・ カードは『カードの取り付け/取り外し』を参照して取り付け/取り外しを行ってください。

アプリケーション/動画の起動方法

1. ［ホーム］を押し、「アクセサリー」－「追加コンテンツ」－「追加アプリ・動画」を選びます。
   アプリケーション名のリスト画面が表示されます。
2. 必要に応じ「カード」または「本体」にタッチして、本体メモリーとカードメモリーを切り替えます。
3. 使いたいタイトルを選び［決定］を押します。
   アプリケーションが起動します。
   以降の動作はアプリケーションによって異なります。

アプリケーション/動画の終了方法

基本的には、［ホーム］やコンテンツ選択キーを押すと、アプリケーションを終了して、それぞれのキーの機能が働きます。
ただし、タイトルによっては、これらのキーでは終了しない場合があります。

お願い

追加のアプリケーションについてのご質問などは、各アプリケーションソフトの開発元にお問い合わせください。

動画再生の操作

★注意★

本製品には、動画コンテンツは収録されていません。動画コンテンツは「ブレーンライブラリー」（https://brain-library.com/）から購入することができます。詳しくは、『ブレーンライブラリー管理ソフト』をご覧ください。

次のキーで動画再生の操作をします。（　）内に示すボタンは画面に表示され、タッチして使用します。なお、コンテンツによっては一部の操作に対応していない場合があります。

[≪]（⏮）：再生中の動画の先頭へ戻って再生します。先頭から3秒以内に押すと並びが前の動画※1を再生します。

[≫]（⏭）：同じタイトルリスト内の次の動画※2を再生します。

[◀]（⏪）：再生中の動画を少し（約10秒分）戻って、または動画の先頭に戻って再生します。

[▶]（⏩）：再生中の動画を少し（約10秒分）送って再生します。

[戻る]（■）：再生を停止（終了）して、前の画面に戻ります。

[決定]（⏸/▶）：再生の一時停止、解除を交互に行います。

・画面に「詳細画面へ[決定]」の表示があるときは、動画再生中に[決定]を押すと、詳細画面が表示されます。

・コンテンツによっては、動画再生中の画面内にタッチすると、拡大表示（全画面表示）と標準表示が切り替わります。

※1 タイトルリスト画面の先頭の動画を再生しているときは、最後の動画を再生します。
※2 タイトルリスト画面の最後のデータを再生しているときは、先頭の動画を再生します。

二参考二

繰り返し再生が可能な動画では次の設定をすることができます。

オフ：繰り返し再生を行いません。再生を開始したタイトルリスト内の動画をリストで表示された順番に、最後まで再生して終了します。
1ファイル：再生を開始した動画を繰り返し再生します。
全ファイル（選択フォルダ内）：再生を開始したタイトルリスト内の動画をリストで表示された順番に繰り返し再生します。

1. タイトルリスト画面で［設定］にタッチします。動画繰り返し再生設定画面になります。
2. “✓”を設定したい項目へ移し［決定］を押します。
   選択した繰り返し再生が設定され、前の画面に戻ります。

■メモリーのデータを削除する

本体メモリー、カード内の本のデータなどを削除するときは、ファイル名やタイトルのリスト画面で、削除したいデータを選び（カーソルを移し）、［削除］を押します。
削除確認の画面が表示されますので、［Y］を押すと削除されます。

二参考二

● 字幕リスニングを除いて、フォルダを削除することはできません。
全データを削除する場合は、『カードを初期化（フォーマット）する』の方法でカードを初期化します。
また、電子辞書を初期化すると本体メモリーの全データが削除され、本のサンプルデータが再登録されます。
● コンテンツ購入サイトで購入したコンテンツを消去後、再度必要になった場合は、パソコンから転送してください。
● ファイルがロック（読み取り専用）になっているときは、削除できません。

■メモリーを確認する

本体およびカードのメモリーの容量や空き容量を確認します。

1. ［ホーム］を押し、「アクセサリー」－「パソコン接続」を選びます。
2. 「本体のメモリー確認」または「カードのメモリー確認」を選び［決定］を押します。メモリーの容量など、使用状況が表示されます。

■カードを初期化（フォーマット）する

他で使用していたカードを使用したい場合や、内容をすべて消去する場合に初期化（フォーマット）します。

★注意★

初期化するとカード内のすべての内容が消去されますので、注意してください。

1. ［ホーム］を押し、「アクセサリー」－「パソコン接続」を選びます。
2. 「カードの初期化」を選び［決定］を押します。
　初期化の確認画面が表示されます。
3. ［Y］を押します。カードが初期化されます。

二参考二

充電池の残量が少ない場合は初期化できません。

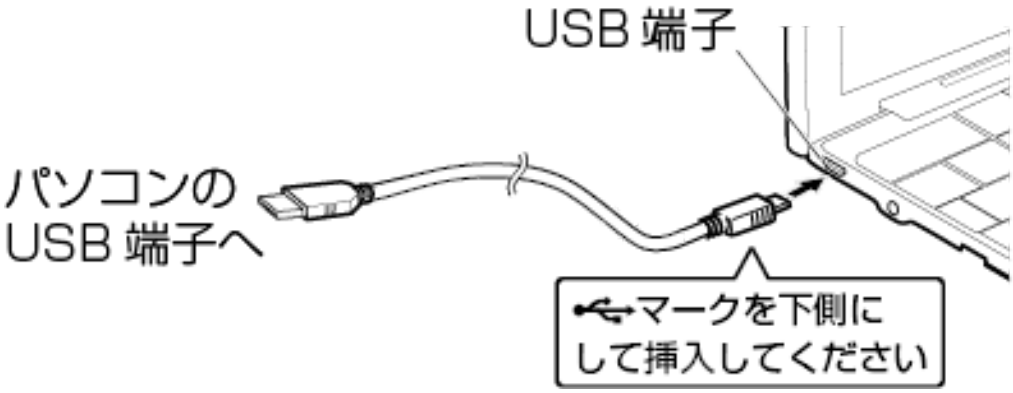
■パソコンと接続する

パソコンと接続して、本体およびカードのメモリーの内容を操作します。

★注意★

画面右上の電池マークが赤く表示されているときは、パソコン接続ができませんので、充電してください。

1. ［ホーム］を押し、「アクセサリー」－「パソコン接続」を選びます。
　パソコン接続機能選択画面が表示されます。
2. 接続するメモリーにより「本体メモリーと接続」または「メモリーカードと接続」を選び［決定］を押します。パソコンとの接続を求めるメッセージが表示されます。
3. 付属のmicroUSBケーブルで電子辞書とパソコンを接続します。



4. 電子辞書に「パソコンで必要な操作を行ってください」と表示され、パソコンにリムーバブルディスク（USBドライブ）として認識されます。

パソコンでデータのコピーや移動など必要な操作を行います。

・ パソコンの操作は、パソコンの説明書を参照してください。

5. パソコンでの操作が終了したらパソコンから取り外します。

（1）パソコンの取扱説明書を参照して、ハードウェアの安全な取り外し操作を行います。

（2）パソコンと電子辞書からmicroUSBケーブルを取り外します。

★注意★

● データのコピーや移動などの動作中は絶対にmicroUSBケーブルを抜かないでください。データが壊れたり、電子辞書が故障する恐れがあります。

● パソコンで、電子辞書の本体メモリーを初期化（フォーマット）しないでください。初期化すると使用できなくなることがあります。

● パソコンとの接続中は、電子辞書の画面は暗くなり、電子辞書の操作はできません。
● パソコンと接続するにはブレーンライブラリー管理ソフトと同じ動作環境が必要です。動作環境の詳細については次のWebサイトでご確認ください。
https://brain-library.com/web/guide/download/top

■ブレーンライブラリー管理ソフト

ブレーンライブラリー管理ソフト（以降、「管理ソフト」と記載）は弊社電子辞書専用サイト「ブレーンライブラリー」で配布しています。管理ソフトは、「ブレーンライブラリー」で購入したコンテンツを管理し、電子辞書に転送するためのWindowsパソコン用ソフトウェアです。

管理ソフトをインストールするには

以下のURLへアクセスし、管理ソフトをインストールしてください。
https://brain-library.com/web/guide/download/top
インストール方法および動作環境の詳細については、サイトをご確認ください。

管理ソフトを起動させ電子辞書を接続する

1. パソコンのデスクトップに表示された管理ソフトのアイコンをダブルクリックして、管理ソフトを起動させます。
2. 初回起動時は、ブレーンライブラリーの手続き画面が表示されますので、画面の説明に従って操作します。

3. 電子辞書の［ホーム］を押し、「アクセサリー」－「パソコン接続」－「ブレーンライブラリー管理ソフト」を選び[決定]を押します。
4. 画面の説明に従って操作します。

★注意★

● パソコンとの接続中は、microUSBケーブルを抜かないでください。データの破壊や故障の原因になります。
電子辞書を取り外すときは、必ず管理ソフトを終了させてから行ってください。
● パソコンとの接続中は、電子辞書の画面は暗くなり、電子辞書のキーは働きません。

ダウンロードコンテンツの種類と場所

「ブレーンライブラリー」（https://brain-library.com/）からは、電子書籍および辞書・学習・実用書、字幕リスニング、アプリケーションソフト／動画のコンテンツをご購入・ダウンロードすることができます。
パソコンにダウンロードしたコンテンツを本製品に転送すると、ホーム画面の「アクセサリー」－「追加コンテンツ」に表示される次の項目に分類して収録されます。
追加書籍（辞書）　：電子書籍および辞書・学習・実用書コンテンツ
追加アプリ・動画　：アプリケーションソフト／動画コンテンツ
字幕リスニング追加コンテンツ　：字幕リスニングコンテンツ

★注意★

ダウンロードしたコンテンツが「追加書籍（辞書）」に表示されないときは、「本タイトル」タブにタッチしてください。

困ったときは

■よくあるご質問

Q：日付や時刻を変更したい
A：ホーム画面で「設定」－「日付と時刻の設定」を選んで設定してください。

Q：表示が暗い・明るい
A：次のことを確認してみてください。
●ホーム画面で「設定」－「明るさ調整」を選び表示を見やすい明るさに調整してください。
●日中の屋外などの明るい場所では画面が見えにくくなります。この場合は、日陰などの強い光が当たらないところでご使用ください。
●バックライトが減光するまでの時間を変更できます。ホーム画面で「設定」－「減光時間設定」を選び変更してください。

Q：タッチパネルでの操作ができない。ずれた位置で反応する。
A：ホーム画面で「設定」－「タッチパッド調整」を選んでタッチパッドの調整をしてください。

Q：調べたい語句(単語)が出てこない
A：次のことを確認してみてください。

●読みかたは正しいですか。読みかたが判らない場合は、手書きで調べたい語句を入力してください。
●「つ」と「っ」など、大きい文字と小さい文字が間違って入力されていませんか。
●「ば」と「ぱ」など、濁音や半濁音が間違って入力されていませんか。
●「づ」と「ず」、「ぢ」と「じ」などの使いかたが違っていませんか。
●単語(英単語など)は変化形ではありませんか。変化形の場合は原形でも調べてください。
●あいまいチェックやスペルチェックを使ってみてください（『あいまいチェックやスペルチェックを使う（一括検索）』を参照）。

Q：読みのわからない漢字の調べかたは…
A：手書き入力や部品の読み、部首画数、総画数で調べることができます。

Q：調べたい語句(単語)の途中の文字(綴り)が分からない
A：ワイルドカード“？”(言葉の一部がわからないが、文字数がわかっているとき)や、ブランクワード“～”(言葉の途中がわからないとき) を利用すると、語句(単語)の一部が判れば、その候補が表示され、その中から探すことができます。大辞林、百科事典などで使えます。入力するときは記号キーを使います。

Q：“スペース”はどのようなときに使えますか？
A：“スペース”は、主に全文検索や成句検索などで複数の検索文字列を指定するとき、その文字列の区切りとして使用します。ま

た、「英作ボード スピーキングプラス」でスペースを入力するときにも使います。

Q：英語の成句（熟語）を検索したい
A：［ホーム］を押してホーム画面を表示し[決定]を押します。調べる画面が表示されますので、「成句検索」タブにタッチして成句検索に切り替え、入力欄に調べたい語句を入力します。スペースでつないで3語まで入力することができます。スペースは[スペース/変換]を押して入力します。『英語の成句を検索する』を参照してください。

Q：英単語の発音を聞きたい
A：各コンテンツの詳細画面に表示されている英単語をタッチし、音声データを利用して発音させることができます。『英単語をネイティブの発音で聞く』を参照してください。

Q：ローマ字で思うように入力できない
A：『ローマ字→かな変換表』を参照して入力してください。

Q：手書きで長音符「ー」が入らない
A：漢数字の「一」と認識されやすいので、入力した文字をタッチすると表示される候補の中から選んでください。

Q：日本語で検索を行う場合に英字始まりの語句が入力できない
A：日本語の読みで検索する場合、「ISO」など英字で始まる見出し語は「あいえすおー」のように読みをひらがなで入れます。数字から始まる見出し語も、読みをひらがなで入れてください。

見出し語にカッコ（「 」）や中点（・）などの記号がある場合は省略して入れてください。

Q：2画面検索で検索される見出し語は何か
A：検索する語を入力して[決定]を押す（または[決定]をタッチする）と、一致する見出し語が表示されます。一致する見出し語がないときは入力した語を先頭に含む語（英単語は一致する語のみ）が表示されます。

Q：消費税の税率を変えたい／為替レートを変えたい
A：消費税の税率や、通貨の換算レートは変更することができます。『電卓/便利計算機能を使う』の説明をご覧いただき、設定を変更してご使用ください。

Q：国名などが変わっている/古いデータになっている
A：この製品には、出版社より電子データとして提供されたものを収録しておりますので、各コンテンツの内容はそのデータの記述に合わせております。
詳しくは、取扱説明書に記載されている「著作権に関するご注意」をご覧ください。

Q：検索したリストに同じ見出し語が複数個表示されることがあるのはなぜ…
A：１つの見出し語に複数の語が収録されている場合、個々の語に対して検索を行うので、同じ見出し語が複数個表示されることがあります。

Q：Sジャンプ機能で、他の辞書にあるはずの言葉へジャンプできない
A：辞書によっては、見出し語に使われる文字の種類や表記のしかたが違うことがあり、このような場合は違う言葉と判断されるためジャンプできません。
例 表記の違い：
　心無い(大辞林)
　心ない(新和英大辞典)

Q：写真が表示できない
A：プログレッシブ形式のJPEGデータなど、JPEGデータでも形式によっては表示されない場合があります。

Q：写真データはどれくらいの容量まで表示できる？
A：写真は10MBまでのデータを表示できます。大きいデータは表示するまで時間がかかる場合があります。

Q：電子書籍（XMDFデータ）の書籍情報に意味不明の日付が表示される
A：書籍情報の「配布時の刻印情報」に表示される数字などは、本の商品番号などであり、日付ではありません。

Q：音声の再生ができない
A：次のことを確認してみてください。
●音量が小さくなっていませんか。[シフト][🔊+]、[シフト][🔊ー]で調整してみてください。
●充電池の残量が不足の場合は、充電をしてください。

●イヤホンが接続されている場合はスピーカーから音が出ません。

Q：製品購入時に「本体メモリー」に入っていた本のサンプルデータを削除したが、復活させたい
A：本製品を初期状態に戻すと、本のサンプルデータも戻ります（『ご購入直後の状態（初期状態）に戻したいときは』を参照）。

Q：電源を入れたとき、「データに異常があったため製品を初期の状態にしました」と表示された
A：電源オフ処理中に強度の外来ノイズや強いショックを受けたりしたときに、単語帳や履歴/しおりなどの登録データに異常が発生する場合があります。この場合は、電源を入れたときに製品を初期状態に戻します。

Q：電卓などのツールを終了したい
A：アイコン化（最小化）しているときは、アイコンにタッチして最大化してから、[戻る]を押して終了してください。

Q：追加コンテンツはどこで購入できるの？
A：パソコンソフト「ブレーンライブラリー管理ソフト」を使って、専用のWebサイトでご購入・ダウンロードいただけます。（『ブレーンライブラリー管理ソフト』を参照）

Q：辞書などのデータをパソコンに取り込んだり、印刷することはできますか？

A：辞書などの内容は各出版社などの著作物であり、著作権保護の観点から、そのような機能はありません。

Q：手書き暗記メモをメモリーカードにコピー（登録）できませんか？
A：手書き暗記メモは辞書などの内容を利用したアプリです。辞書の内容は各出版社などの著作物となりますので、著作権保護の観点から、メモリーカードへのコピー（登録）はできない仕様になっています。

Q：ノート、カレンダー、付箋や「英作ボード スピーキングプラス」のデータを、パソコンにコピー（バックアップ）できませんか？
A：パソコンと接続し、ノートは「NOTE」フォルダから、カレンダーは「Calendar」フォルダから、付箋は「StickyNotes」フォルダから、「英作ボード スピーキングプラス」は「WritingBoard」フォルダから、それぞれパソコンへコピーしてください。
なお、市販のmicroSDメモリーカードにバックアップすることができます。詳しくは『ユーザーデータバックアップ』を参照してください。

Q：暗証番号を忘れた！
A：弊社では暗証番号の解除はできませんので、暗証番号は必ずお手元に控えてください。もし忘れてしまった場合は所有者情報の変更、削除ができなくなりますが、電子辞書はご使用になれます。

Q：英和辞典などで数字を含む見出し語を引く方法は？
A：見出し語の読みどおりにアルファベットで入力して検索できる場合があります。
例　2 → two　　3 → three　　20 → twenty

Q：韓国語文字（ハングル）の手書き入力で目的の文字候補が出ない
A：韓国語文字（ハングル）には、同じ文字が書体によって違った文字に見えるものがあります（例：잔と잔はㅈとㅈが異なって、違う文字に見えますが、同じ文字です）。

Q：ATR CALLなどのアプリケーションソフトで文字が入力できない
A：ATR CALLなどのアプリケーションソフトで文字入力する場合は、画面中の  をタッチすると表示される入力パッドから入力します。入力パッドの使いかたについては『入力パッドから文字を入力する』を参照してください。

Q：縦表示を横表示に戻したい
A：操作タッチキーの[縦⇔横切替]にタッチすると、画面の縦表示が横表示に切り替わります。詳しくは『縦横表示切替について』を参照してください。

■故障かな？と思ったら

電源が入らない

- ●充電池の残量が不足の場合は、充電をしてください。
- ●上記でないときは本体裏側のリセットスイッチを押してください。

●充電池の残量がほとんどない状態でACアダプターを接続して[⏻]を押したとき、電池残量不足のメッセージを表示して電源が切れることがあります。しばらく充電してからご使用ください。

充電ができない
充電開始音が鳴らない
画面に「充電できません」と表示される

●付属のACアダプターとmicroUSBケーブルを使って充電してください。
●付属のmicroUSBケーブルが奥まで確実に差し込まれていることを確認してください。
●本体裏側のリセットスイッチを押してください。
●音量が0(小さい)に設定されているときは、microUSBケーブルを接続しても"ピピッ"と音が鳴りません。画面右上に表示される電池マークを確認してください。

自動的に電源が切れる

この製品には、しばらく使わないと自動的に電源が切れるオートパワーオフ機能がついています。電源が切れるまでの時間は、ホーム画面から「設定」－「オートパワーオフ時間設定」と選び、変更することができます。

すべてのキーが働かない

本体裏側のリセットスイッチを押してください（『異常が発生したときの処理』参照）。

手書き文字が正しく認識されない。手書き入力の方法は？

『手書き入力画面で文字を手書き入力する』を参照してください。
『手書き入力のご注意』に手書きするときにご注意いただきたい点も掲載しております。

電源を入れると、商品紹介や「写真」が表示される
ホーム画面で「設定」－「オープニング設定」と選び、「表示なし」に設定してください。

追加音声（MP3）の再生が途中で止まる
MP3データのビットレート（32～256kbps）を確認してください。ただし、可変ビットレート（VBR）のデータの再生はできません。

カードを装着して電源を入れるとすぐに電源が切れる
カードを装着しても「カードが入っていません」と表示される
充電池の残量が少なくなっていませんか。電池を充電してみてください。カードを認識しなかった場合は、電池を充電後カードを入れ直してみてください。

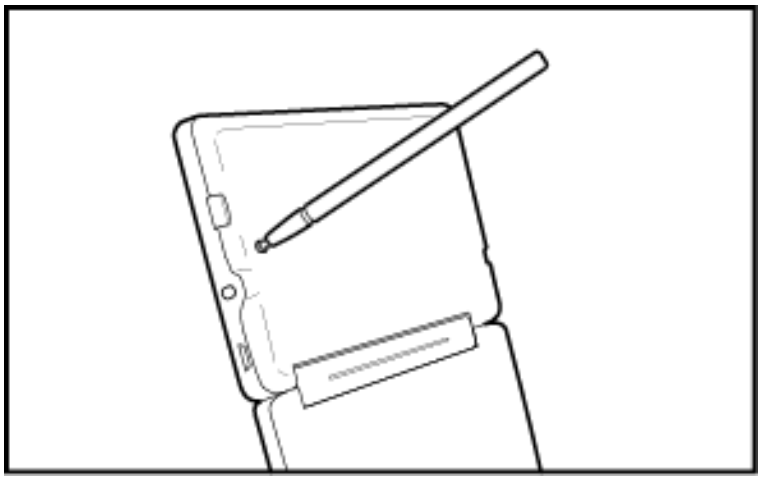
※これらを確かめても症状が発生する、また、これら以外の症状が発生した場合は故障が考えられます。取扱説明書に記載されているお客様ご相談窓口にお申し付けください。

異常が発生したときの処理

ご使用中に強度の外来ノイズや強いショックを受けた場合など、ごくまれにすべてのキーが働かなくなるなどの異常が発生することがあります。このときは、以下のリセット操作をしてください。

■リセット操作

1. 本体裏側のリセット（RESET）スイッチを付属のタッチペンまたはボールペンなどで2秒以上押します。
いったん電源が切れ、Brainのロゴマーク、「しばらくお待ちください」と表示された後、日付・時刻設定画面が表示されます。



●リセットスイッチの操作に、先の折れやすいものや先のとがったものは使用しないでください。
●上記操作を行っても異常が発生する場合は、後記の初期化の操作を行ってください。
●もし、日付・時刻設定画面の代わりに、「データに異常があったため製品を初期の状態に戻しました」と表示されたときは、お客様が登録されたデータに異常があったため、本体を初期の状態に戻したことを示します。このときは［決定］を押し、画面に従って、日付・時刻設定などを行ってください。

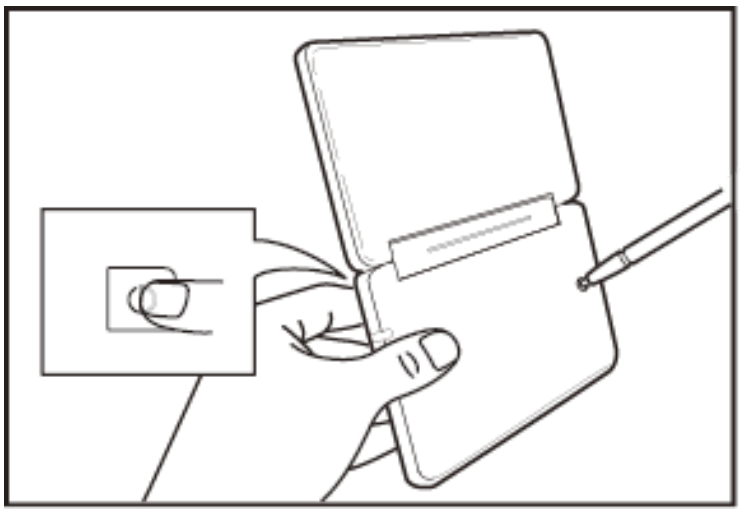
★注意★

本体のデータに異常があると、ダウンロードして本体のメモリーに記憶させた内容、My辞書、単語帳、履歴/しおりの内容、手書き暗記メモ、電卓のメモリー、通貨換算機能の設定、ツールで作成した内容などが消去され、「設定」などで設定した内容、電卓の消費税率などが初期の状態に戻ります。（本製品が初期化されると、本体メモリーに電子書籍のサンプルが再登録されます。）
なお、各コンテンツのデータや登録した所有者情報・暗証番号は消去されません。
ダウンロードして本体メモリーに記憶させたコンテンツなどが消去された場合は、再度パソコンから転送してください。他の記憶内容、設定内容が消えた場合は、必要に応じて再度、記憶、設定してください。

■ご購入直後の状態（初期状態）に戻したいときは

登録した内容などをすべて消去して、ご購入直後の状態に戻したいときは、次の操作で初期化を行います。

1. [⏻]を押したままタッチペンまたはボールペンなどで本体裏側のリセットスイッチを押し、タッチペンまたはボールペンを離した後、電源が入り"ピー"と音が鳴ったら[⏻]を離します。



●リセットスイッチの操作に、先の折れやすいものや先のとがったものは使用しないでください。
しばらくすると、初期化の確認画面が表示されます。

2. [Y]を押します。
画面に「初期化中です」「初期化しました」と一時表示したあと、日付・時刻設定画面が表示されます。
3. 画面に従って、日付・時刻設定を行ってください。

★注意★

この操作により、ダウンロードして本体のメモリーに記憶させた内容、My辞書、単語帳、履歴/しおりの内容、手書き暗記メモ、電卓のメモリー、通貨換算機能の設定、ツールで作成した内容などが消去され、「設定」などで設定した内容、電卓の消費税率などが初期の状態に戻ります。（本製品が初期化されると、本体メモリーに電子書籍のサンプルが再登録されます。）
なお、各コンテンツのデータや登録した所有者情報・暗証番号は消去されません。
ダウンロードして本体メモリーに記憶させたコンテンツなどが消去された場合は、再度パソコンから転送してください。他の記憶

内容、設定内容が消えた場合は、必要に応じて再度、記憶、設定してください。

ローマ字→かな変換表

本表は、電子辞書の検索文字などを入力するときに使用します。

あ	あ	い	う	え	お
	A	I	U	E	O
か	か	き	く	け	こ
	KA CA	KI	KU CU QU	KE	KO CO
さ	さ	し	す	せ	そ
	SA	SI SHI	SU	SE	SO
た	た	ち	つ	て	と
	TA	TI CHI	TU TSU	TE	TO
な	な	に	ぬ	ね	の
	NA	NI	NU	NE	NO
は	は	ひ	ふ	へ	ほ
	HA	HI	HU FU	HE	HO
ま	ま	み	む	め	も
	MA	MI	MU	ME	MO
や	や		ゆ		よ
	YA		YU		YO
ら	ら	り	る	れ	ろ
	RA	RI	RU	RE	RO
わ	わ	ゐ		ゑ	を
	WA	WYI		WYE	WO
ん	ん				
	N NN NX				

ゔ			ゔ		
			VU		
が	が	ぎ	ぐ	げ	ご
	GA	GI	GU	GE	GO
ざ	ざ	じ	ず	ぜ	ぞ
	ZA	ZI JI	ZU	ZE	ZO
だ	だ	ぢ	づ	で	ど
	DA	DI	DU	DE	DO
ば	ば	び	ぶ	べ	ぼ
	BA	BI	BU	BE	BO
ぱ	ぱ	ぴ	ぷ	ぺ	ぽ
	PA	PI	PU	PE	PO

いぇ				いぇ	
				YE	
うぁ	うぁ	うぃ		うぇ	うぉ
	WHA	WI WHI		WE WHE	WHO
きゃ	きゃ	きぃ	きゅ	きぇ	きょ
	KYA	KYI	KYU	KYE	KYO
くぁ	くぁ	くぃ	くぅ	くぇ	くぉ
	QA KWA	QI KWI QWI	QWU	QE KWE QWE	QO KWO QWO
しゃ	しゃ	しぃ	しゅ	しぇ	しょ
	SHA SYA	SYI	SHU SYU	SHE SYE	SHO SYO
ちゃ	ちゃ	ちぃ	ちゅ	ちぇ	ちょ
	CHA CYA TYA	CYI TYI	CHU CYU TYU	CHE CYE TYE	CHO CYO TYO
つぁ	つぁ	つぃ		つぇ	つぉ
	TSA	TSI		TSE	TSO
てゃ	てゃ	てぃ	てゅ	てぇ	てょ
	THA	THI	THU	THE	THO
とぅ			とぅ		
			TWU		

にゃ	にゃ	にぃ	にゅ	にぇ	にょ
	NYA	NYI	NYU	NYE	NYO
ひゃ	ひゃ	ひぃ	ひゅ	ひぇ	ひょ
	HYA	HYI	HYU	HYE	HYO
ふぁ	ふぁ	ふぃ		ふぇ	ふぉ
	FA HWA	FI HWI FYI		FE HWE FYE	FO HWO
ふゃ	ふゃ		ふゅ		ふょ
	FYA		FYU		FYO
みゃ	みゃ	みぃ	みゅ	みぇ	みょ
	MYA	MYI	MYU	MYE	MYO
りゃ	りゃ	りぃ	りゅ	りぇ	りょ
	RYA	RYI	RYU	RYE	RYO

ゔぁ	ゔぁ	ゔぃ		ゔぇ	ゔぉ
	VA	VI		VE	VO
ゔゅ			ゔゅ		
			VYU		
ぎゃ	ぎゃ	ぎぃ	ぎゅ	ぎぇ	ぎょ
	GYA	GYI	GYU	GYE	GYO
ぐぁ	ぐぁ	ぐぃ	ぐぅ	ぐぇ	ぐぉ
	GWA	GWI	GWU	GWE	GWO
じゃ	じゃ	じぃ	じゅ	じぇ	じょ
	JA JYA ZYA	JYI ZYI	JU JYU ZYU	JE JYE ZYE	JO JYO ZYO
ぢゃ	ぢゃ	ぢぃ	ぢゅ	ぢぇ	ぢょ
	DYA	DYI	DYU	DYE	DYO
でゃ	でゃ	でぃ	でゅ	でぇ	でょ
	DHA	DHI	DHU	DHE	DHO
どぅ			どぅ		
			DWU		
びゃ	びゃ	びぃ	びゅ	びぇ	びょ
	BYA	BYI	BYU	BYE	BYO
ぴゃ	ぴゃ	ぴぃ	ぴゅ	ぴぇ	ぴょ
	PYA	PYI	PYU	PYE	PYO

小さい文字の単独入力

あ	ぁ	い	う	え	お
	LA XA	LI XI LYI XYI	LU XU	LE XE LYE XYE	LO XO
つ			っ		
			LTU XTU		
や	ゃ		ゅ		ょ
	LYA XYA		LYU XYU		LYO XYO
わ	ゎ				
	LWA XWA				

★注意★

● 表中の行名は、つづりを探し易くするために便宜上つけた名称です。

● キーボードトレーニングのローマ字入力は、キーボードトレーニングの画面に表示される「ローマ字かな変換表はコチラ」をタッチして確認してください。詳しくは『キーボードトレーニングを使う』を参照してください。

撥音（はつおん）の入力

“ん”の次に母音または“Ｙ”がくるときや、“ん”で終わるときは“ＮＮ”と入力する。または“Ｎ”の後ろに“Ｘ”をつける。

　ほんやく → HONNYAKU (HONXYAKU)

　はんい → HANNI (HANXI)

　ほん → HONN (HONX)

上記以外のとき

　ほんき → HONKI

促音（そくおん）の入力

“N”以外の子音を重ねる。または“LTU”や“XTU”と入力する。

けっか → KEKKA (KELTUKAまたはKEXTUKA)

とっきゅう → TOKKYUU (TOLTUKYUU または TOXTUKYUU)

二参考二

変換できないローマ字のつづりを入れたときは

本製品はローマ字のつづりを入力する場合、１字入力するごとに、かなに変換できる候補の有無を確認し、一致すればかなに変換します。

もし候補がないときは、先頭の文字を削除して候補の有無を確認します。それでも候補がない場合は、もう１字削除して確認します。

	入力操作		表示
例１	[Q] [W]	→	qw
	[A]	→	わ （qが削除されwaを変換）
例２	[K] [Y]	→	ky
	[W]	→	w （kyが削除されwが残る）
	[O]	→	を （woを変換）

仕様

● 電源、外形寸法、質量などの仕様については、製品に付属の取扱説明書をご確認ください。

形　　名　　PW-SB7

品　　名　　電子辞書

電卓機能　　計算桁数：12桁
電卓（税込／税抜計算、加減乗除、メモリー、パーセント計算など）、通貨換算、単位換算
時計機能　　時間制：12時間制
時計精度：平均月差±90秒以内（使用温度25℃のとき）
MP3プレーヤー機能
MP3データ再生（カードまたは本体メモリーに収録したMP3データを再生）
●再生可能ビットレート：32～256kbps（VBRは再生不可）
使用時間
約140時間
(連続表示した場合、カード非装着)※1
約65時間
(1時間あたり表示状態を55分、検索※2を5分間行った場合、カード非装着)※1
約14時間
(microSDメモリーカードに収録したMP3データを連続再生した場合、音量“5”)※1
約5時間
(動画※3を繰り返し再生した場合、音量“5”)※1
※1 使用温度25℃。 表示の明るさは標準の“3”で、表示状態になった30秒後に表示が暗くなる場合。（動画※3再生時は除く）
※2 英和辞典で、1秒1キーで“dictionary”と入力し［決定］を押す操作の繰り返し。
※3 本製品は動画コンテンツを収録していません。動画コンテンツは「ブレーンライブラリー」から購入することができます。詳しくは『ブレーンライブラリー管理ソフト』を参照してください。

注:使用環境や使用方法、カードの種類により、使用時間が短くなることがあります。

●本体メモリー

容　　量：約500MB

※本体にあらかじめ入っている電子書籍サンプルを削除し、ユーザーエリアを増やすことができます。本体にあらかじめ入っている電子書籍サンプルを削除した場合、元に戻すには本体を初期化する必要があります。本体を初期化すると単語帳、履歴、手書き暗記メモ、追加コンテンツ、ツールなどの内容は消え、日付などは初期の状態に戻ります。